

第六章 ジョブ型採用について

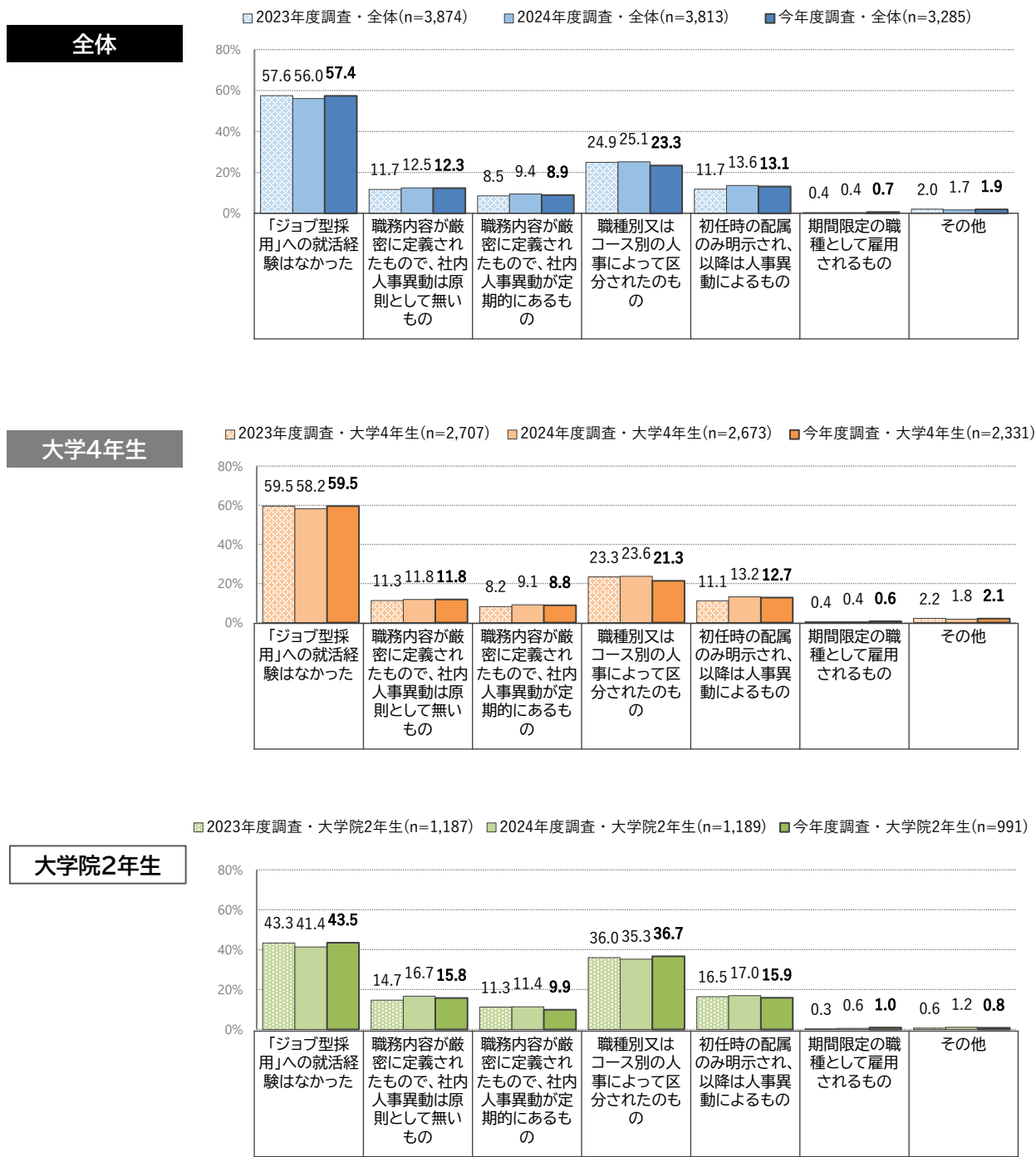
第六章 ジョブ型採用について

(1) ジョブ型採用での就職活動経験について

①ジョブ型採用での就職活動経験について

ジョブ型採用※1についての就職活動経験について※2、「「ジョブ型採用」への就活経験はなかった」の回答割合が約6割と最も高く、ジョブ型採用での就職活動経験がある者の中では、「職種別又はコース別の人事によって区分されたもの」が約2割と高い。

過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

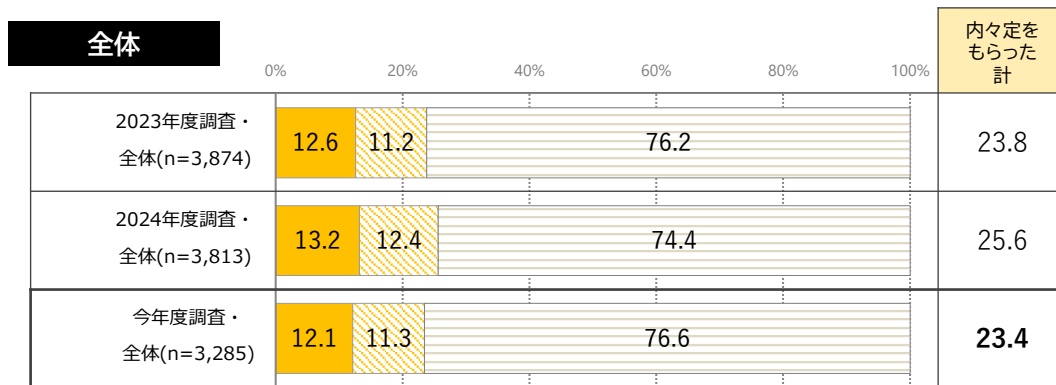
※2：就活経験について、2023年度調査から「企業に応募した経験やエントリーした経験など」と具体例を示したうえで、調査を行った。

(2) ジョブ型採用での内々定の状況

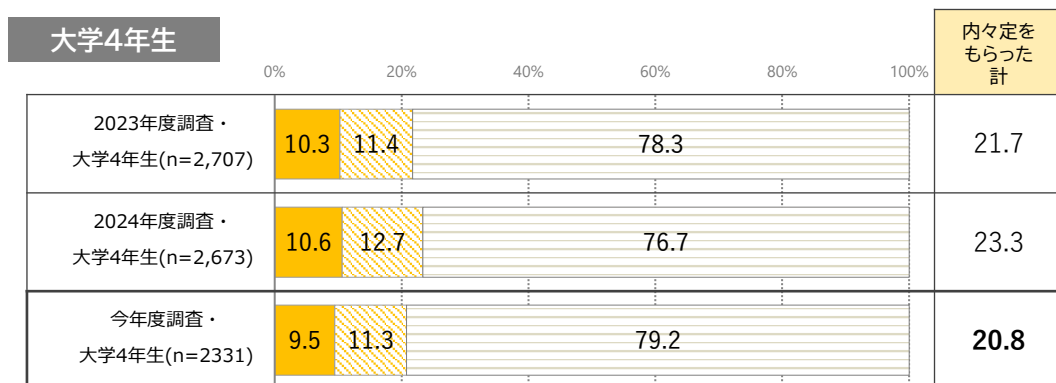
①ジョブ型採用での内々定の状況(就職活動実施者対象)

就職活動実施者におけるジョブ型採用※1での内々定の状況について、「ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する」が約1割、「ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない」が約1割となり、「ジョブ型採用で内々定をもらった」とする回答割合は約2割となった。

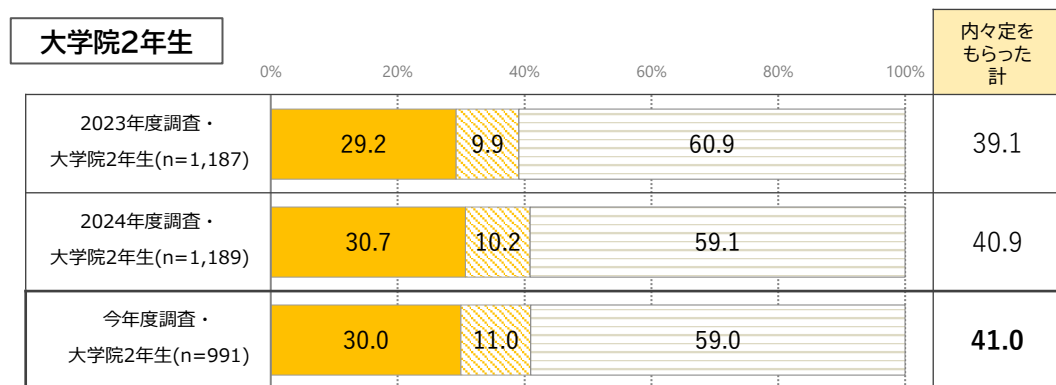
過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない



- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない

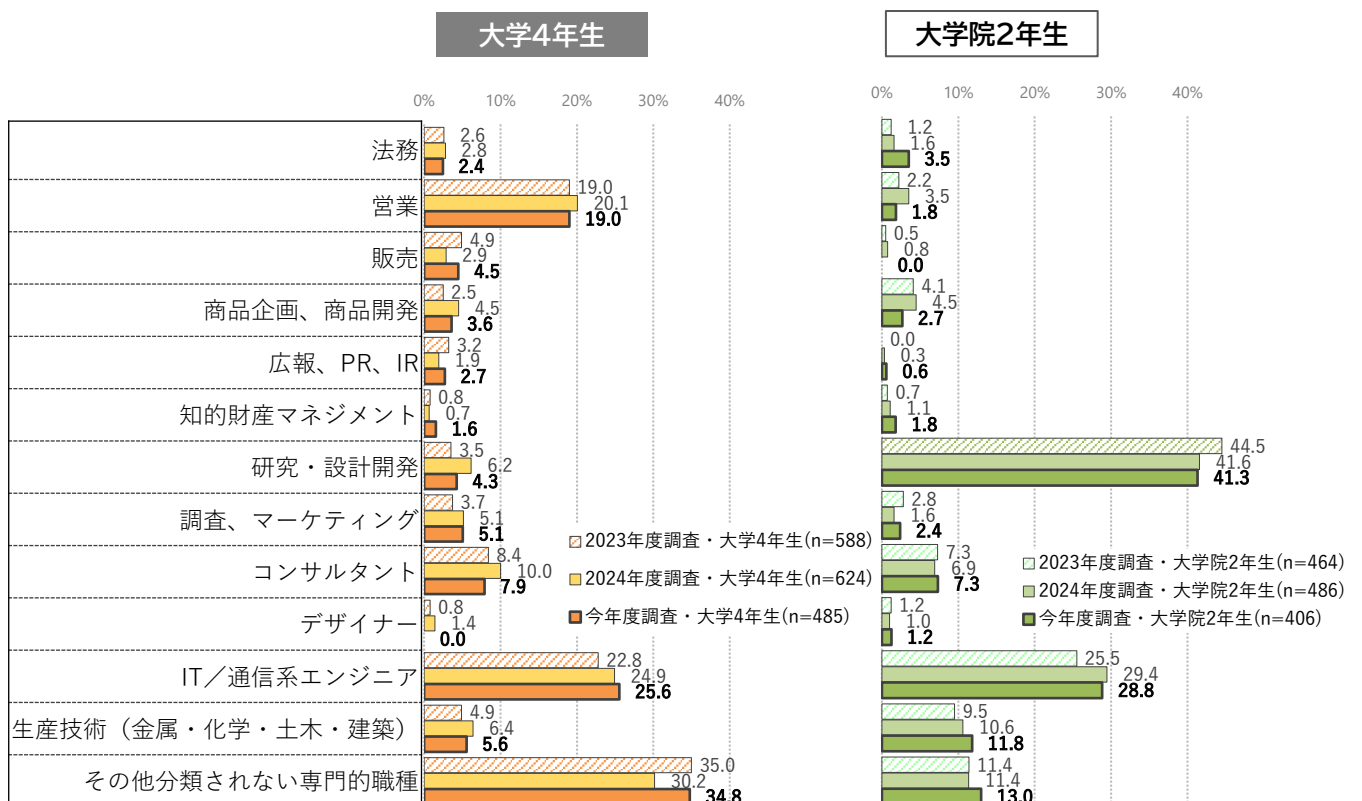
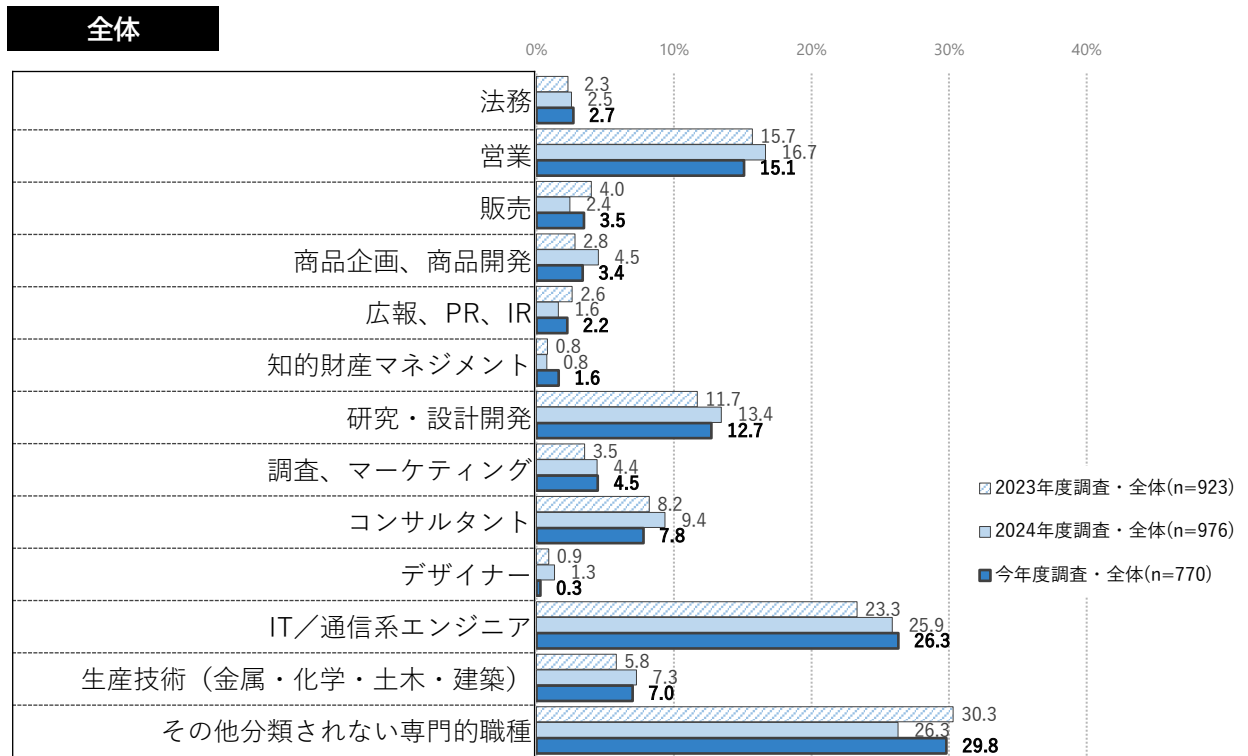


- ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する
- ▨ ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない
- ジョブ型採用で内々定をもらっていない

※1: 「特定の職務等を限定した採用(ジョブ型採用)」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

②ジョブ型採用で内々定を受けた職種

ジョブ型採用※1で内々定を受けた職種について、「その他分類されない専門的職種」を除いては「IT／通信系エンジニア」が約3割、「営業」が約2割、「研究・設計開発」「コンサルタント」「生産技術（金属・化学・土木・建築）」が約1割。過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

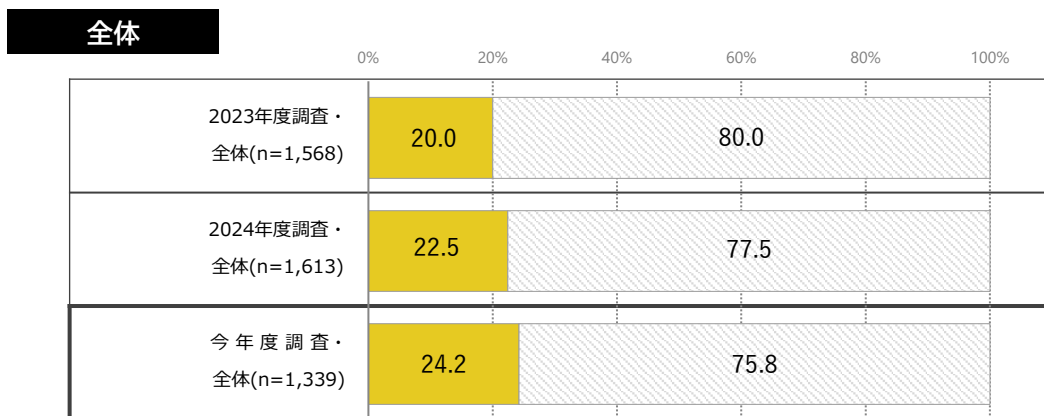
(3) ジョブ型採用とそうでない採用の応募・待遇について

①ジョブ型採用とそうでない採用の応募状況

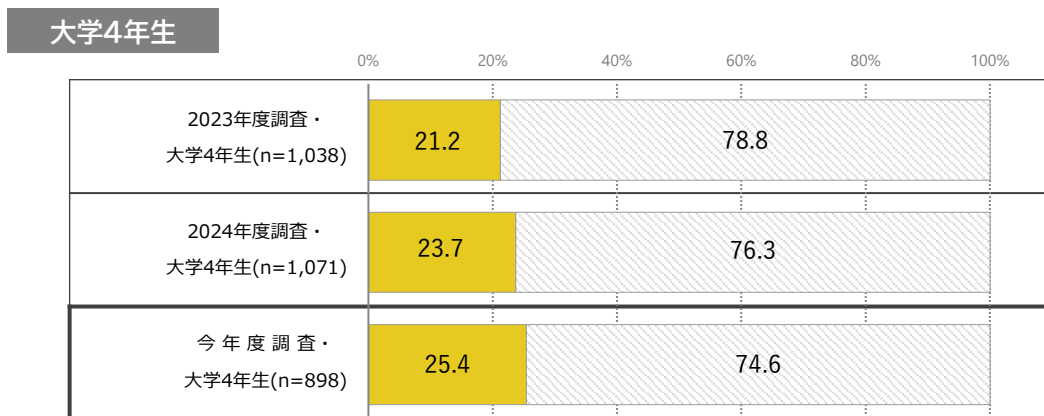
ジョブ型採用※1での就職活動経験がある者に関して、一つの企業において「ジョブ型採用」とそうでない採用の両方へ応募したこと、もしくは応募を検討したことがあったかについて集計した。

「一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した」の回答割合は2割となった。

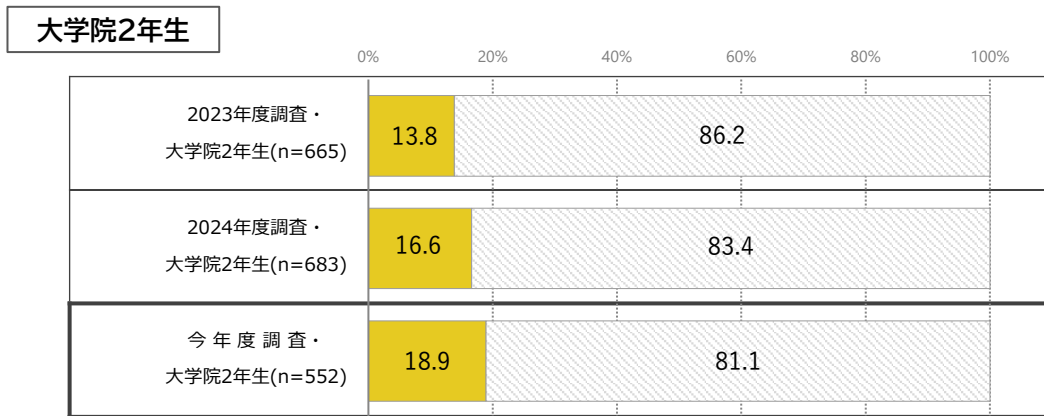
過年度調査と比べると、「一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した」の回答割合は増加傾向にある。



- 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した
- 一つの企業で両方の応募はしていない・もしくは応募を検討していない



- 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した
- 一つの企業で両方の応募はしていない・もしくは応募を検討していない



- 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した
- 一つの企業で両方の応募はしていない・もしくは応募を検討していない

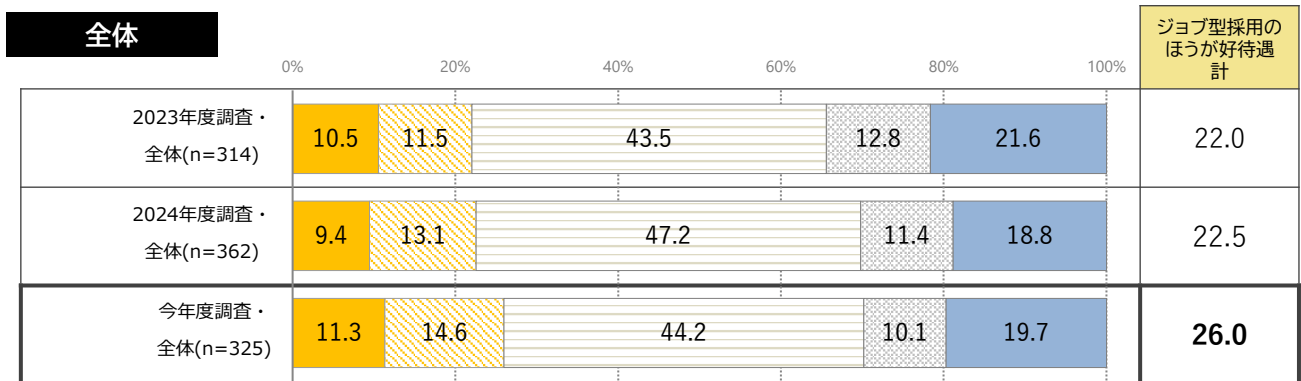
※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

②ジョブ型採用とそうでない採用で待遇(初任給や年俸・諸手当等)の違いがあったか

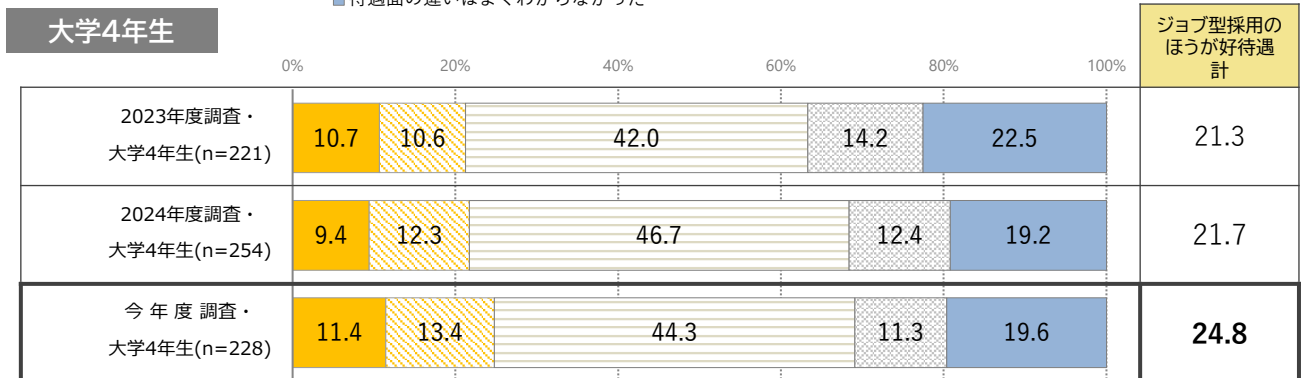
ジョブ型採用※1とそうでない採用の両方へ応募・もしくは応募を検討した者に関して、ジョブ型採用とそうでない採用で待遇(初任給や年俸・諸手当等)の違いがあったかについて集計した。

「どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない」が約4割と最も高い。「ジョブ型採用のほうが好待遇」とする回答割合は約3割となった。

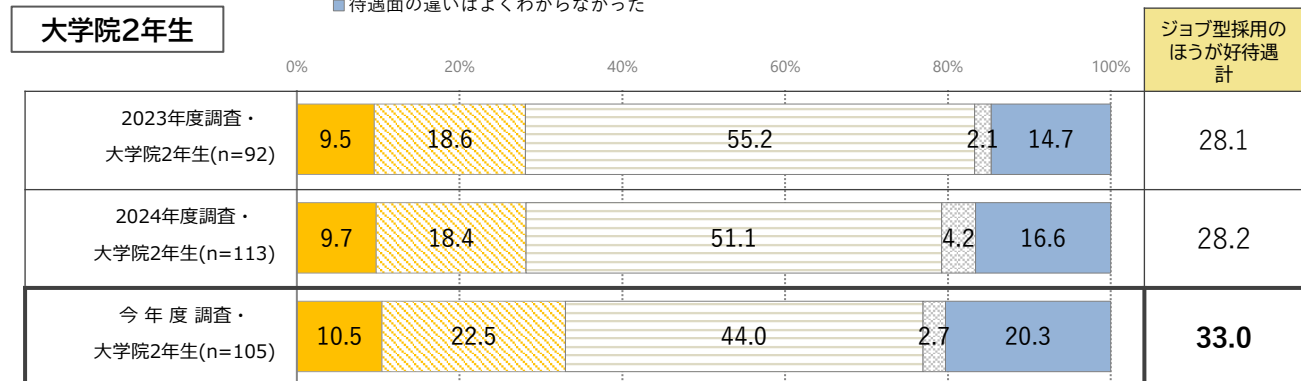
過年度調査と比較すると、「ジョブ型採用のほうが好待遇」とする回答割合は増加傾向にある。



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▤ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▤ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▤ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった

※1: 「特定の職務等を限定した採用(ジョブ型採用)」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

第七章 採用プロセスの複線化についての状況

第七章 採用プロセスの複線化についての状況

(1) 採用プロセスの複線化に関する認知状況と認知経路

①採用プロセスの複線化の認知度

2025年度卒以降、専門活用型インターンシップ(2週間以上)で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できることについて、「よく知っていた」は5%、「知っていた」の計で19%。「知らなかった」が63%と最も高くなっている。

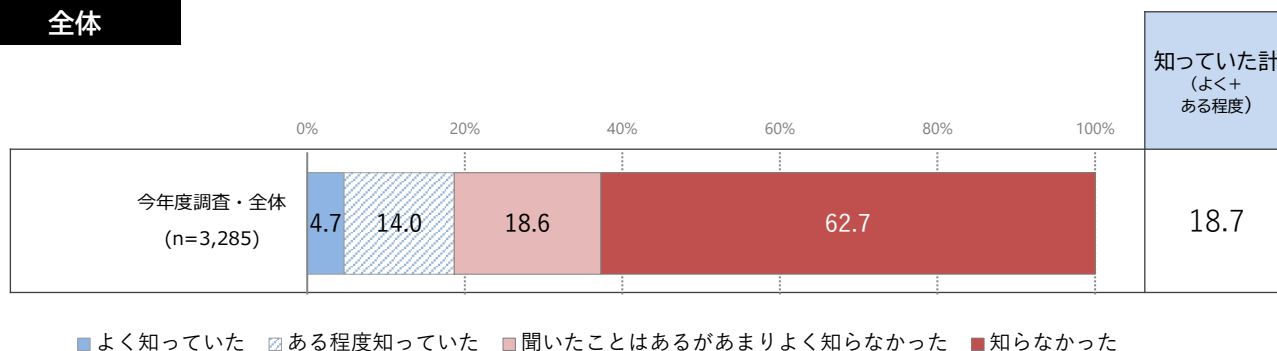
「採用プロセスの複線化」について下記の通り注釈で説明したうえで聴取

※2025年度卒以降の学生については、専門活用型インターンシップ(2週間以上)で卒業・修了年度に入る直前の春休み以降に実施されるものを通じて高い専門的知識や能力を有すると判断された学生については、そのことに着目し、3月から行われる広報活動の周知期間を短縮して、6月より以前のタイミングから採用選考プロセスに移行できます。

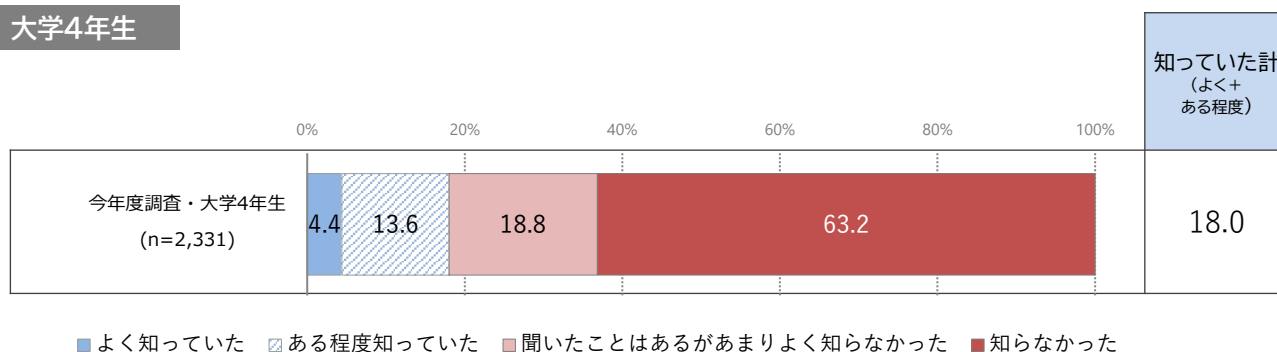
※複線化に対応した専門活用型インターンシップの主な要件:

- ・実施期間2週間以上で半分を超える日数の就業体験
- ・卒業・修了年次直前の春休み以降に実施
- ・職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後に学生にフィードバックを実施
- ・インターンシップ実施企業はインターンシップの情報とともに、学生に求める学修成果水準、採用計画に係る情報を開示

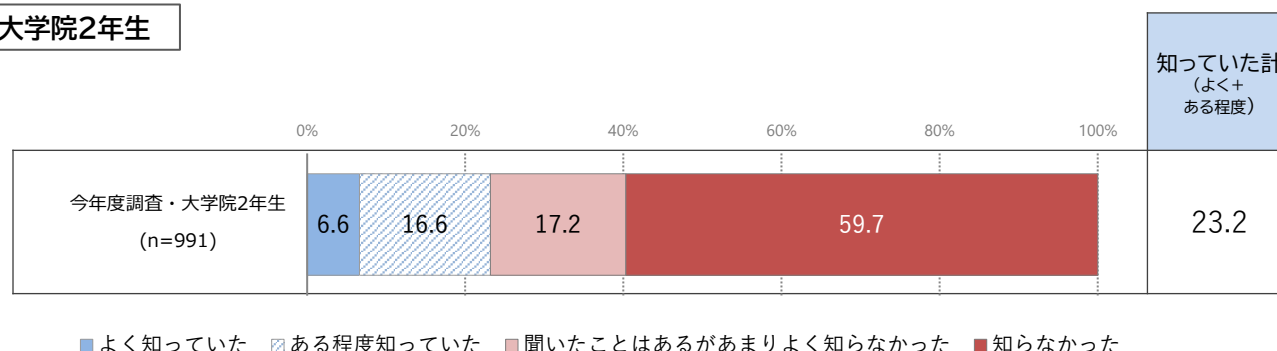
全体



大学4年生

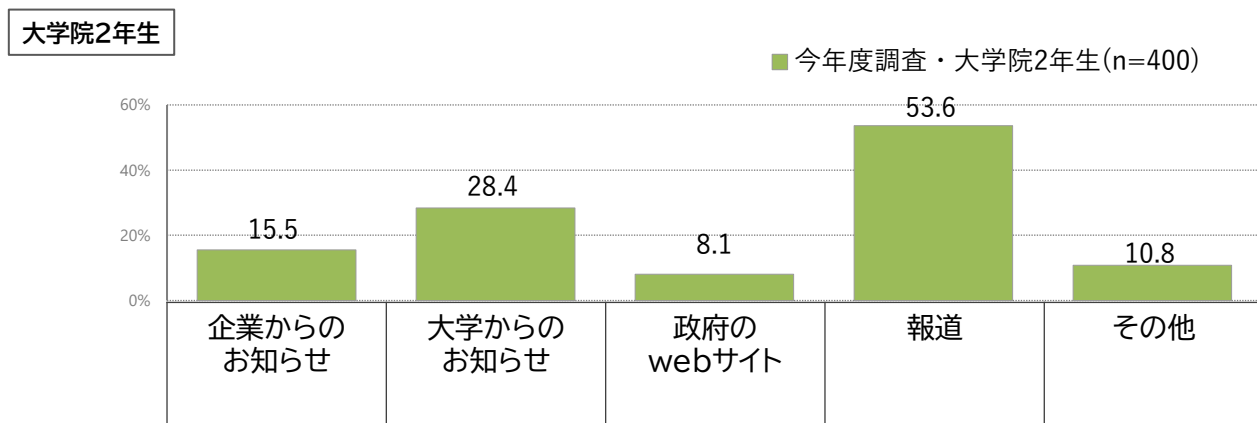
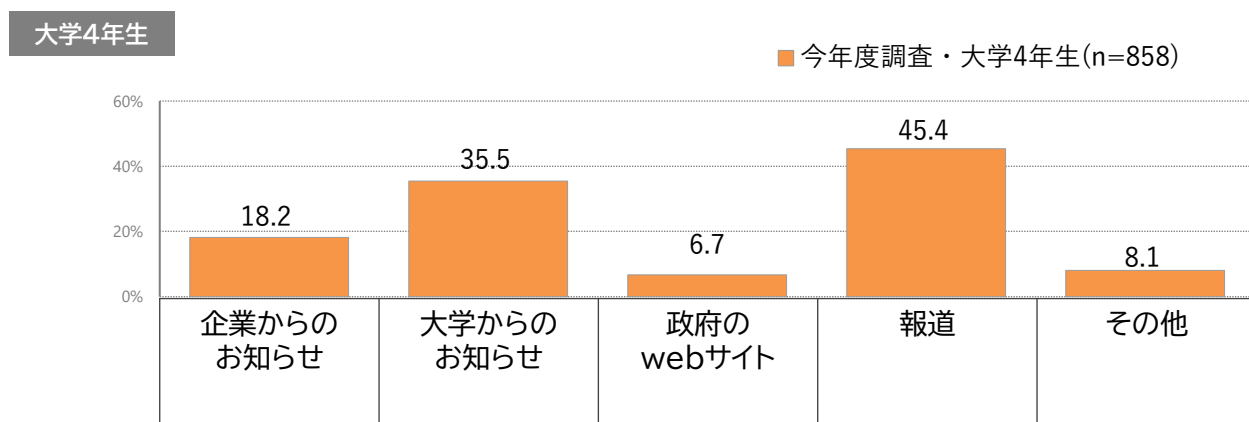
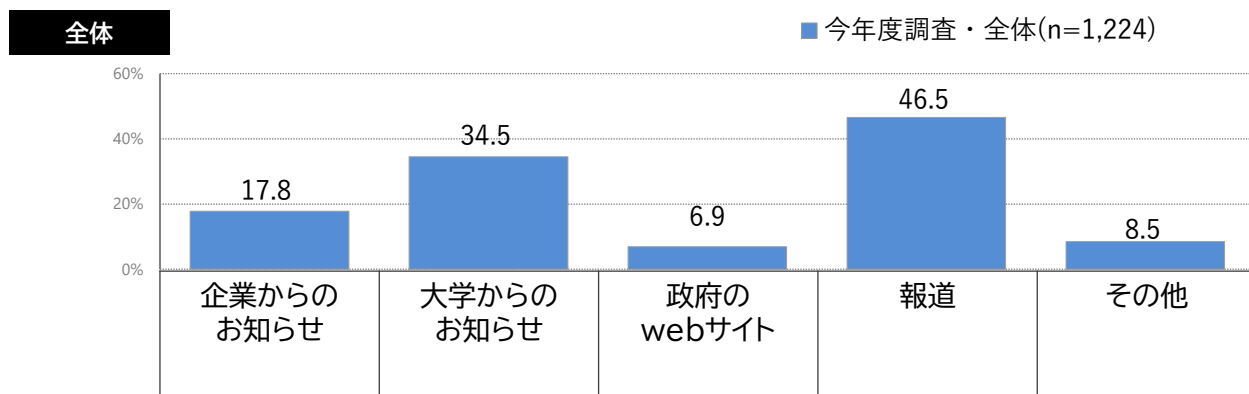


大学院2年生



②採用プロセスの複線化の認知経路

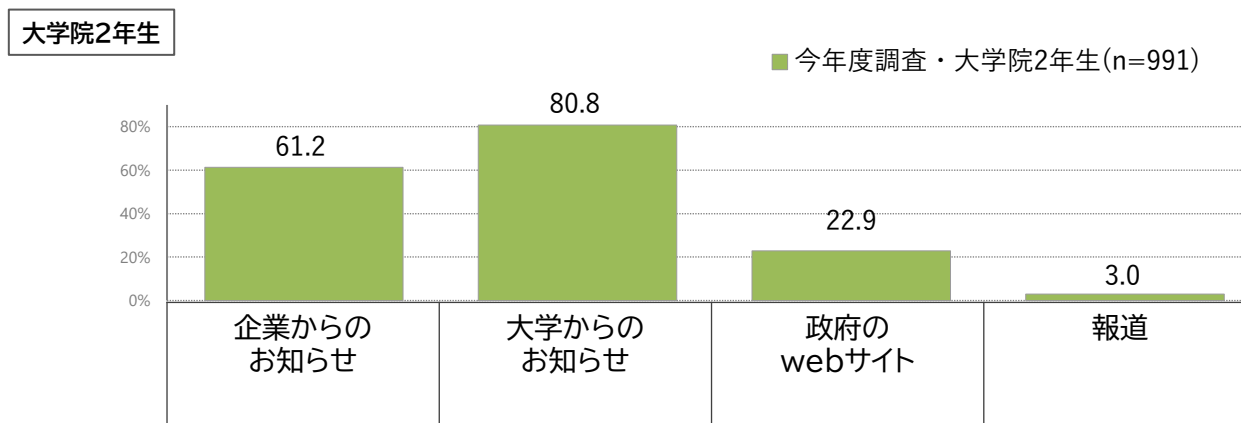
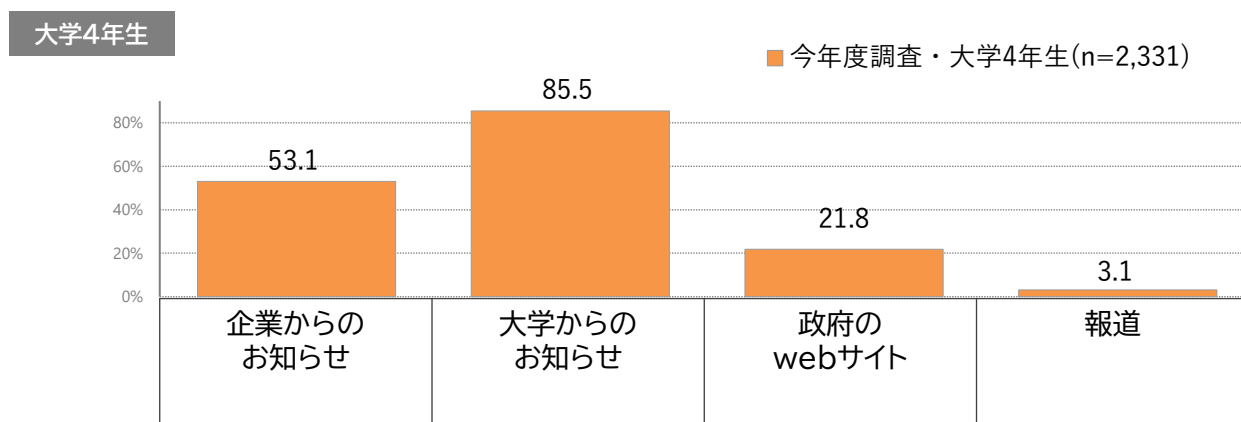
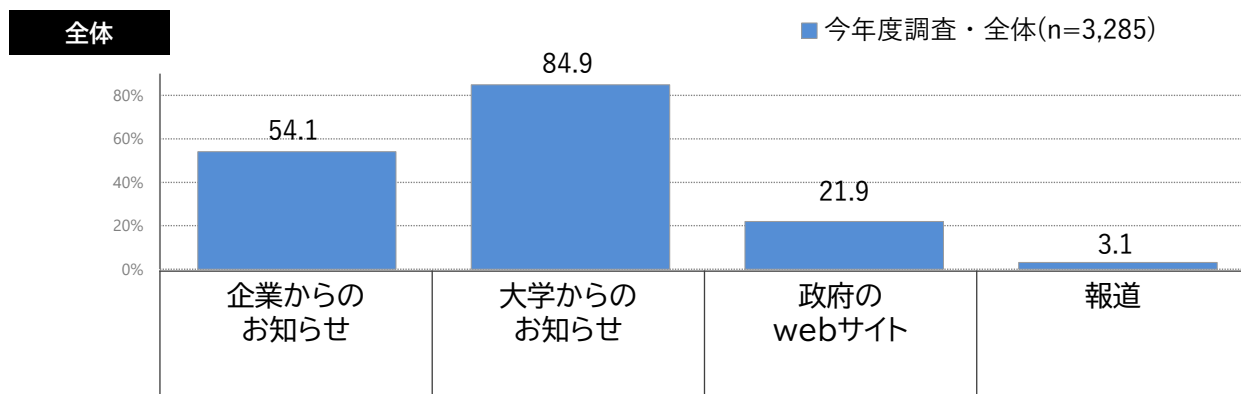
採用プロセスの複線化を認知した経路について、「報道」との回答が約5割で最も高く、次いで、「大学からのお知らせ」3割、「企業からのお知らせ」2割、「政府のwebサイト」1割となっている。



※1：「2025年度卒から、政府の要請において、採用プロセスが複線化されたことについて、知っていましたか」において、「よく知っていた」または「ある程度知っていた」または「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した人のみ対象。

③採用プロセスの複線化について、どのように知らせるのが良いと考えるか

採用プロセスの複線化をどのように知らせるのが良いと考えるかについて、「大学からのお知らせ」との回答が約8割で最も高く、次いで、「企業からのお知らせ」5割となっている。「政府のwebサイト」は2割。



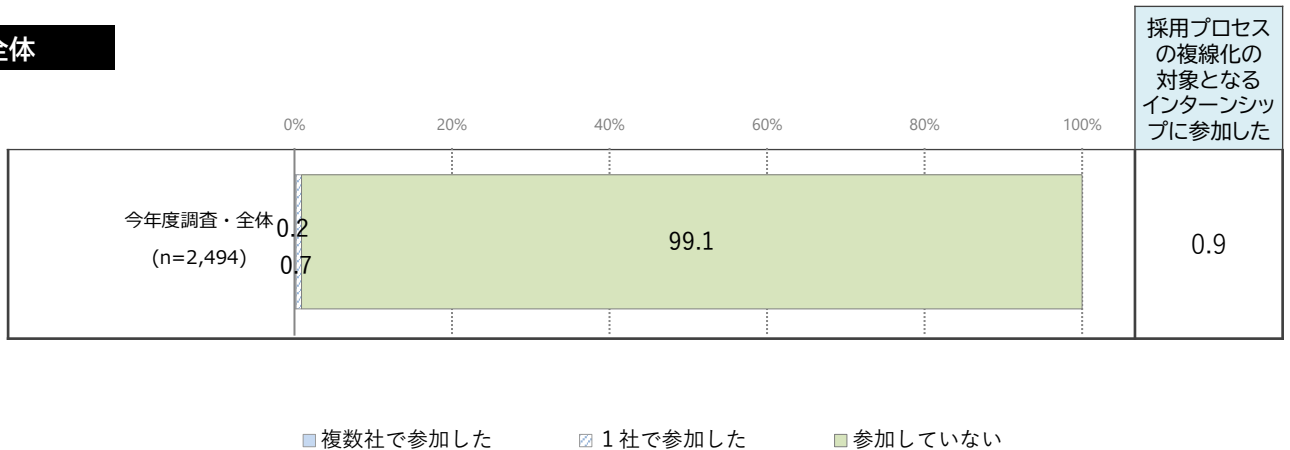
(2) 採用プロセスの複線化となるインターンシップの経験

①採用プロセスの複線化となるインターンシップの経験

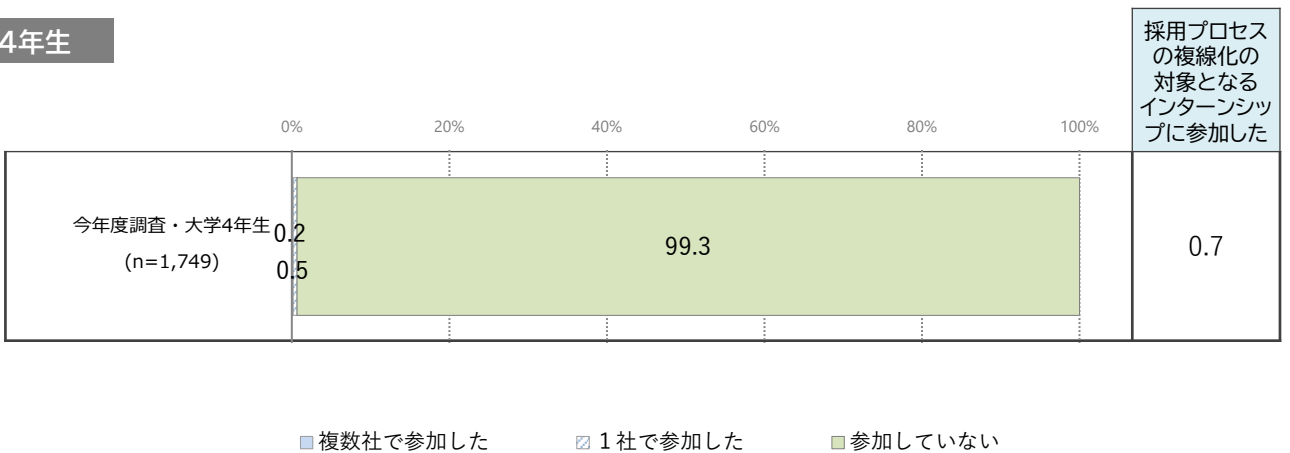
※「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化」の定義に合致するインターンシップに参加した者のみを、真に「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」者として扱い、集計を行った。

採用プロセスの複線化となるインターンシップの経験について、「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」の計は0.9%。

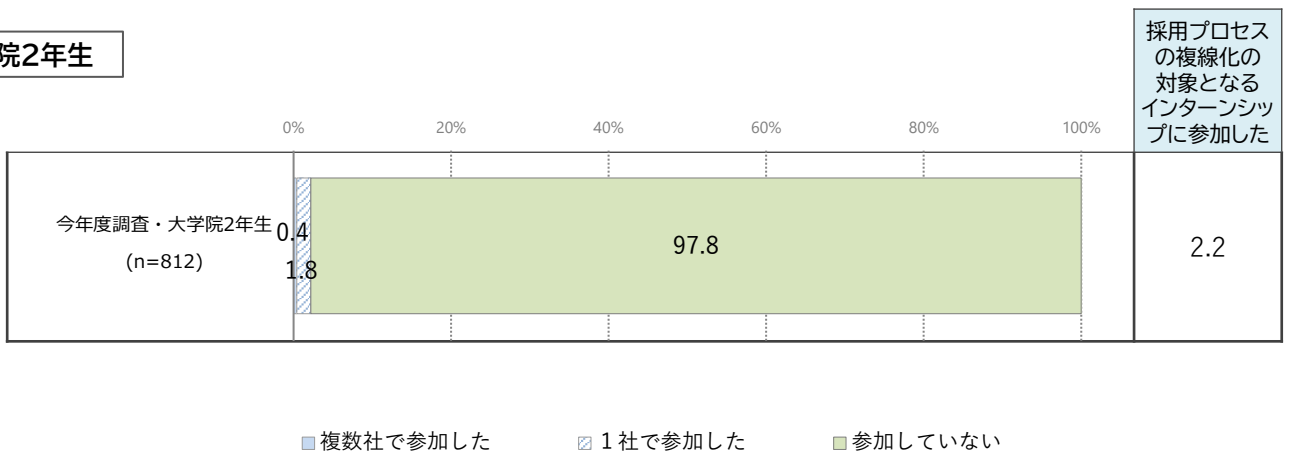
全体



大学4年生



大学院2年生



※：「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ」への参加期間が「その他（2週間程度未満）」もしくは参加時期が「1月以前」「その他」の者を「参加していない」とデータクリーニングをして集計した結果である。

②採用プロセスの複線化となるインターンシップの実施時期と実施期間

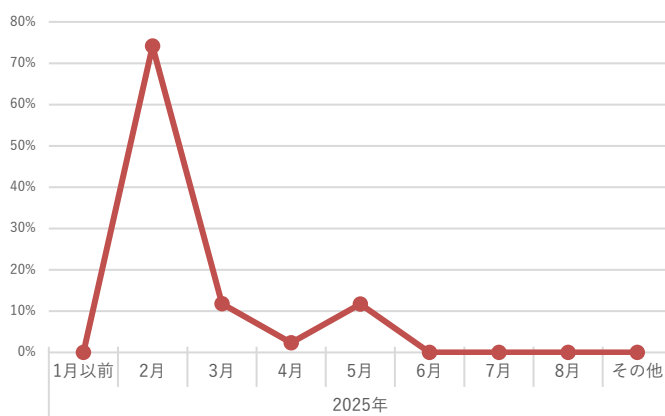
※「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化」の定義に合致するインターンシップに参加した者のみを、真に「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」者として扱い、集計を行った。

採用プロセスの複線化となるインターンシップの実施時期について、「2025年2月」の回答割合が最も高くなっている。採用プロセスの複線化となるインターンシップの実施期間について、「2週間程度」の回答割合が約8割と最も高くなっている。

参加した時期(最も早期に参加したもの)

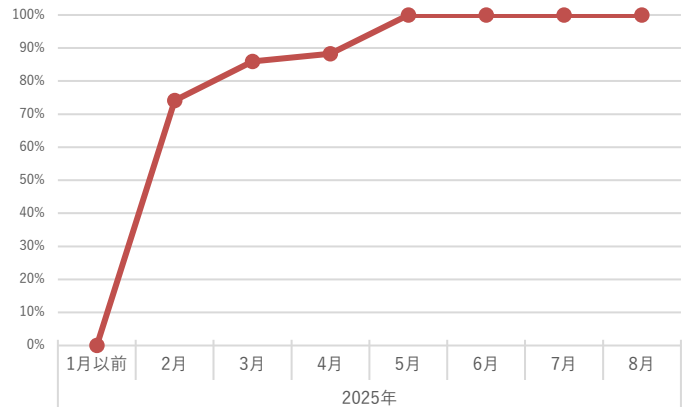
全体

月別回答割合



— 今年度調査・全体・参加した時期：月別回答割合(n=22)

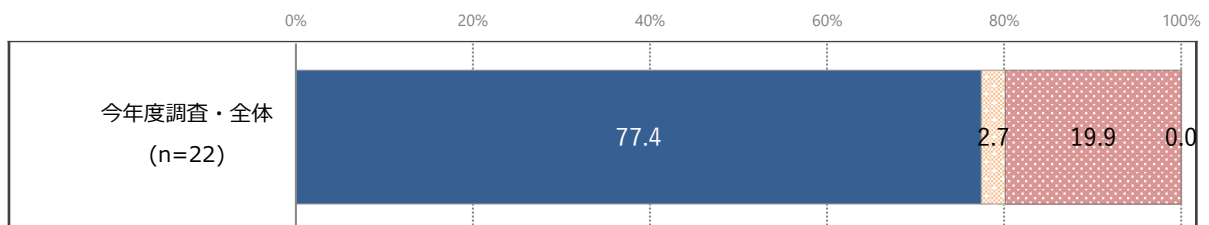
累積割合



— 今年度調査・全体・参加した時期：累積割合(n=22)

実施期間(最も早期に参加した)

全体



■ 2週間程度 ■ 3週間程度 ■ 4週間程度以上 ■ その他

※：「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ」への参加期間が「その他（2週間程度未満）」もしくは参加時期が「1月以前」「その他」の者を「参加していない」とデータクリーニングをして集計した結果である。

※：集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

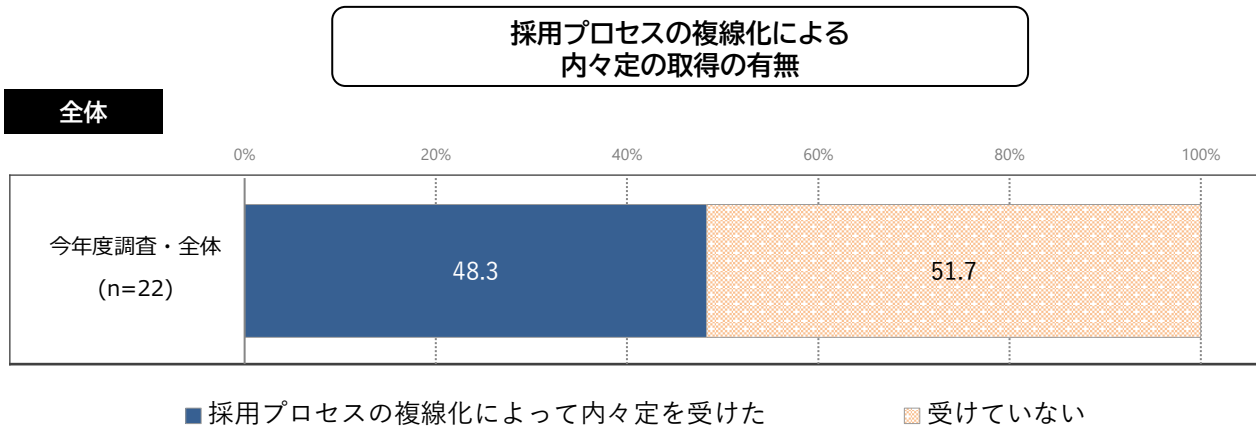
※：「その他」は累計に含まれていないため、100%にならない。

(3) 採用プロセスの複線化による内々定取得の有無

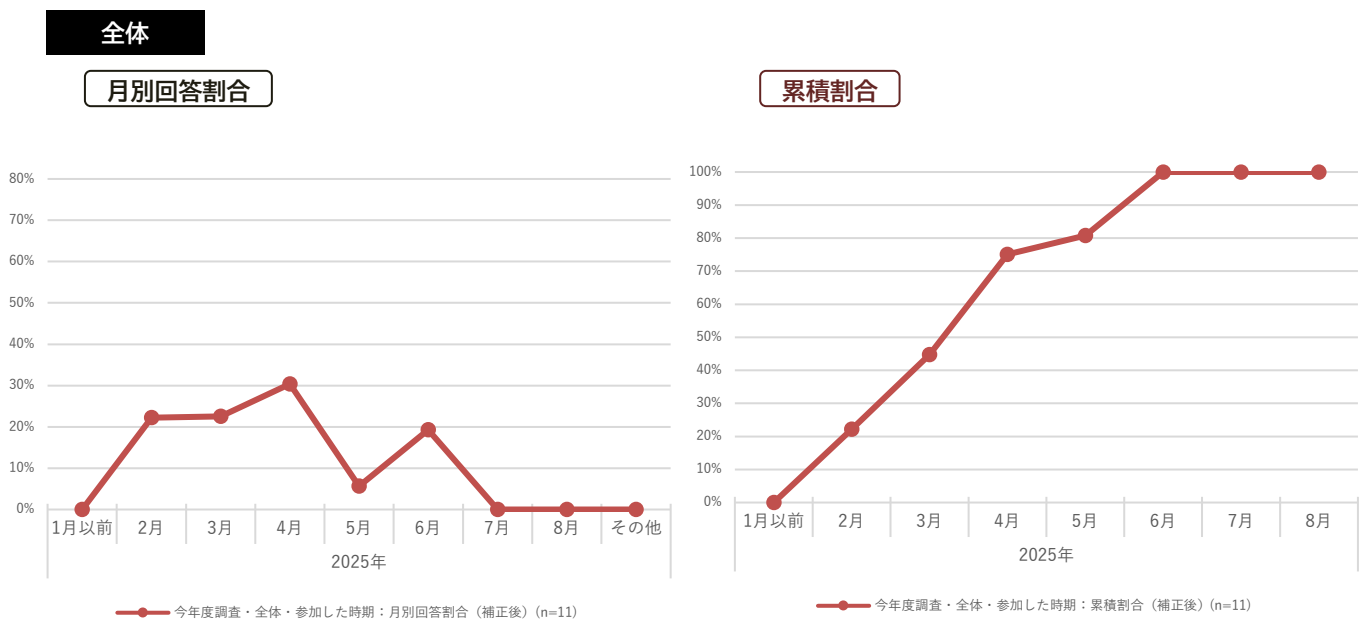
①採用プロセスの複線化による内々定取得の有無と時期

※「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化」の定義に合致するインターンシップに参加した者のみを、真に「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」として扱い、集計を行った。

採用プロセスの複線化による内々定取得の有無について、「採用プロセスの複線化によって内々定を受けた」の回答割合は半数。採用プロセスの複線化による内々定を受けた時期について、「2025年4月」の回答割合が最も高くなっている。



採用プロセスの複線化によって 内々定を受けた時期(最も早期に受けたもの)



※：「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップに参加した」と回答した者のうち、「採用プロセスの複線化の対象となるインターンシップ」への参加期間が「その他（2週間程度未満）」もしくは参加時期が「1月以前」「その他」の者を「参加していない」とデータクリーニングをして集計した結果である。

※：集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

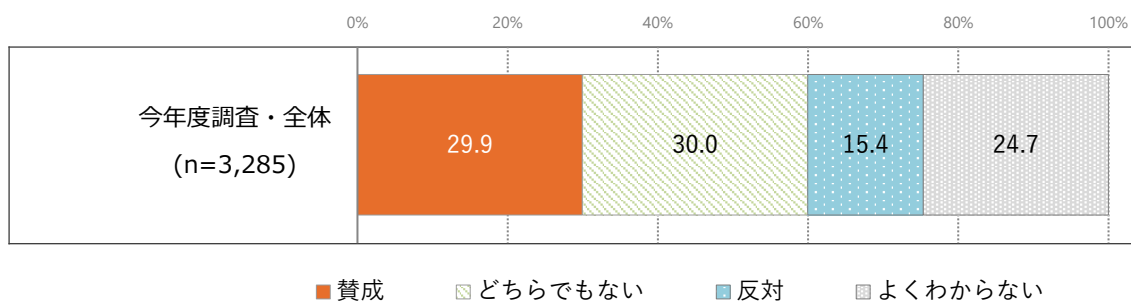
※補正前の数値について、「その他」は累計に含まれていないため、100%にならない。

(4) 採用プロセスの複線化についての考え

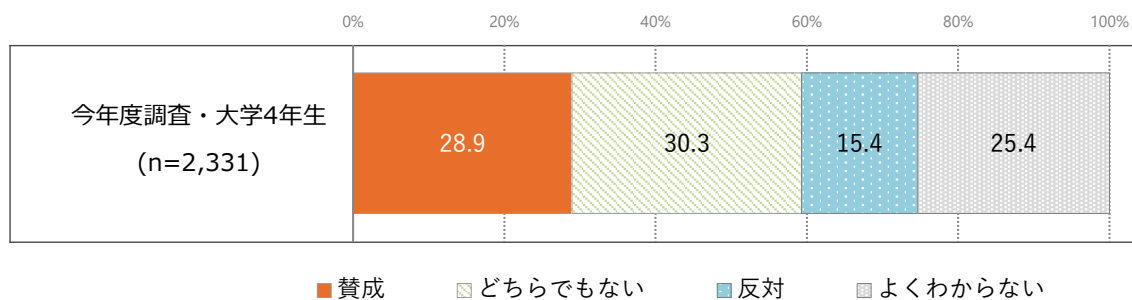
①採用プロセスの複線化についての考え

採用プロセスの複線化に対する考えについて賛成か反対かを聞いたところ、「どちらでもない」「賛成」との回答が約3割で同程度。「よくわからない」「反対」がそれぞれ約2割。

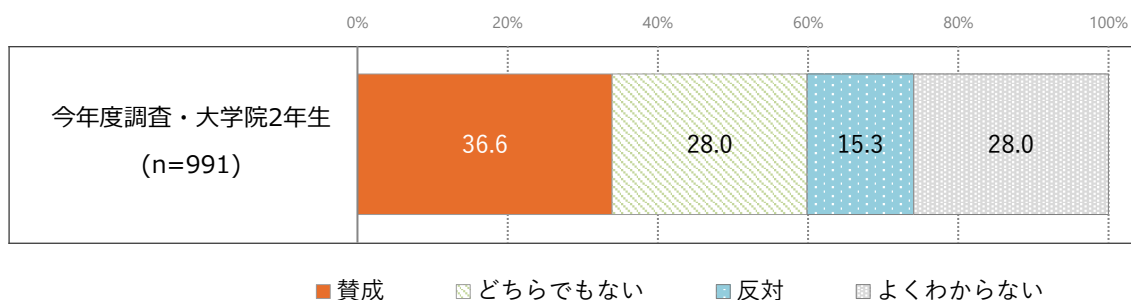
全体



大学4年生



大学院2年生



第八章 就活ルール解禁前の活動

第八章 就活ルール解禁前の活動

(1) 就活ルール解禁前の活動について

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

採用を目的とした企業説明会やセミナー※1について、集計を行った。

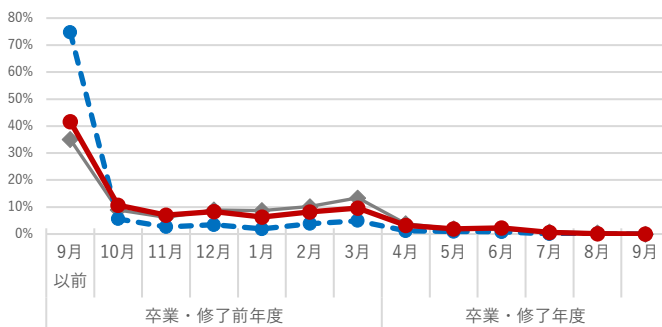
最初に参加した時期について、採用を目的とした企業説明会やセミナーの時期は、卒業・修了前年度の2月以前の累積割合で、約8割となっている。採用を目的とした企業説明会やセミナーの参加のピークについては、卒業・修了前年度の3月が約2割と最も高くなっている。

2024年度調査と比較すると、最初に参加した時期、参加のピークともに、今年度は卒業・修了前年度の2月以前の割合が高まっている。

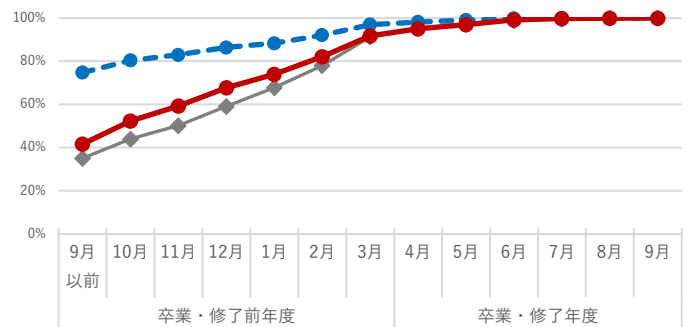
全体

最初に参加した時期

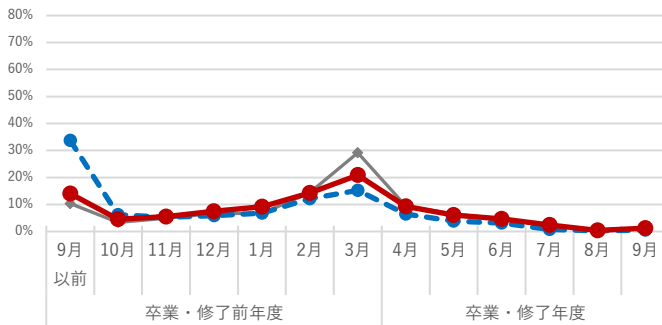
月別回答割合



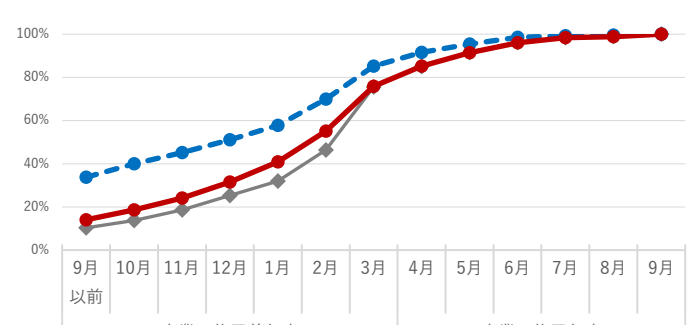
累積割合



月別回答割合



累積割合



※1：採用を目的とした企業説明会・セミナー等については、採用スケジュールなど採用に関する情報が発信されていた説明会・セミナー等や、その後の選考プロセスにおいて参加が必須であった説明会・セミナー等に限りに、いわゆる相談会等の採用を目的としない説明会を除いた活動の実態把握となる旨を伝えている。採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を行った。

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

【詳細データ(全体)】※全て%

2024年度

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	13.5	7.1	8.3	6.2	8.9	6.2	8.9	8.7	10.2	13.4	3.8	1.9	1.7	0.8	0.4	0.0
累積割合	13.5	20.6	28.9	35.1	44.0	50.2	59.2	67.8	78.0	91.4	95.2	97.2	98.8	99.6	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.4	1.6	4.3	3.0	3.4	4.9	6.7	6.7	14.4	29.2	9.5	6.5	4.7	2.2	0.5	1.0
累積割合	1.4	3.0	7.3	10.3	13.7	18.6	25.3	32.0	46.4	75.5	85.0	91.5	96.2	98.4	99.0	100.0

今年度

【参加した企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	47.3	13.4	9.4	4.7	5.6	2.6	3.4	1.9	3.8	4.9	1.1	0.9	0.8	0.1	0.0	0.0
累積割合	47.3	60.7	70.1	74.8	80.4	83.0	86.4	88.3	92.1	97.0	98.2	99.1	99.9	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.2	5.4	16.0	7.2	6.2	5.3	5.8	6.8	12.2	15.2	6.4	3.9	3.1	0.7	0.2	0.5
累積割合	5.2	10.6	26.5	33.7	39.9	45.2	51.0	57.8	70.0	85.2	91.6	95.5	98.6	99.3	99.5	100.0

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

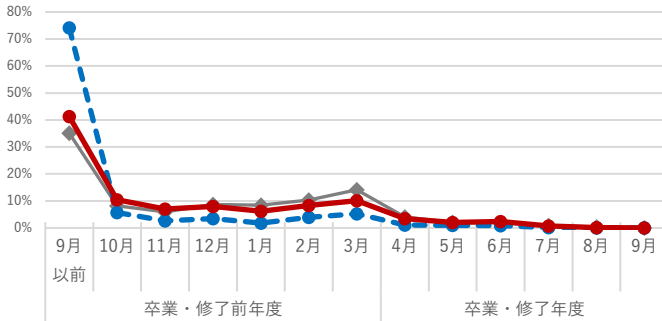
最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	17.8	7.3	9.4	7.1	10.7	7.0	8.3	6.3	8.2	9.6	3.3	1.9	2.2	0.6	0.2	0.0
累積割合	17.8	25.1	34.5	41.7	52.3	59.4	67.7	74.1	82.2	91.8	95.1	97.0	99.2	99.8	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.9	1.7	5.7	4.8	4.6	5.5	7.5	9.2	14.2	20.9	9.3	6.1	4.6	2.4	0.4	1.2
累積割合	1.9	3.6	9.3	14.0	18.6	24.1	31.6	40.8	55.0	75.9	85.2	91.3	96.0	98.4	98.8	100.0

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

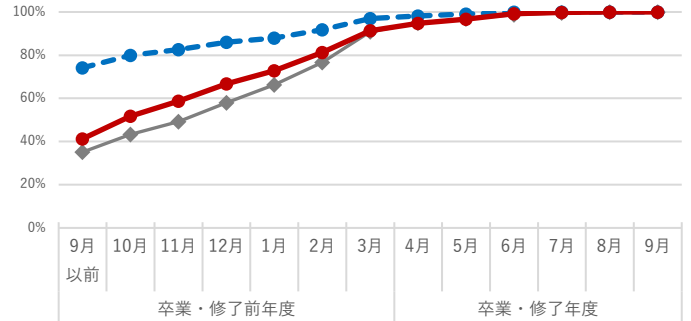
大学4年生

最初に参加した時期

月別回答割合



累積割合

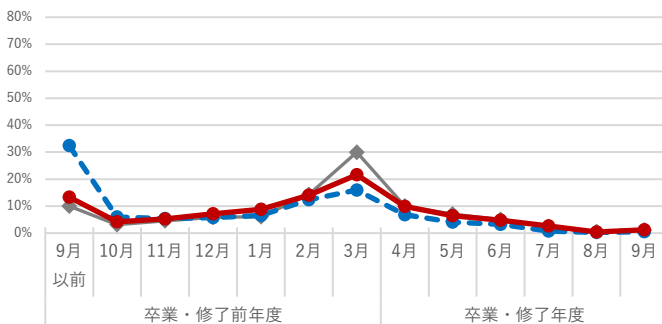


2024年度調査(大学4年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：月別回答割合(n=2,406)
 今年度調査(大学4年生)・最初に参加した企業説明会等：月別回答割合(n=2,256)
 今年度調査(大学4年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：月別回答割合(n=2,088)

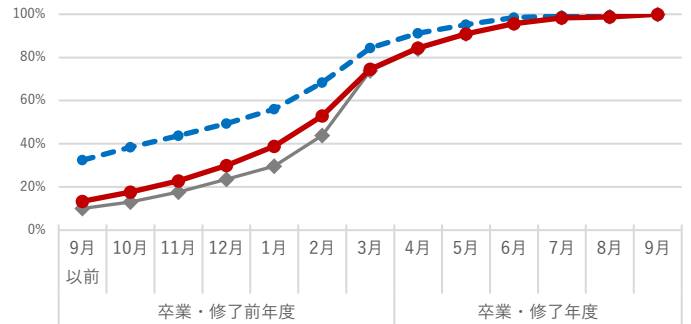
2024年度調査(大学4年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会：累積割合(n=2,406)
 今年度調査(大学4年生)・最初に参加した企業説明会等：累積割合(n=2,256)
 今年度調査(大学4年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会：累積割合(n=2,088)

参加のピーク

月別回答割合



累積割合



2024年度調査(大学4年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：月別回答割合(n=2,406)
 今年度調査(大学4年生)・企業説明会等への参加のピーク：月別回答割合(n=2,256)
 今年度調査(大学4年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：月別回答割合(n=2,088)

2024年度調査(大学4年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：累積割合(n=2,406)
 今年度調査(大学4年生)・企業説明会等への参加のピーク：累積割合(n=2,256)
 今年度調査(大学4年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：累積割合(n=2,088)

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

【詳細データ(大学4年生)】※全て%

2024年度

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	13.4	7.2	8.5	6.1	8.2	6.0	8.6	8.4	10.4	14.1	4.0	2.0	1.9	0.9	0.4	0.0
累積割合	13.4	20.6	29.1	35.1	43.3	49.3	57.9	66.3	76.7	90.8	94.9	96.9	98.8	99.6	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.3	1.5	4.4	2.9	3.1	4.5	5.9	6.1	14.2	30.0	10.1	7.0	5.1	2.4	0.5	1.1
累積割合	1.3	2.8	7.2	10.1	13.1	17.7	23.6	29.6	43.9	73.9	83.9	90.9	96.0	98.4	98.9	100.0

今年度

【参加した企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	45.7	13.8	10.0	4.7	5.7	2.7	3.5	1.8	3.9	5.2	1.1	1.0	0.8	0.1	0.0	0.0
累積割合	45.7	59.5	69.5	74.2	79.9	82.5	86.0	87.9	91.8	97.0	98.1	99.1	99.9	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	4.5	4.9	16.3	6.8	6.0	5.4	5.7	6.6	12.4	15.9	6.8	4.1	3.2	0.7	0.3	0.5
累積割合	4.5	9.4	25.6	32.4	38.4	43.7	49.4	56.0	68.4	84.3	91.2	95.3	98.5	99.3	99.5	100.0

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	17.4	7.3	9.7	6.8	10.4	7.0	8.0	6.1	8.4	10.1	3.4	2.0	2.4	0.7	0.2	0.0
累積割合	17.4	24.8	34.5	41.3	51.7	58.7	66.7	72.9	81.2	91.3	94.7	96.7	99.1	99.8	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.6	1.5	5.5	4.8	4.2	5.2	7.2	8.8	14.0	21.6	9.9	6.5	4.8	2.6	0.4	1.3
累積割合	1.6	3.2	8.6	13.4	17.6	22.8	30.0	38.9	52.9	74.5	84.4	90.9	95.7	98.3	98.7	100.0

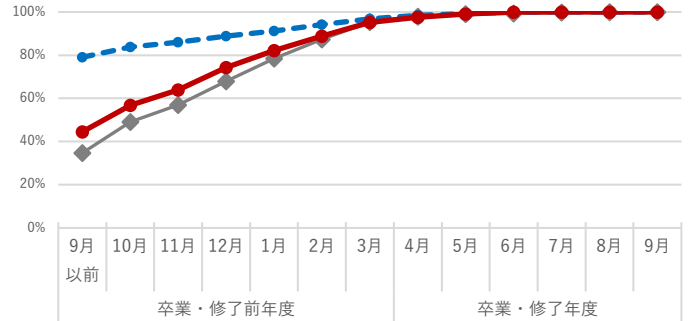
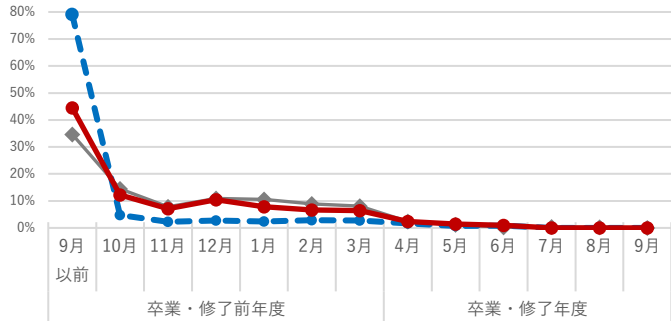
①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

大学院2年生

最初に参加した時期

月別回答割合

累積割合



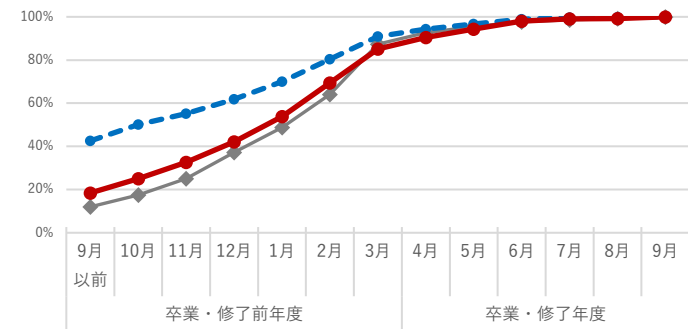
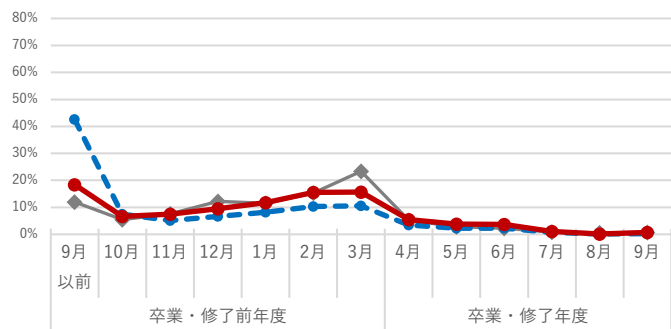
— 2024年度調査(大学院2年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：月別回答割合(n=1,031)
 - - 今年度調査(大学院2年生)・最初に参加した企業説明会等：月別回答割合(n=949)
 ● 今年度調査(大学院2年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：月別回答割合(n=877)

— 2024年度調査(大学院2年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：累積割合(n=1,031)
 - - 今年度調査(大学院2年生)・最初に参加した企業説明会等：累積割合(n=949)
 ● 今年度調査(大学院2年生)・最初に参加した採用目的の企業説明会等：累積割合(n=877)

参加のピーク

月別回答割合

累積割合



— 2024年度調査(大学院2年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：月別回答割合(n=1,031)
 - - 今年度調査(大学院2年生)・企業説明会等への参加のピーク：月別回答割合(n=949)
 ● 今年度調査(大学院2年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：月別回答割合(n=877)

— 2024年度調査(大学院2年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：累積割合(n=1,031)
 - - 今年度調査(大学院2年生)・企業説明会等への参加のピーク：累積割合(n=949)
 ● 今年度調査(大学院2年生)・採用目的の企業説明会等への参加のピーク：累積割合(n=877)

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

【詳細データ(大学院2年生)】※全て%

2024年度

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	14.0	6.4	6.9	7.3	14.5	7.8	10.9	10.5	8.9	8.1	2.4	1.3	0.3	0.4	0.3	0.0
累積割合	14.0	20.5	27.4	34.7	49.2	57.0	67.9	78.4	87.3	95.4	97.8	99.1	99.3	99.7	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.9	2.7	3.7	3.7	5.5	7.6	12.2	11.5	15.3	23.4	5.2	2.9	2.3	0.9	0.6	0.8
累積割合	1.9	4.6	8.3	12.0	17.5	25.0	37.3	48.8	64.0	87.4	92.6	95.5	97.8	98.6	99.2	100.0

今年度

【参加した企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	58.4	10.4	5.5	4.7	4.8	2.2	2.8	2.4	2.8	2.7	1.7	0.7	0.8	0.0	0.0	0.0
累積割合	58.4	68.8	74.4	79.0	83.8	86.0	88.8	91.3	94.1	96.8	98.5	99.2	100.0	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	9.8	8.7	13.9	10.2	7.5	5.1	6.6	8.1	10.4	10.5	3.4	2.3	2.2	0.8	0.1	0.2
累積割合	9.8	18.5	32.3	42.6	50.1	55.2	61.8	70.0	80.4	90.9	94.3	96.6	98.9	99.6	99.8	100.0

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

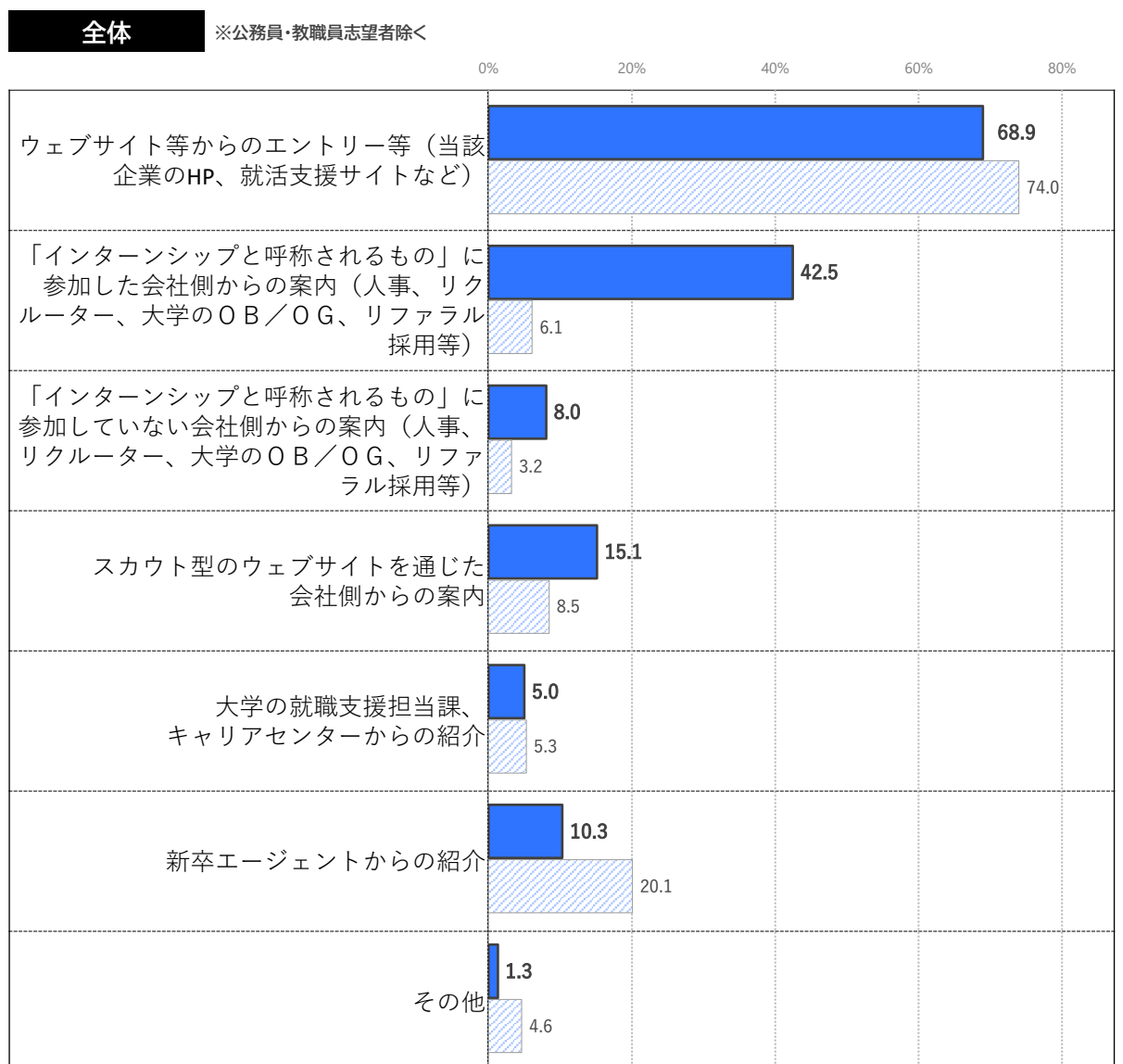
最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	20.6	6.9	7.7	9.3	12.2	7.1	10.5	7.8	6.7	6.4	2.4	1.5	0.9	0.0	0.0	0.0
累積割合	20.6	27.5	35.2	44.5	56.8	63.9	74.3	82.1	88.8	95.2	97.6	99.1	100.0	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	3.7	2.5	7.4	4.9	6.7	7.4	9.5	11.8	15.5	15.6	5.5	3.8	3.7	1.1	0.1	0.8
累積割合	3.7	6.2	13.6	18.4	25.1	32.6	42.0	53.9	69.4	85.1	90.5	94.3	98.0	99.1	99.2	100.0

②最初に受けた「面接」の企業の経路

最初に受けた「面接」について、卒業・修了年度の6月以降(就活ルール内)と、卒業・修了年度の5月以前(就活ルールより前)で分類し、それぞれについて集計を行った。

どのような経路で面接を受けたかについて、卒業・修了年度の5月以前、6月以降ともに、「ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、就活支援サイトなど)」が約7割と最も高い。

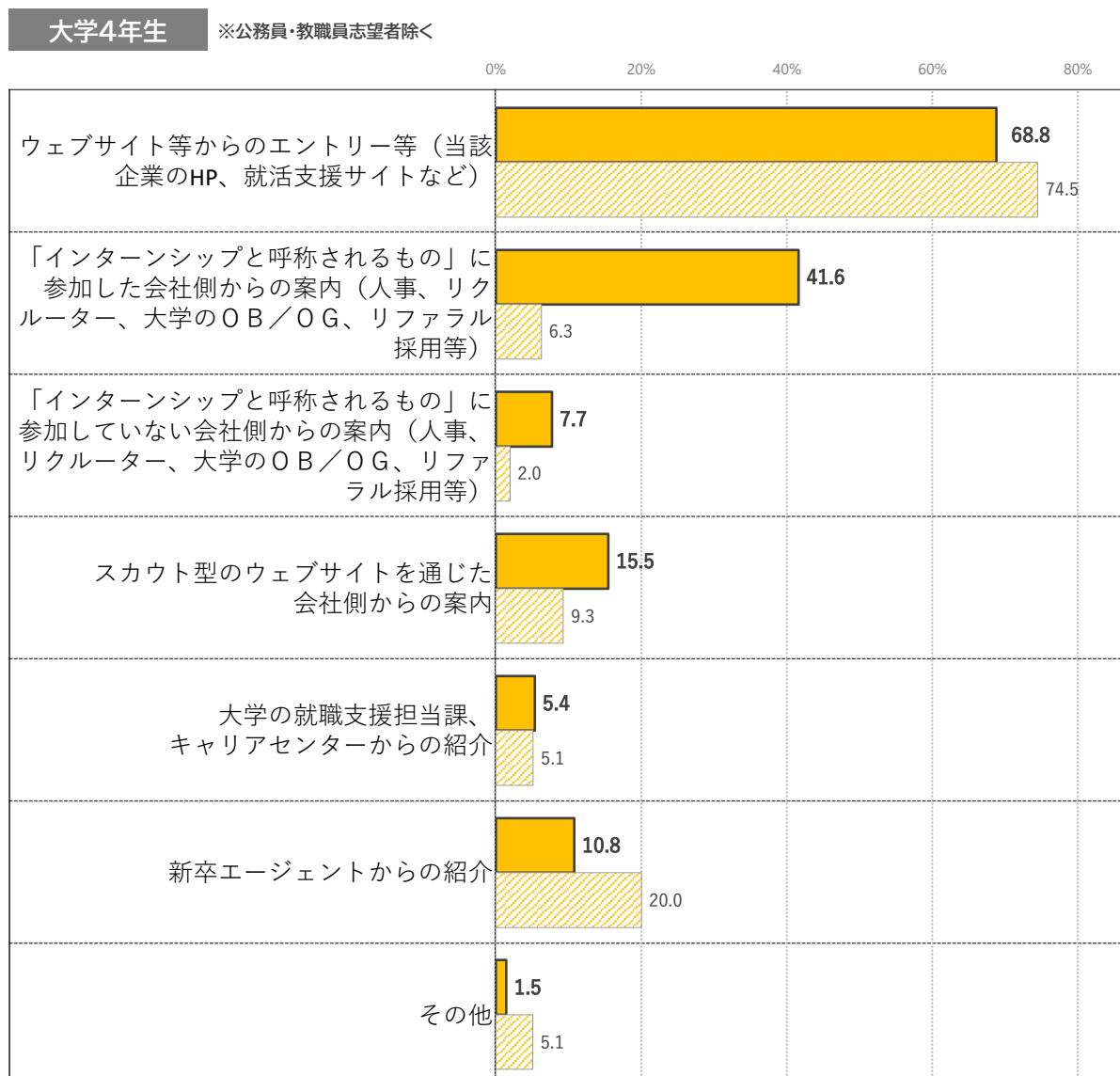
卒業・修了年度の6月以降に対して、卒業・修了年度の5月以前の方が特に高い経路は、「「インターンシップと呼称されるもの」に参加した会社側からの案内(人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)」となった。



■ 卒業・修了年度の5月以前・全体(n=2,590)

□ 卒業・修了年度の6月以降・全体(n=90)

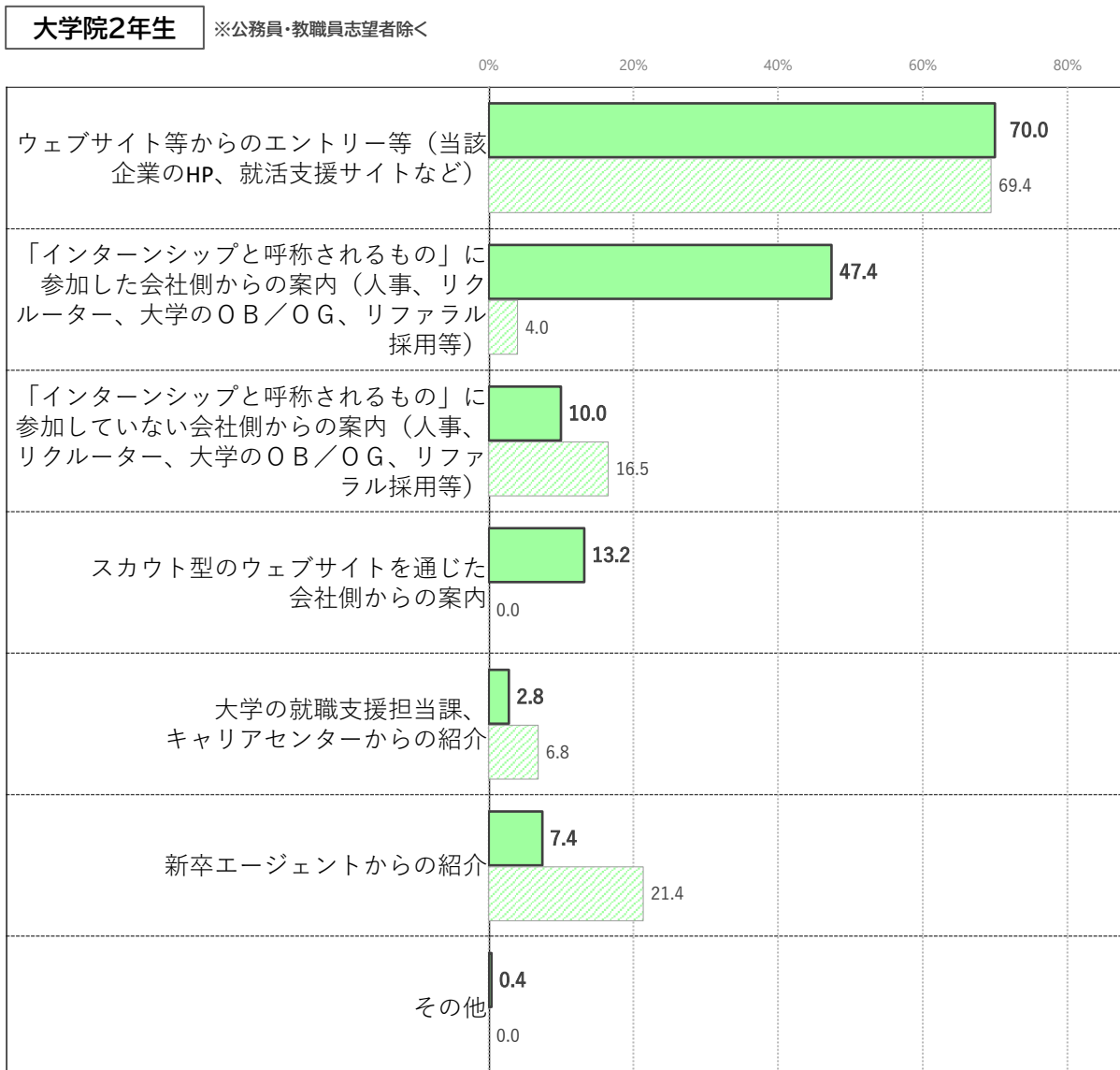
②最初に受けた「面接」の企業の経路



■ 卒業・修了年度の5月以前・大学4年生 (n=1,812)

▨ 卒業・修了年度の6月以降・大学4年生 (n=67)

②最初に受けた「面接」の企業の経路



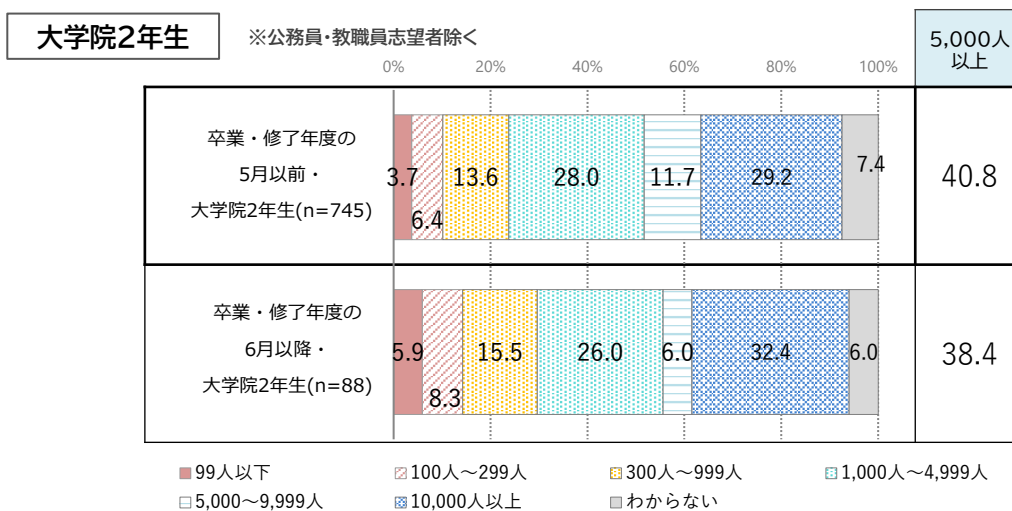
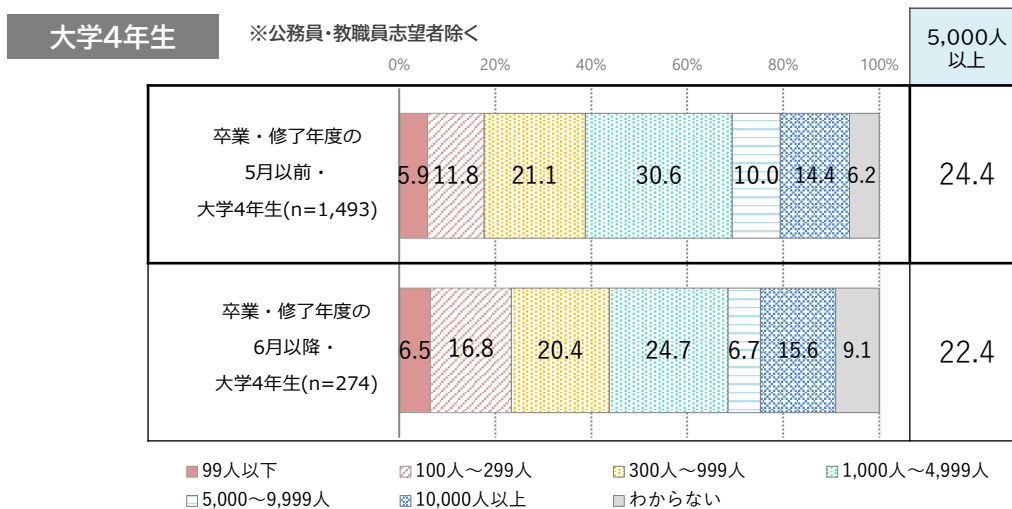
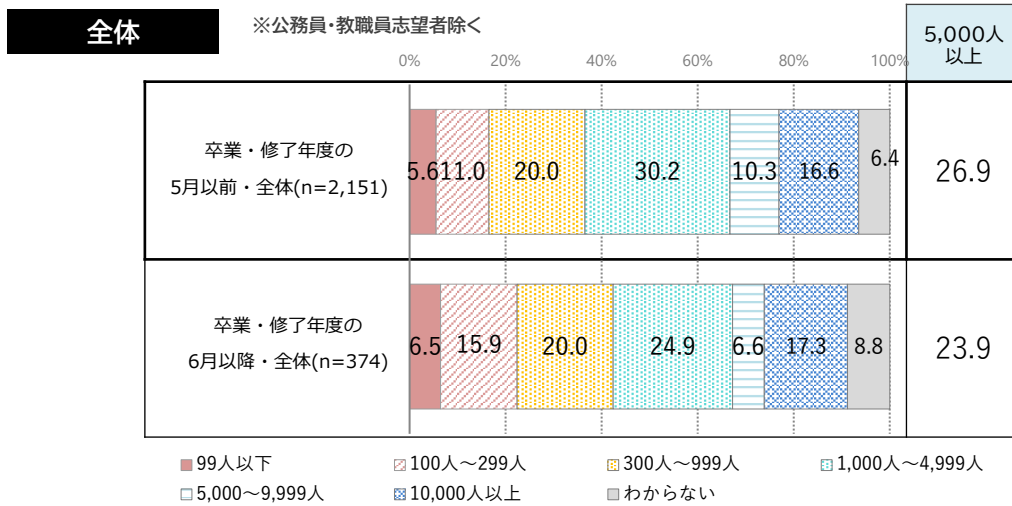
■ 卒業・修了年度の5月以前・大学院2年生 (n=854)

▨ 卒業・修了年度の6月以降・大学院2年生 (n=18)

③最初に内々定を受けた企業の規模

最初に内々定※1を受けた企業の企業規模について、卒業・修了年度の5月以前に受けた者と、卒業・修了年度の6月以降に受けた者に分けて集計を行った。

「卒業・修了年度の5月以前」では「1,000人～4,999人」が30.2%と、「卒業・修了年度の6月以降」24.9%と比べてやや高い。



※1：内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行っている。

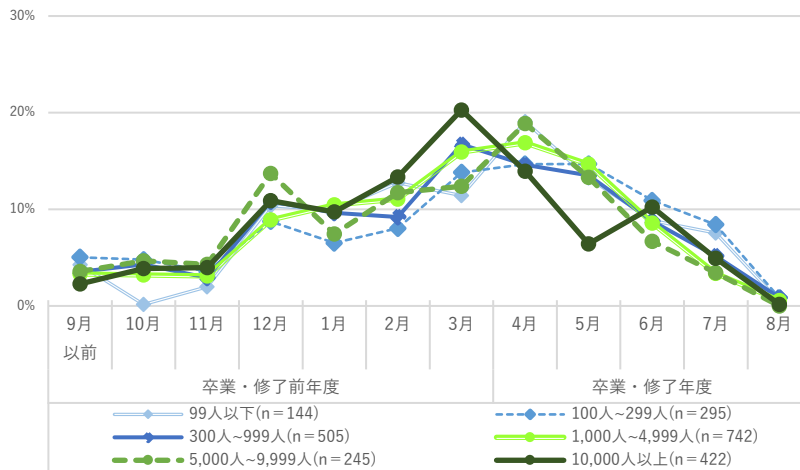
④最初に内々定を受けた企業の規模別の内々定時期

最初に内々定を受けた企業の規模別に、最初の内々定時期を見ると※1、いずれの区分でも最も高いのは「3月」「4月」「5月」である。「10,000人以上」では、「3月」の割合が2割を超えて高い。
累積割合で見ると、「10,000人以上」では6割以上が3月までに最初の内々定を受けている。

全体

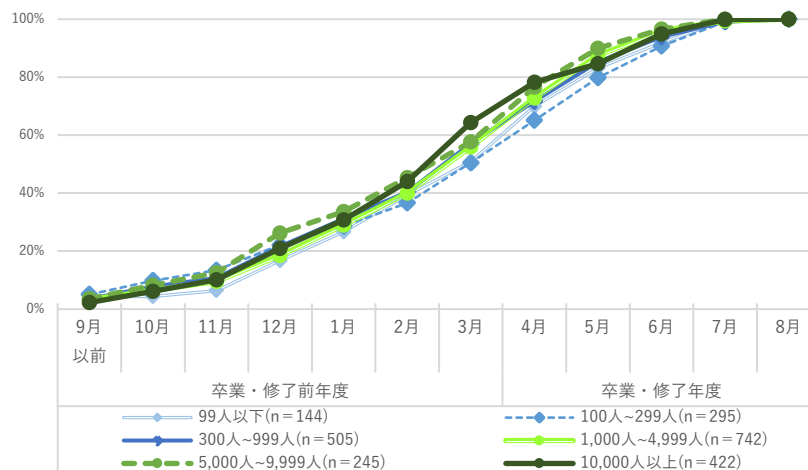
月別回答割合

※公務員・教職員志望者除く



累積割合

※公務員・教職員志望者除く



※1：企業の規模別の集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

④最初に内々定を受けた企業の規模別の内々定時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

【99人以下】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.4	0.0	2.8	0.0	0.1	2.0	10.4	9.9	12.7	11.4	19.1	13.2	8.8	7.5	0.5
累積割合	1.4	1.4	4.3	4.3	4.4	6.4	16.8	26.7	39.4	50.8	69.9	83.2	92.0	99.5	100.0

【100人～299人】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.3	0.4	1.3	2.1	4.8	3.6	8.8	6.5	8.0	13.8	14.7	14.7	10.9	8.4	0.8
累積割合	1.3	1.7	3.0	5.0	9.8	13.4	22.1	28.6	36.7	50.5	65.2	79.8	90.7	99.2	100.0

【300人～999人】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4	0.5	0.4	2.2	4.3	2.9	10.8	9.6	9.2	16.7	14.6	13.5	8.8	5.2	0.9
累積割合	0.4	0.9	1.3	3.5	7.8	10.7	21.6	31.2	40.4	57.1	71.7	85.2	94.0	99.1	100.0

【1,000人～4,999人】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3	0.1	0.8	2.1	3.2	3.1	8.9	10.5	11.1	15.9	16.9	14.7	8.6	3.4	0.6
累積割合	0.3	0.4	1.2	3.3	6.5	9.6	18.5	29.0	40.0	55.9	72.8	87.5	96.1	99.4	100.0

【5,000人～9,999人】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.0	1.3	1.4	0.9	4.6	4.3	13.7	7.4	11.7	12.4	18.9	13.3	6.7	3.4	0.0
累積割合	0.0	1.3	2.6	3.6	8.2	12.5	26.2	33.6	45.3	57.7	76.6	89.9	96.6	100.0	100.0

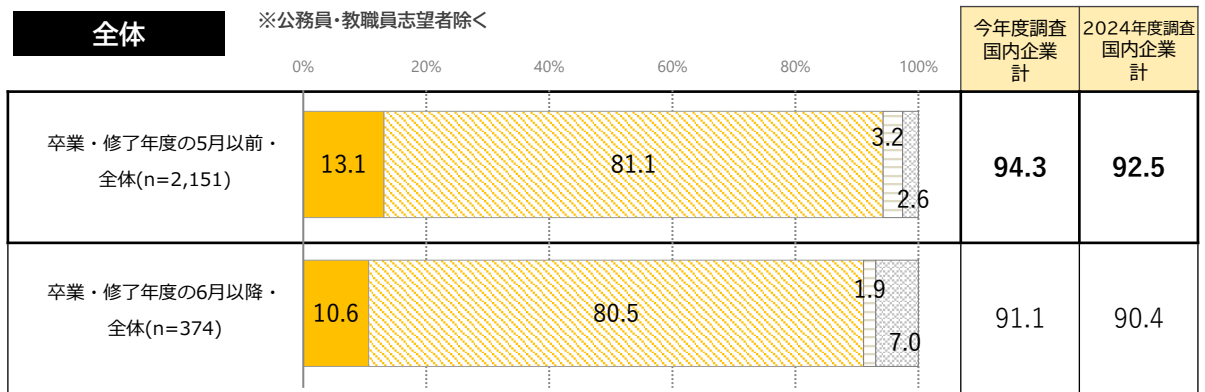
【10,000人以上】

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.3	0.0	0.6	0.4	3.9	3.9	10.9	9.7	13.3	20.3	13.9	6.4	10.2	4.9	0.2
累積割合	1.3	1.3	1.9	2.3	6.1	10.1	21.0	30.7	44.0	64.3	78.3	84.7	94.9	99.8	100.0

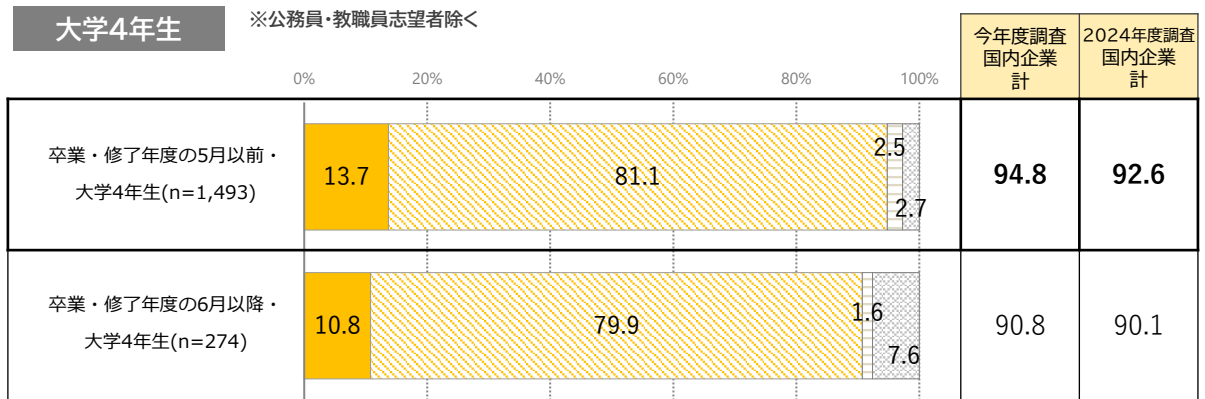
⑤最初に内々定を受けた企業の種類

最初に内々定を受けた企業が国内企業かどうかについて、卒業・修了年度の5月以前に受けた者と、卒業・修了年度の6月以降に受けた者に分けて集計を行った。

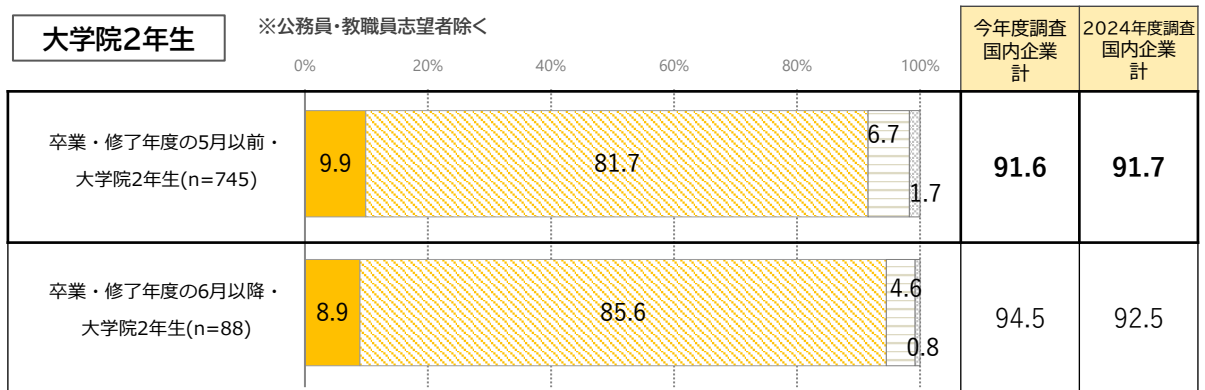
両者の回答結果はほぼ同様に、「国内企業(ベンチャー企業以外)※1」が約8割と最も高く、「国内企業(ベンチャー企業)」と合わせて「国内企業」と回答した者は全体で約9割となった。また、「外資系企業」については、卒業・修了年度の5月以前に受けた者が3.2%に対し、卒業・修了年度の6月以降に受けた者は1.9%となっている。



■ 国内企業 (ベンチャー企業) ■ 国内企業 (ベンチャー企業以外)
□ 外資系企業 □ わからない



■ 国内企業 (ベンチャー企業) ■ 国内企業 (ベンチャー企業以外)
□ 外資系企業 □ わからない



■ 国内企業 (ベンチャー企業) ■ 国内企業 (ベンチャー企業以外)
□ 外資系企業 □ わからない

※1：ベンチャー企業については、2023年度調査より「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行っている。

⑥最初に内々定を受けた企業の種類別の内々定時期

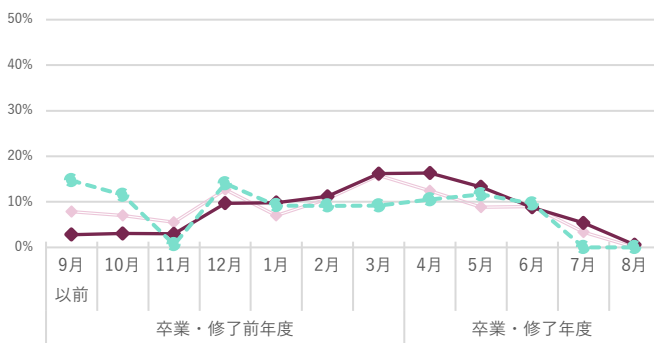
内々定を受けた時期を企業の種類別に見ると※1、最初の内々定について「国内企業(ベンチャー企業※2以外)」では「卒業・修了前年度3月」「卒業・修了年度4月」が高く、「外資系企業」では「卒業・修了前年度9月以前」が最も高い。就職予定企業では、「国内企業」では「卒業・修了年度5月」「6月」が最も高い。一方、「外資系企業」では3月以前の累積割合が約5割となり、「国内企業」と比べて早い傾向がみられた。

全体

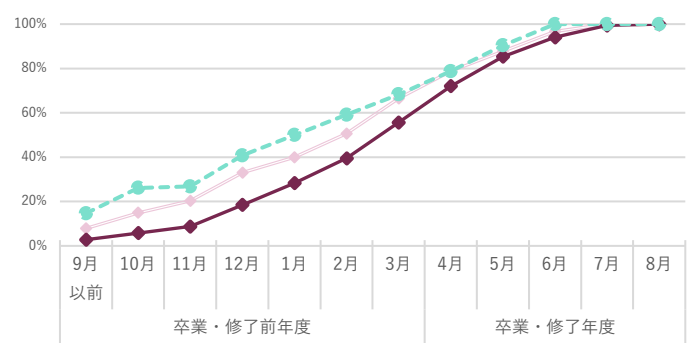
最初に内々定を受けた時期

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累積割合



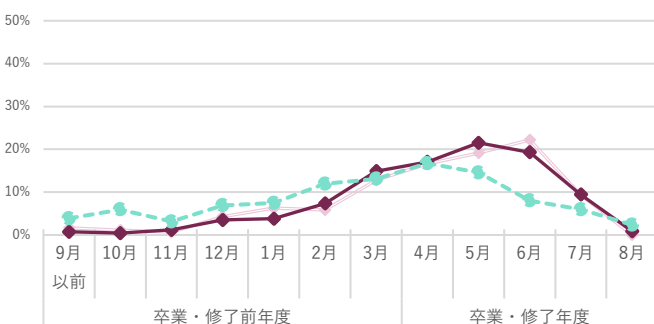
— 国内企業(ベンチャー企業)・全体・内々定時期：月別回答割合(n=322)
 — 国内企業(ベンチャー企業以外)・全体・内々定時期：月別回答割合(n=2,047)
 - - 外資系企業・全体・内々定時期：月別回答割合(n=75)

— 国内企業(ベンチャー企業)・全体・内々定時期：累積割合(n=322)
 — 国内企業(ベンチャー企業以外)・全体・内々定時期：累積割合(n=2,047)
 - - 外資系企業・全体・内々定時期：累積割合(n=75)

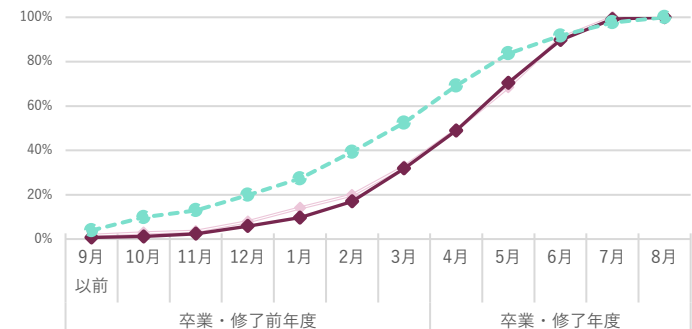
就職予定企業の内々定を受けた時期

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累積割合



— 国内企業(ベンチャー企業)・全体・内々定時期：月別回答割合(n=178)
 — 国内企業(ベンチャー企業以外)・全体・内々定時期：月別回答割合(n=2,098)
 - - 外資系企業・全体・内々定時期：月別回答割合(n=86)

— 国内企業(ベンチャー企業)・全体・内々定時期：累積割合(n=178)
 — 国内企業(ベンチャー企業以外)・全体・内々定時期：累積割合(n=2,098)
 - - 外資系企業・全体・内々定時期：累積割合(n=86)

※1：企業の種類別の集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

※2：ベンチャー企業については、2023年度調査より「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行っている。

⑥最初に内々定を受けた企業の種類別の内々定時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

【最初に内々定を受けた時期】

【国内企業(ベンチャー企業)】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.5	0.8	2.9	2.7	7.0	5.5	12.7	7.0	10.6	15.8	12.4	8.8	9.0	3.4	0.0
累積割合	1.5	2.3	5.2	7.9	14.9	20.3	33.0	40.0	50.6	66.4	78.9	87.7	96.6	100.0	100.0

【国内企業(ベンチャー企業以外)】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8	0.1	0.5	1.3	3.0	3.0	9.7	9.8	11.2	16.2	16.3	13.3	8.8	5.4	0.6
累積割合	0.8	1.0	1.5	2.8	5.8	8.8	18.5	28.3	39.5	55.7	72.0	85.3	94.1	99.4	100.0

【外資系企業】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.3	2.7	3.1	6.5	11.5	0.6	14.0	9.2	9.1	9.2	10.5	11.6	9.6	0.0	0.0
累積割合	2.3	5.1	8.2	14.7	26.2	26.8	40.8	50.0	59.1	68.3	78.8	90.4	100.0	100.0	100.0

【就職予定企業の内々定を受けた時期】

【国内企業(ベンチャー企業)】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2	0.7	0.0	0.8	1.1	0.7	4.3	6.3	5.8	12.8	16.6	19.1	22.2	9.4	0.0
累積割合	0.2	0.9	0.9	1.7	2.8	3.5	7.8	14.0	19.9	32.7	49.3	68.4	90.6	100.0	100.0

【国内企業(ベンチャー企業以外)】

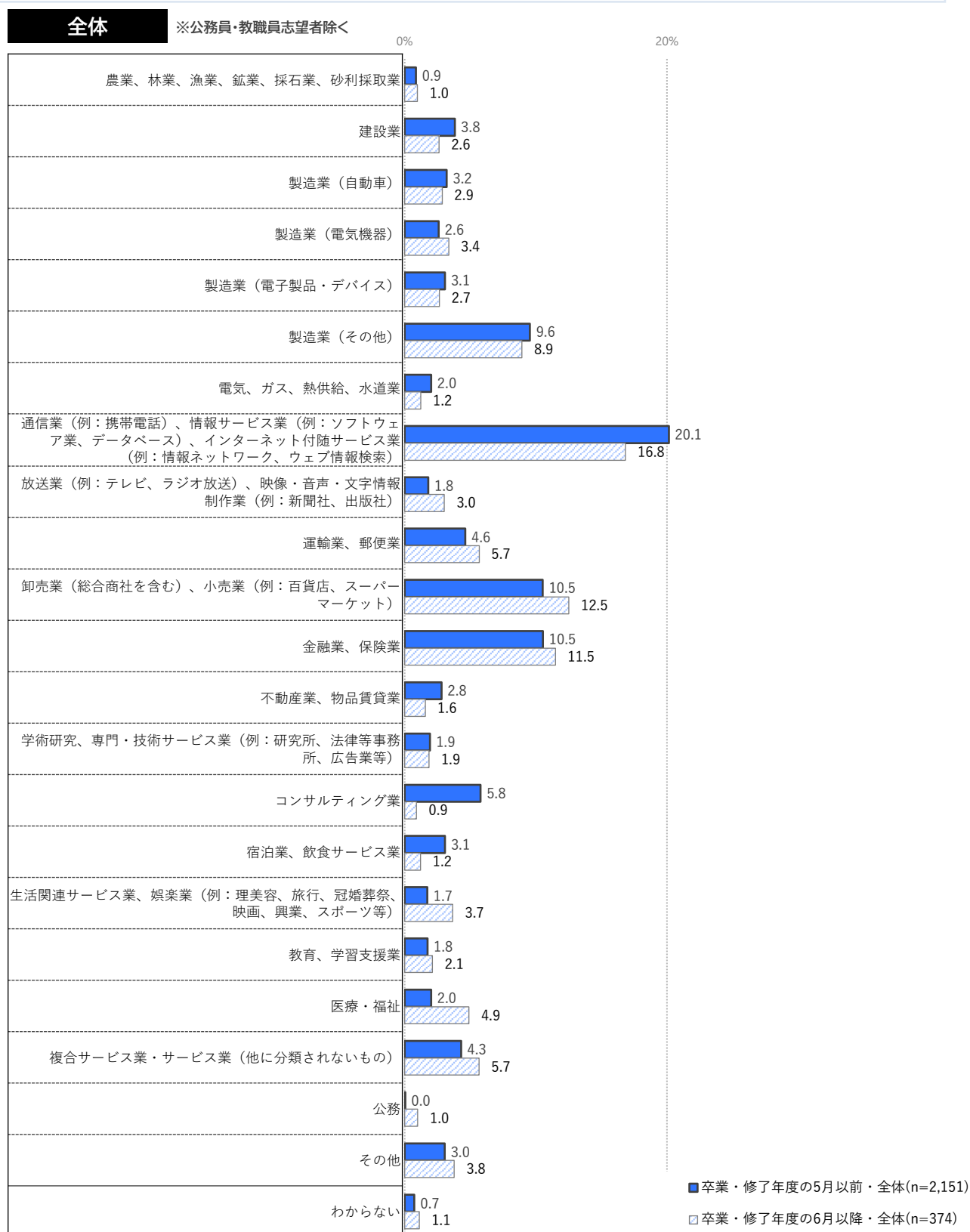
	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3	0.0	0.2	0.2	0.5	1.2	3.5	3.8	7.3	14.9	17.1	21.5	19.3	9.4	0.9
累積割合	0.3	0.3	0.5	0.7	1.2	2.4	5.8	9.6	17.0	31.8	48.9	70.4	89.7	99.1	100.0

【外資系企業】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.0	0.0	0.8	1.1	5.9	3.1	6.9	7.5	12.0	13.1	16.7	14.6	8.0	6.0	2.4
累積割合	2.0	2.0	2.8	3.9	9.8	12.9	19.8	27.3	39.3	52.4	69.1	83.7	91.7	97.6	100.0

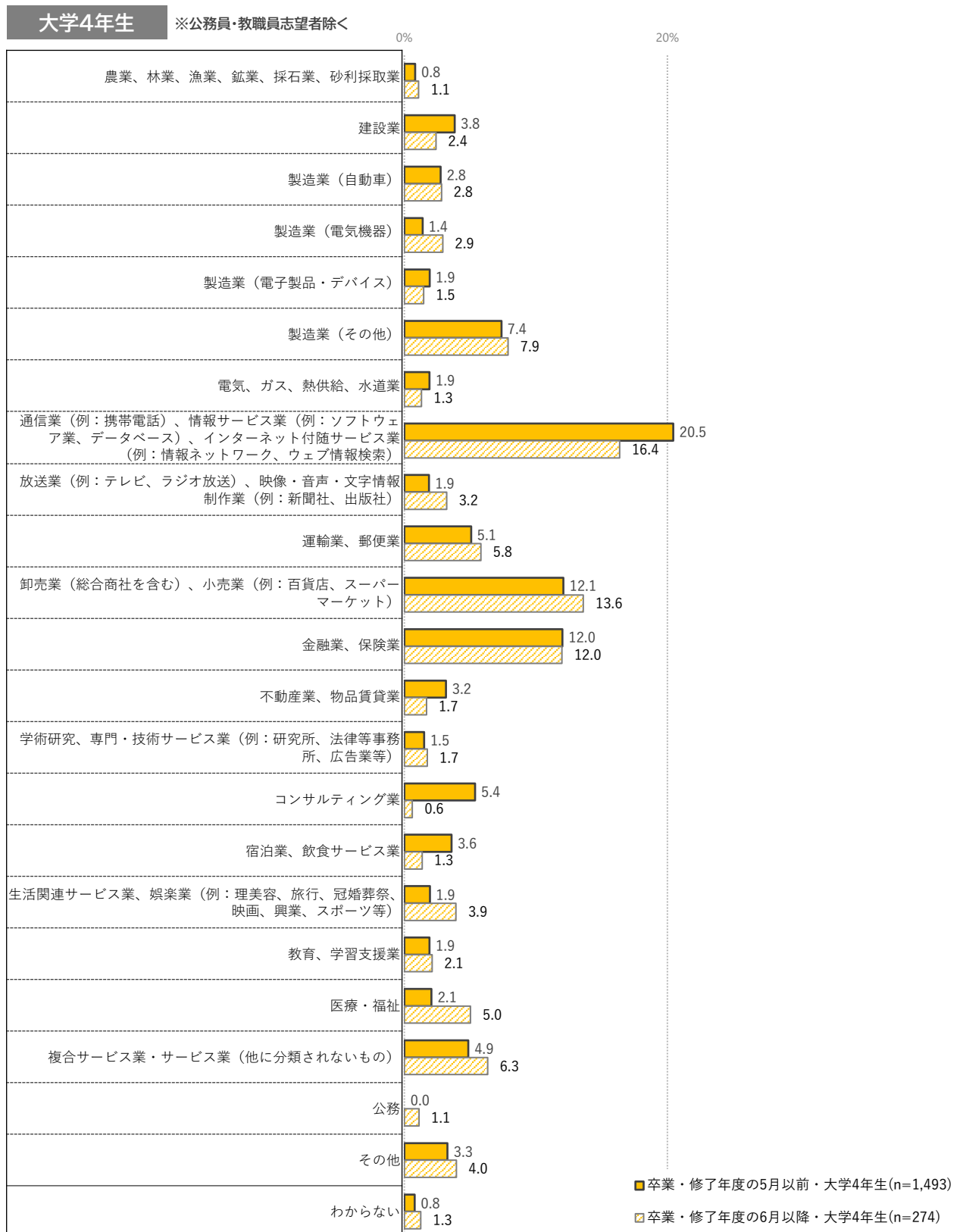
⑦最初に内々定を受けた企業の業界

「最初に内々定※1を受けた」業種について、卒業・修了年度の5月以前、6月以降ともに、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が最も高く、約2割。卒業・修了年度の5月以前では、次に「金融業・保険業」、「卸売業、小売業」、「製造業(その他)」、「コンサルティング業」が約1割と続く。

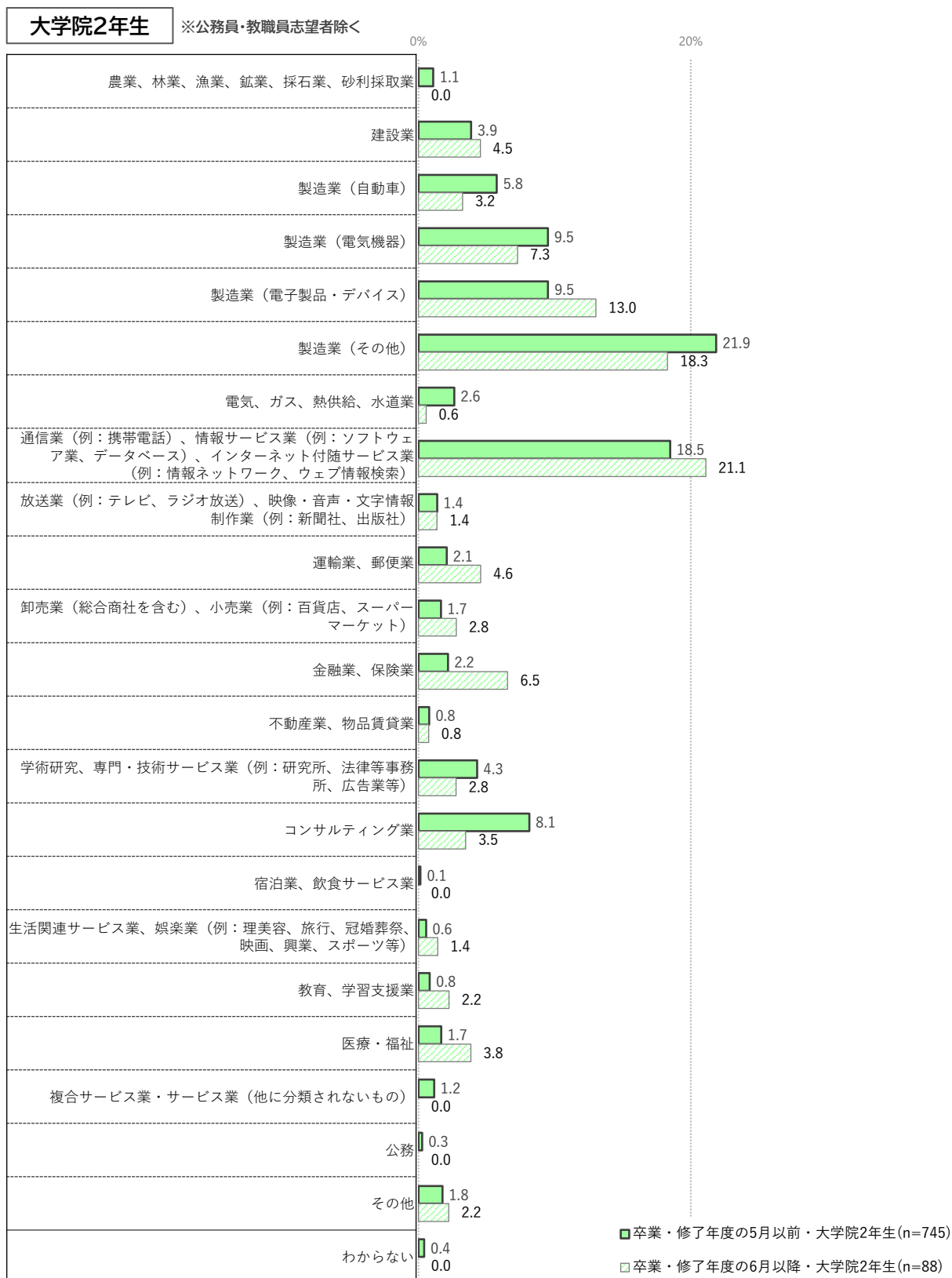


※1: 内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

⑦最初に内々定を受けた企業の業界



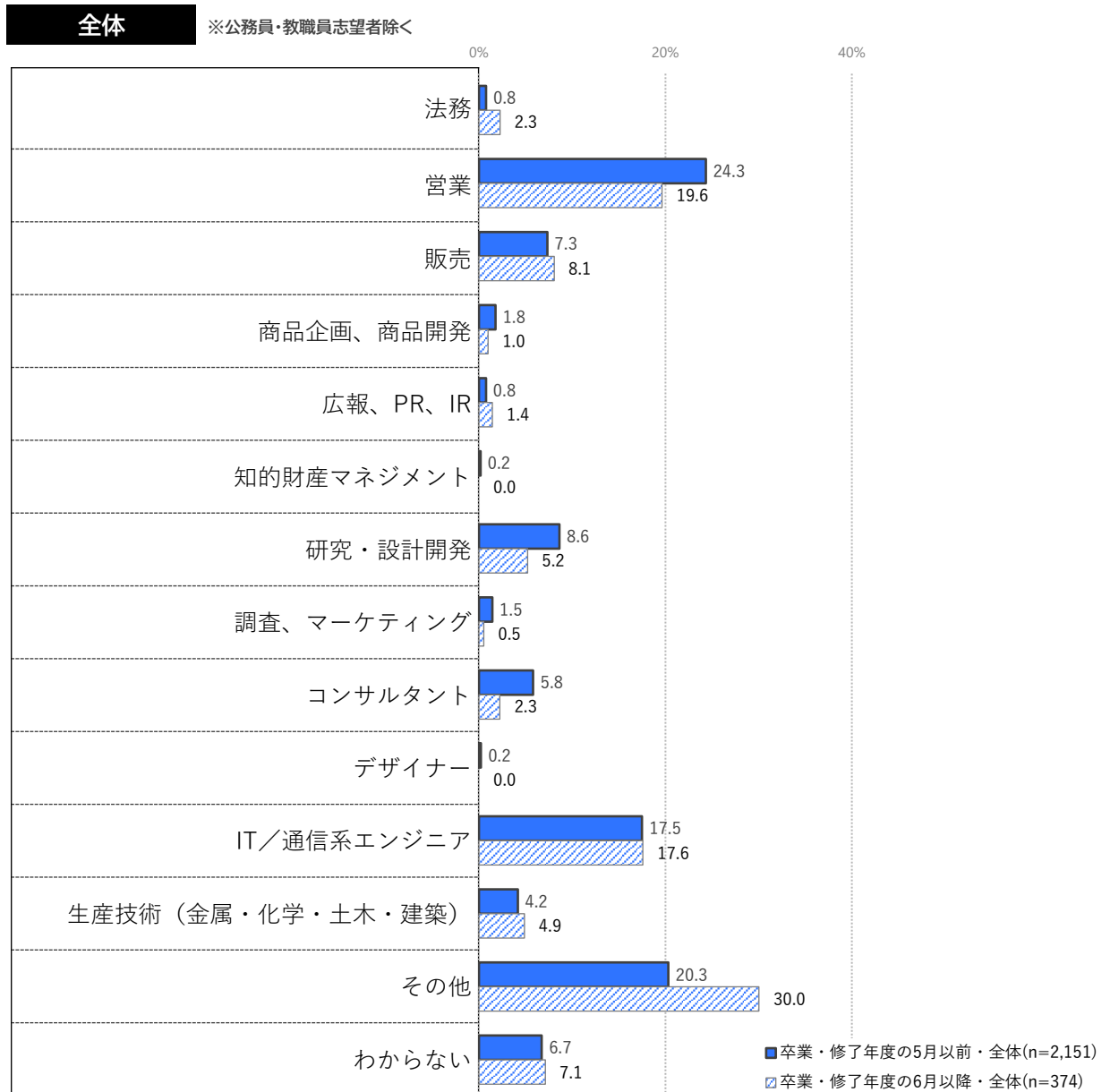
⑦最初に内々定を受けた企業の業界



⑧最初に内々定を受けた職種

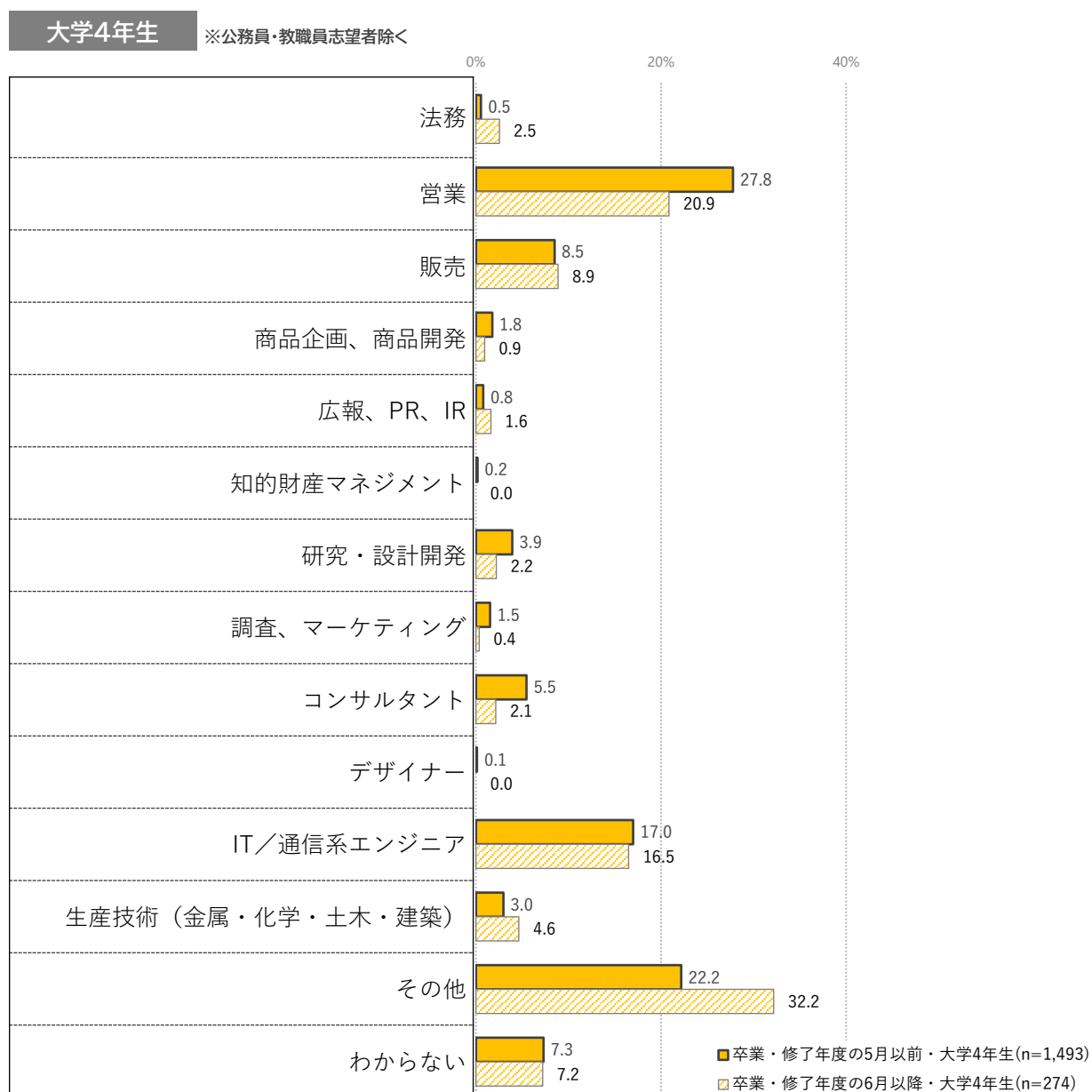
「最初に内々定※1を受けた」職種について、卒業・修了年度の5月以前では、「営業」が約2割と最も高く、次に「その他」「IT/通信系エンジニア」が高い。卒業・修了年度の6月以降では、「その他」が約3割と最も高い。

卒業・修了年度の6月以降に対して、卒業・修了年度の5月以前の方が高い職種は、「営業」「研究・設計開発」「コンサルタント」等。

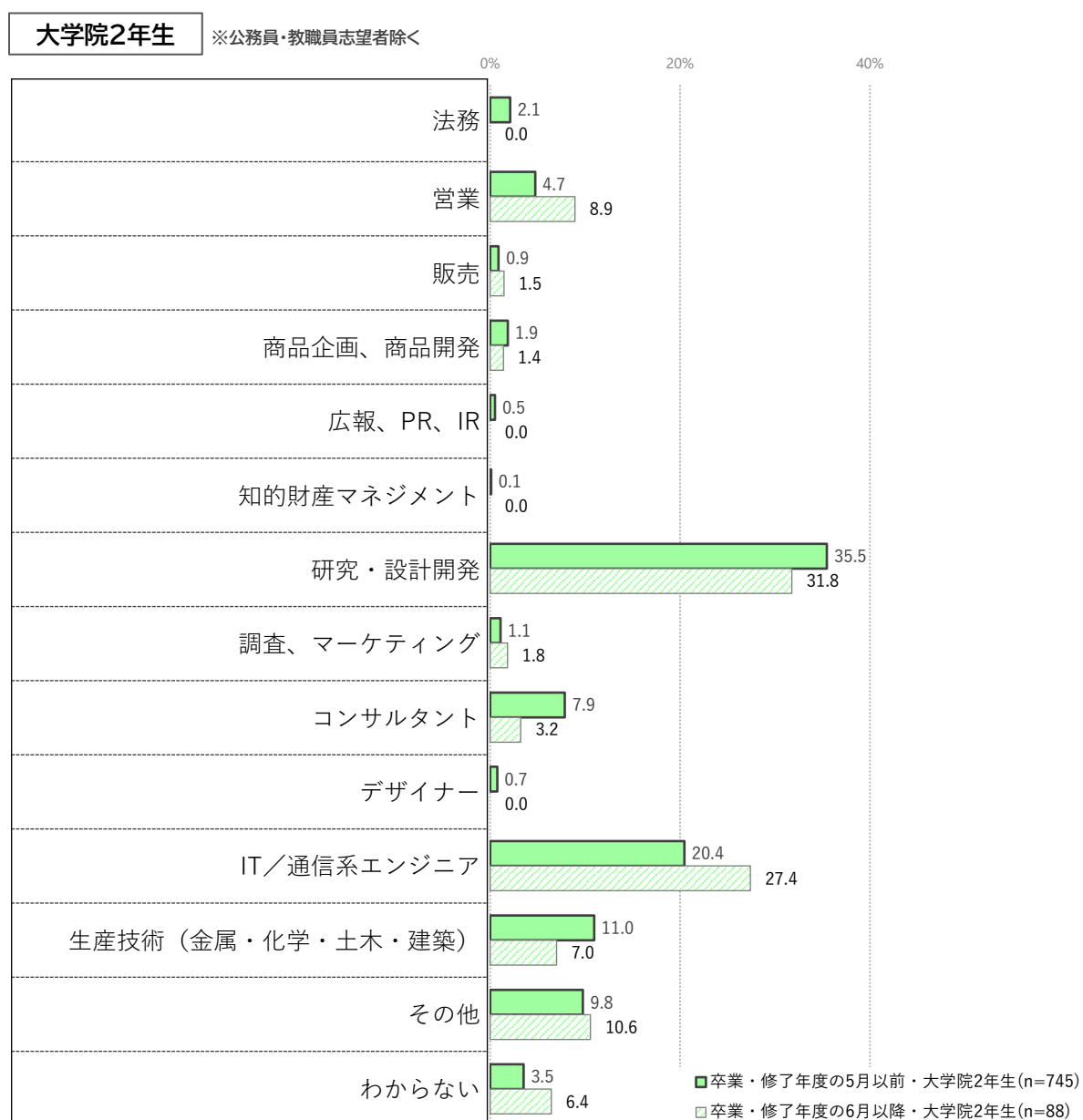


※1：2023年度調査より、内々定については正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

⑧最初に内々定を受けた職種



⑧最初に内々定を受けた職種



第八章 文系・理系別の集計

第八章 文系・理系別の集計

(1) 文系・理系別の就職活動の内容

①文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

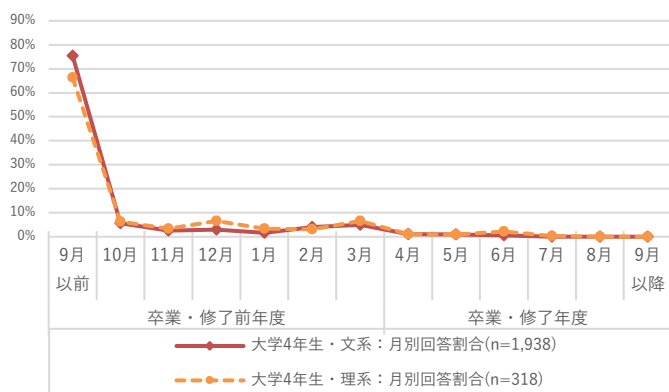
文系・理系別※1に、企業説明会やセミナー等の参加状況について累積割合をみると、大学4年生では、「最初に参加した時期」は文系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっており、「参加のピーク」は文系・理系で概ね同様となっており、「最後に参加した時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※「まだ参加していない・参加する予定もない」と回答した者は、集計の対象外とした。

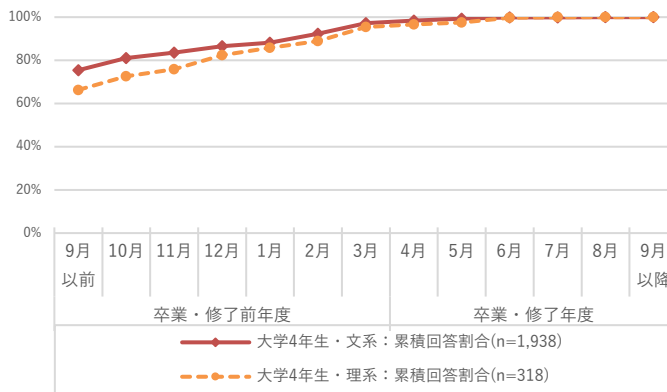
大学4年生

最初に参加した時期

月別回答割合

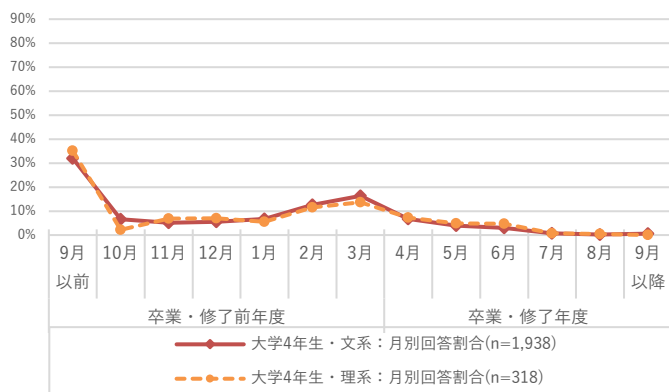


累積割合

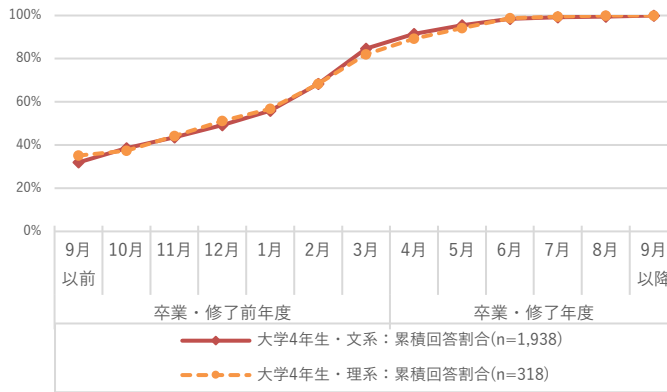


参加のピーク

月別回答割合

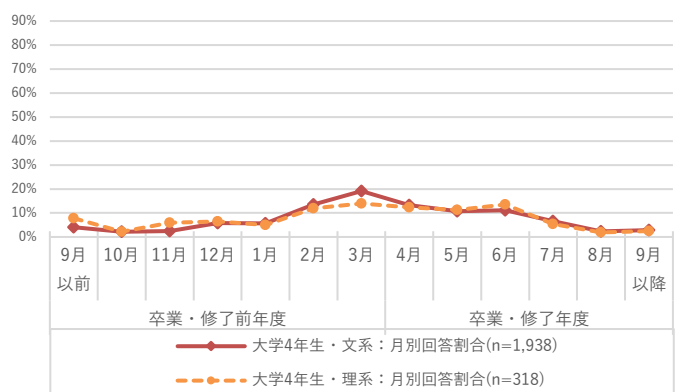


累積割合

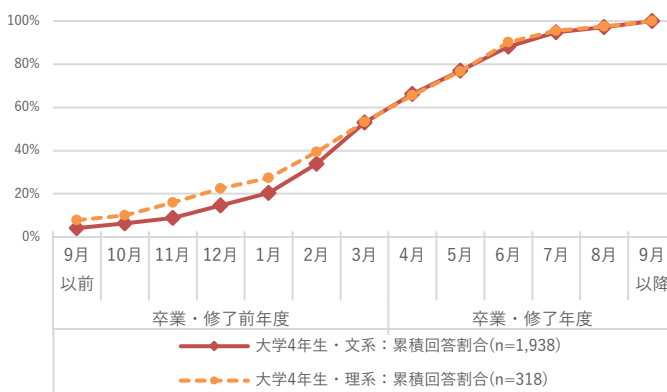


最後に参加した時期

月別回答割合



累積割合



※1: 「人文科学」、「社会科学」、「情報」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている。

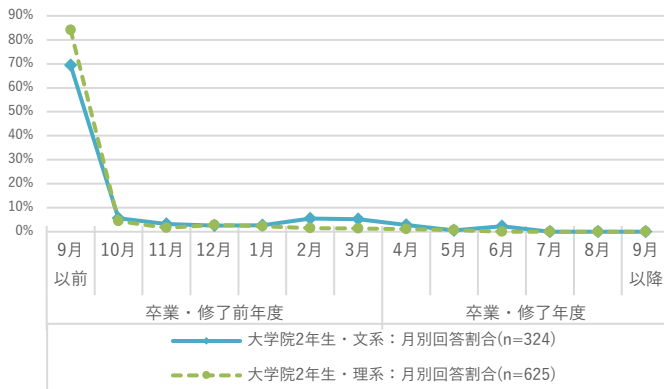
①文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

大学院2年生では、「最初に参加した時期」「参加のピーク」「最後に参加した時期」いずれも理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。「最後に参加した時期」は修了前年度11月までは文系・理系で概ね同様となっているが、修了前年度12月以降は理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

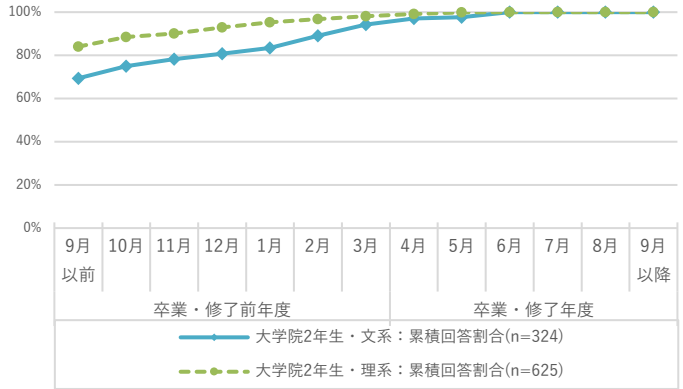
大学院2年生

最初に参加した時期

月別回答割合

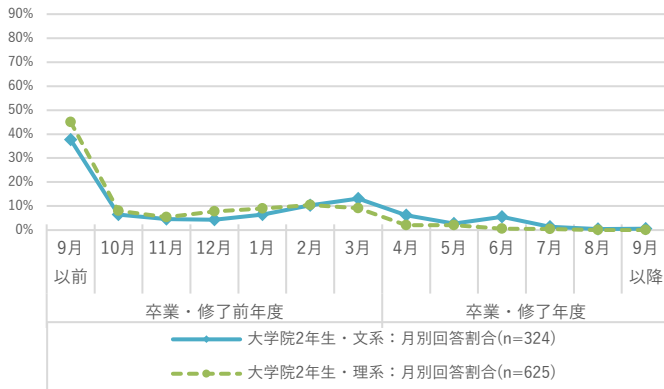


累積割合

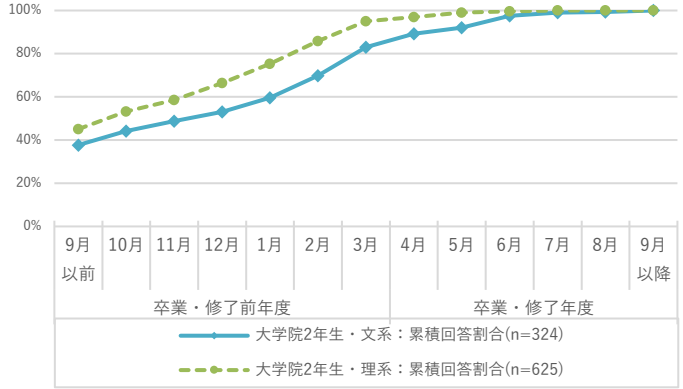


参加のピーク

月別回答割合

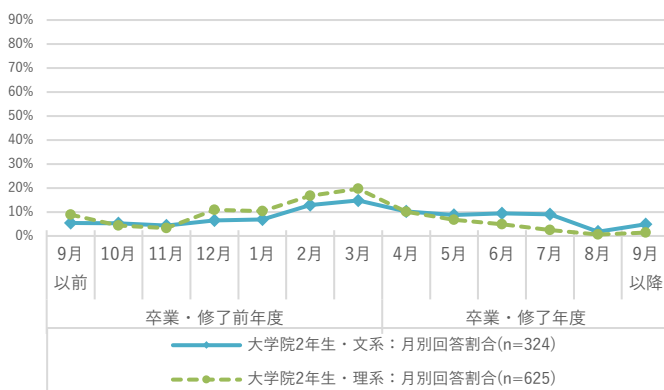


累積割合

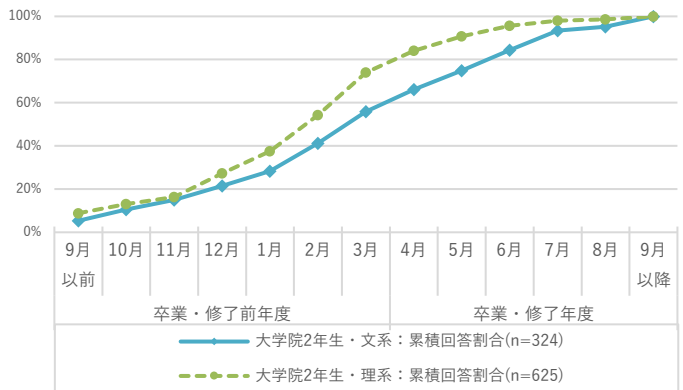


最後に参加した時期

月別回答割合



累積割合



②文系・理系別のエントリーシートの提出状況

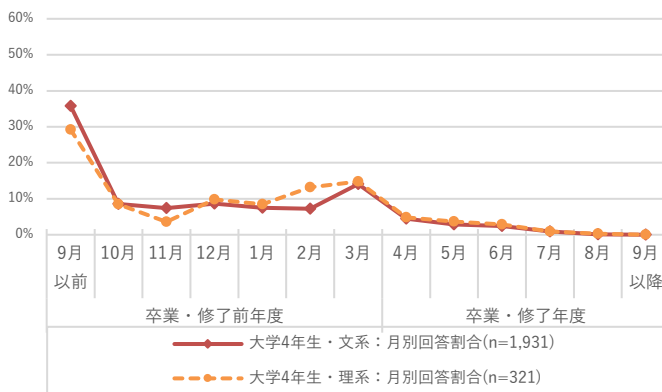
文系・理系別に、エントリーシートの提出状況について累積割合をみると、大学4年生では、「最初に提出した時期」は、卒業前年度11月以前は文系の学生の方が若干高くなっているものの、2月以降は文系・理系で概ね同様となっている。「提出のピーク」は文系・理系で概ね同様となっており、「最後に提出した時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※「まだ提出していない・提出する予定もない」と回答した者は、集計の対象外とした。

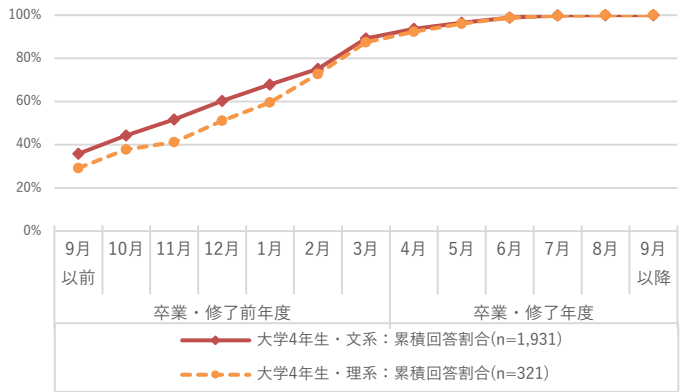
大学4年生

最初に提出した時期

月別回答割合

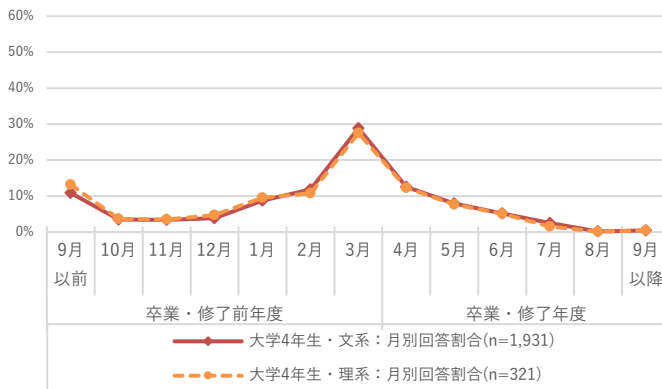


累積割合

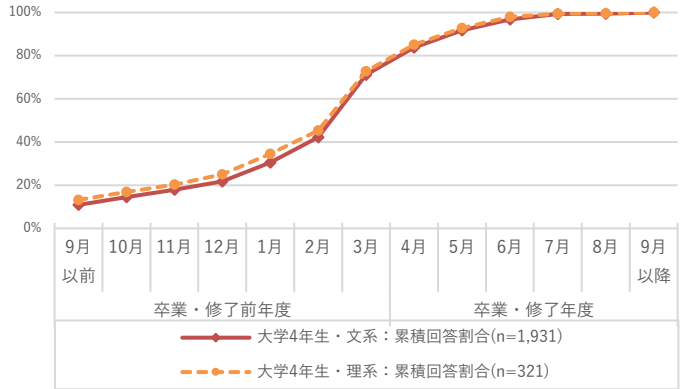


提出のピーク

月別回答割合

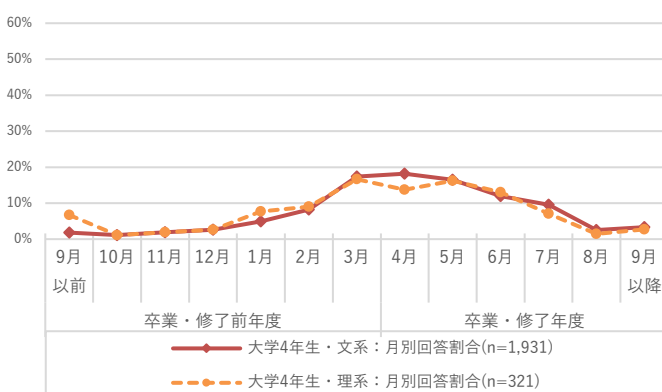


累積割合

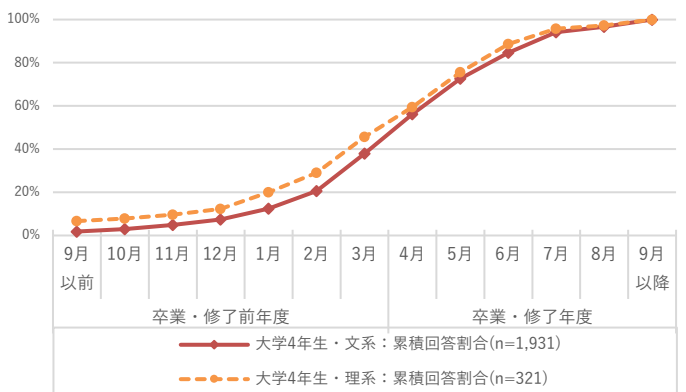


最後に提出した時期

月別回答割合



累積割合



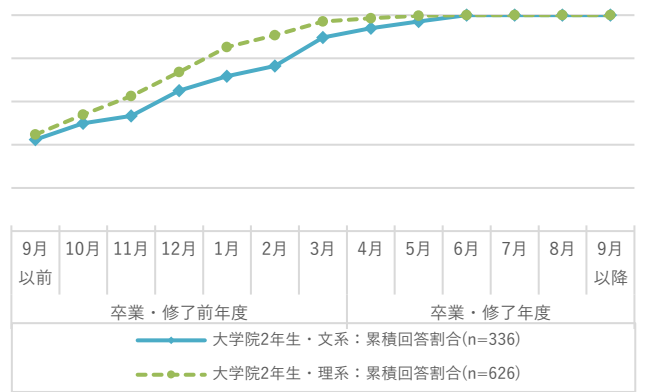
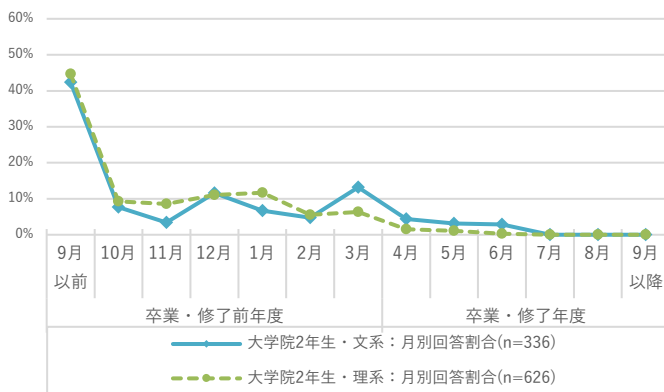
②文系・理系別のエントリーシートの提出状況

大学院2年生では、「最初に提出した時期」「最後に提出した時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっているが、「提出のピーク」について、修了前年度11月以前では文系の学生の方が早期の回答割合が若干高く、1月以降では理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生
月別回答割合

最初に提出した時期

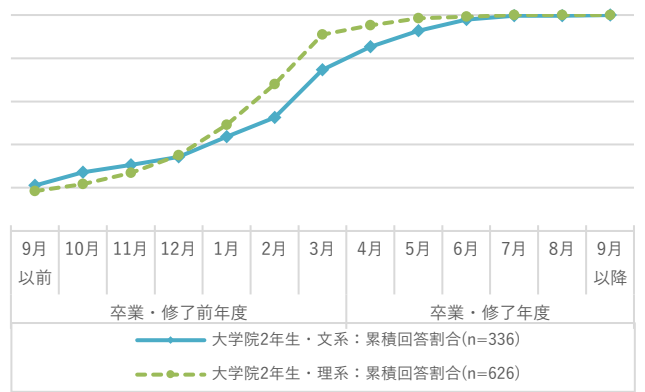
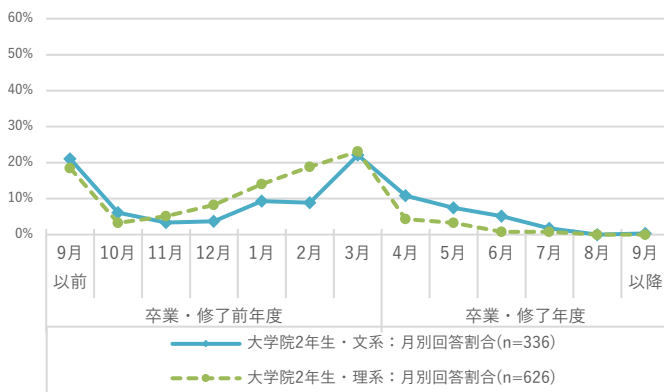
累積割合



提出のピーク

月別回答割合

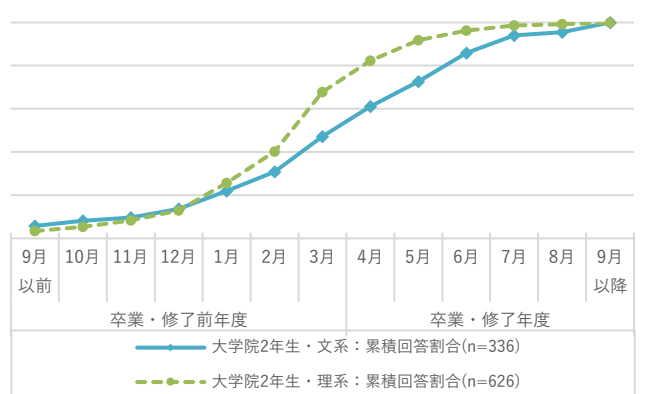
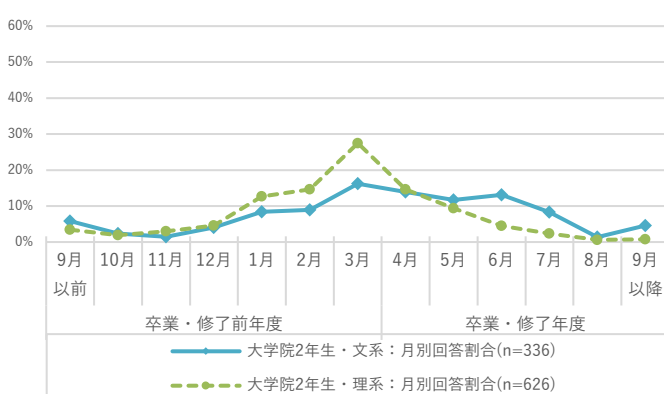
累積割合



最後に提出した時期

月別回答割合

累積割合



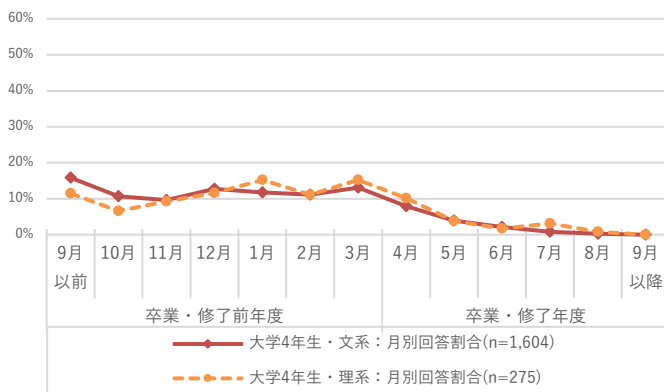
③文系・理系別の採用面接の実施状況

文系・理系別に、採用面接の実施状況について累積割合をみると※1、大学4年生では、「最初に受けた採用面接の時期」は文系の学生の方が若干高くなっているが、「採用面接のピーク」は文系・理系で概ね同様となっており、「最後に受けた採用面接の時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

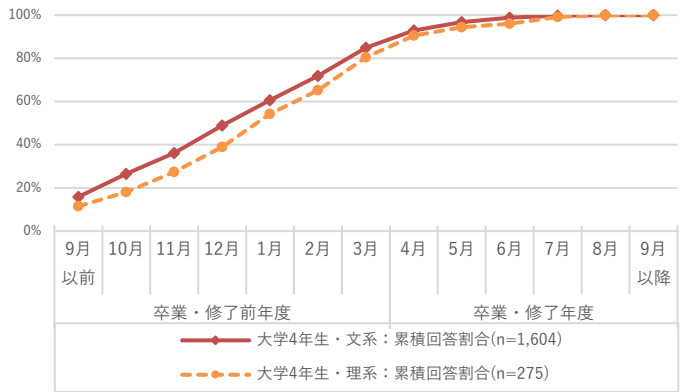
大学4年生

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

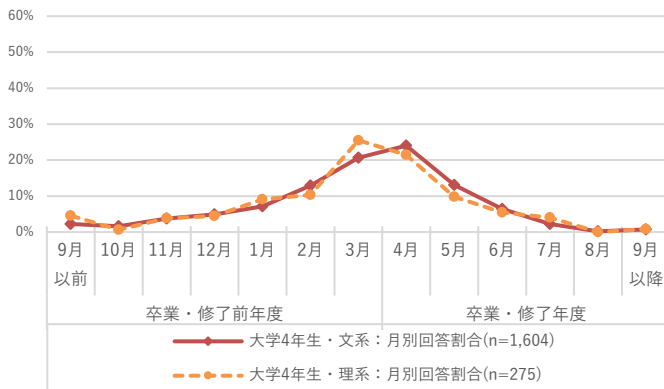


累積割合

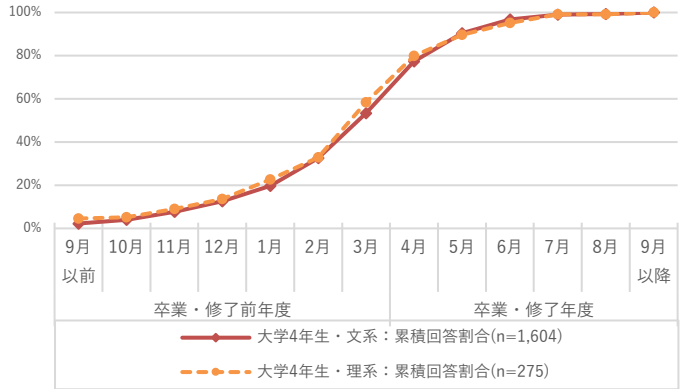


採用面接のピーク

月別回答割合

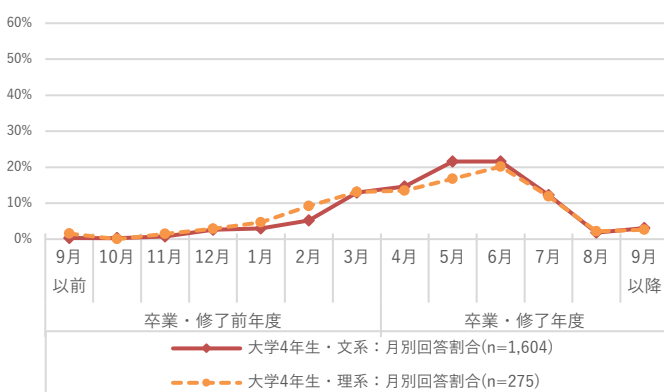


累積割合

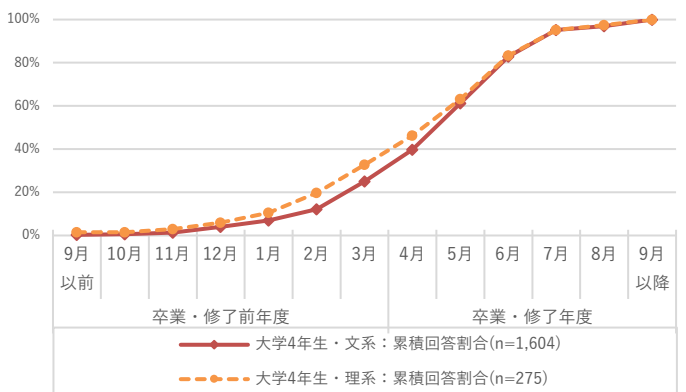


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累積割合



※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、「まだ参加していない・参加する予定もない」と回答した者は集計の対象外とした。

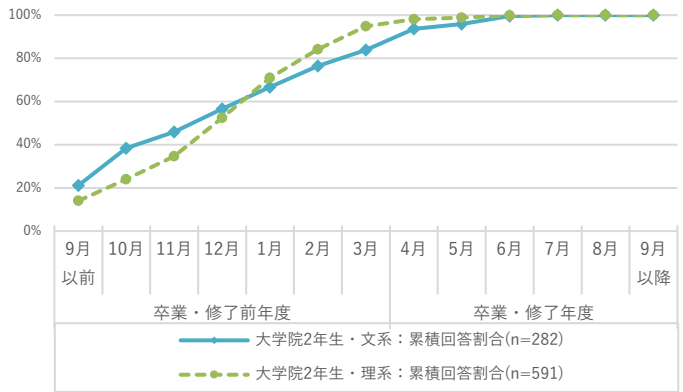
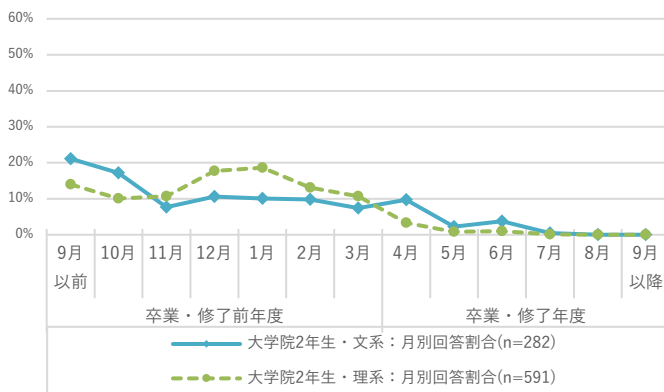
③文系・理系別の採用面接の実施状況

大学院2年生では、「最初に受けた採用面接の時期」「採用面接のピーク」について、修了前年度12月以前は文系の学生の方が高くなっているものの、2月以降は理系の学生の方が高くなっている。「最後に受けた採用面接の時期」については3月以降の時期において、理系の学生の方がより早期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生
月別回答割合

最初に受けた採用面接の時期

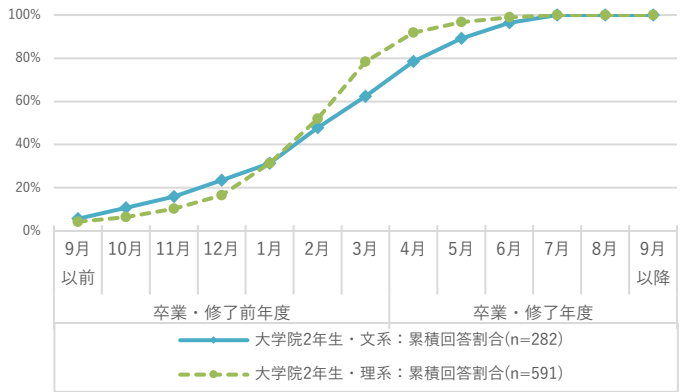
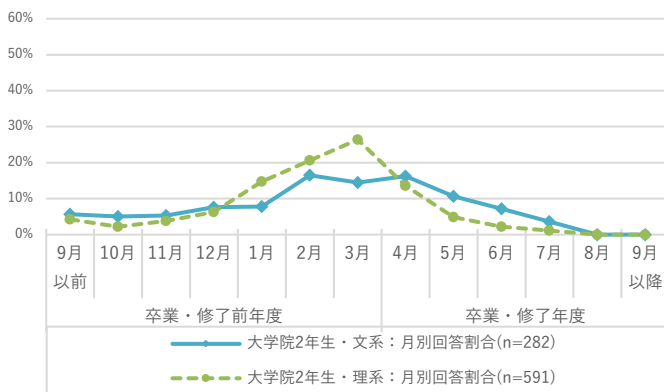
累積割合



採用面接のピーク

月別回答割合

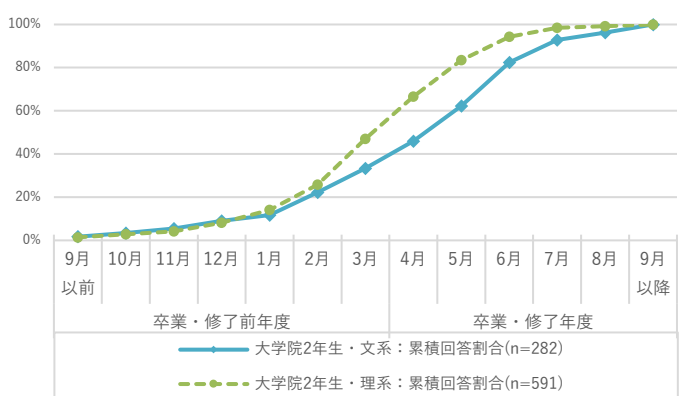
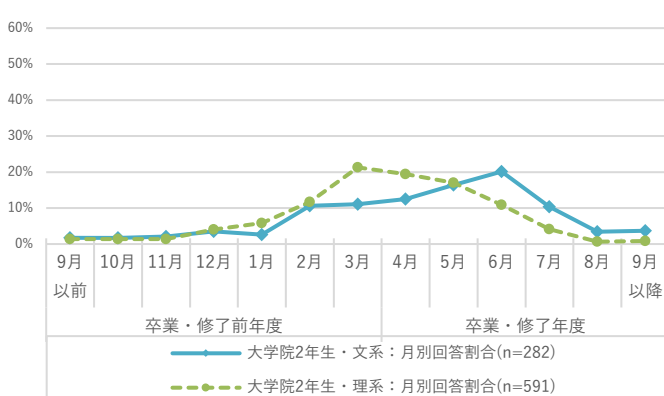
累積割合



最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合

累積割合



④文系・理系別の内々定を受けた時期

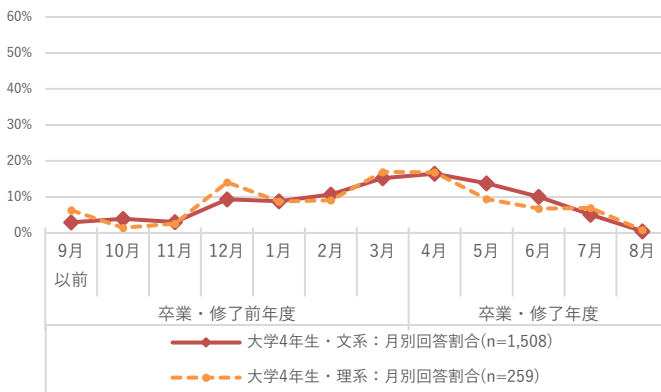
文系・理系別に、最初の内々定を受けた時期について集計すると ※1、大学4年生では、文系の学生は卒業前年度の4月、理系の学生は卒業前年度の3月の割合が最も高くなっている。

大学院2年生では、文系・理系ともに修了前年度の3月の回答割合が最も高くなっている。

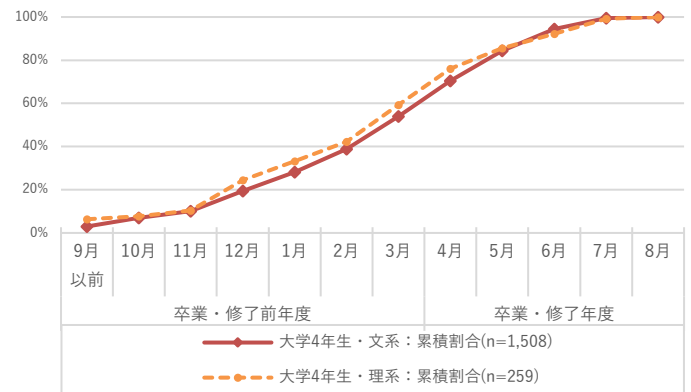
大学4年生

最初に内々定を受けた時期

月別回答割合

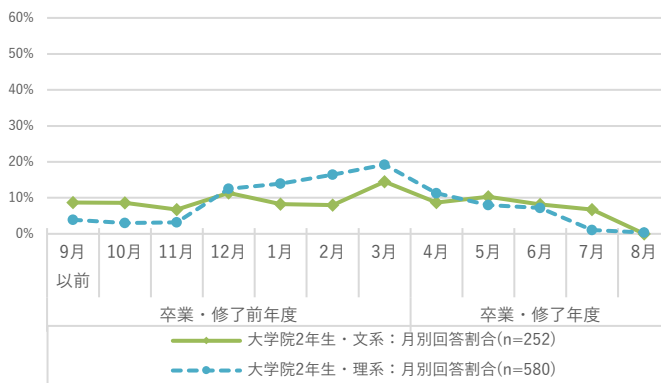


累積割合

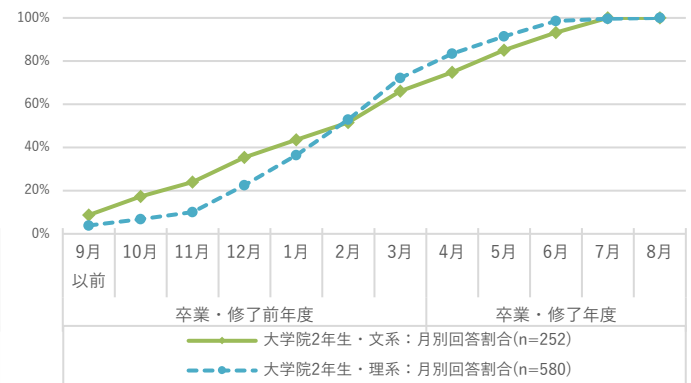


大学院2年生

月別回答割合



累積割合



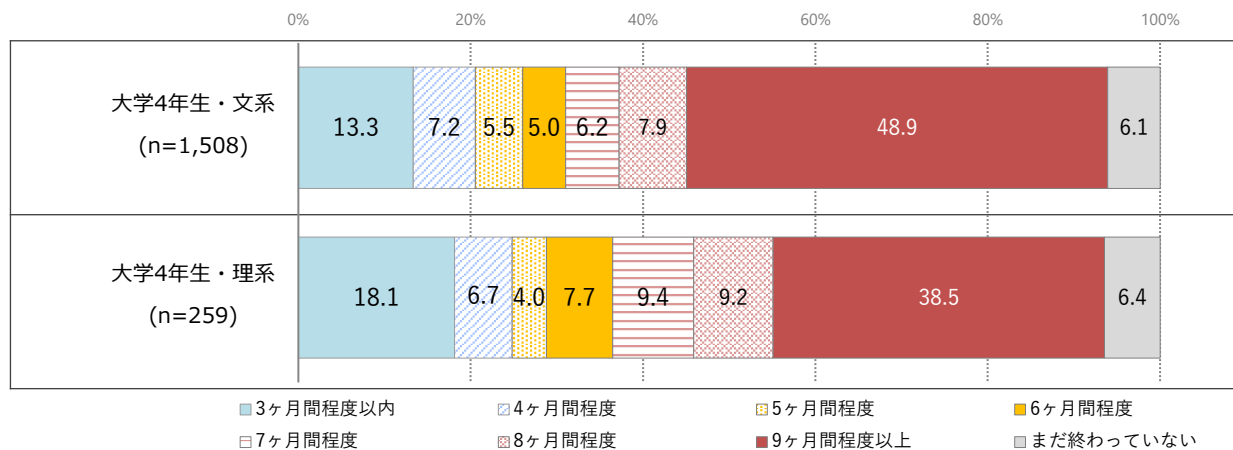
※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。
 なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を「まだ受けていない」と回答した者は集計の対象外としている。

⑤就職活動の始まりから終わりまでの期間

文系・理系別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間※1を集計すると、大学4年生に関しては、理系の学生の方がより短い期間の割合が高くなっている。大学院2年生については、文系・理系でどちらも「9ヶ月間程度以上」が約5割と概ね同様となっている。

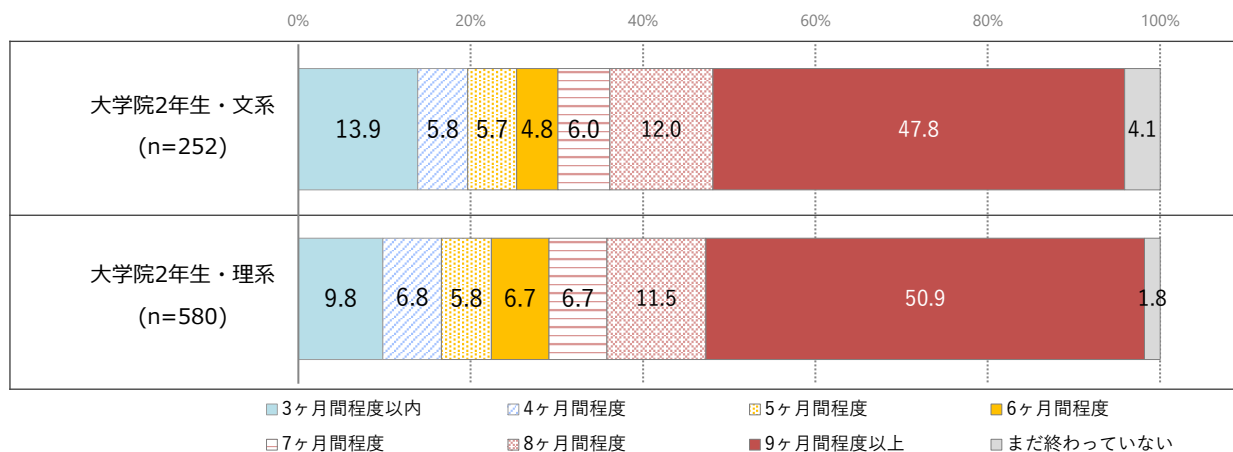
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

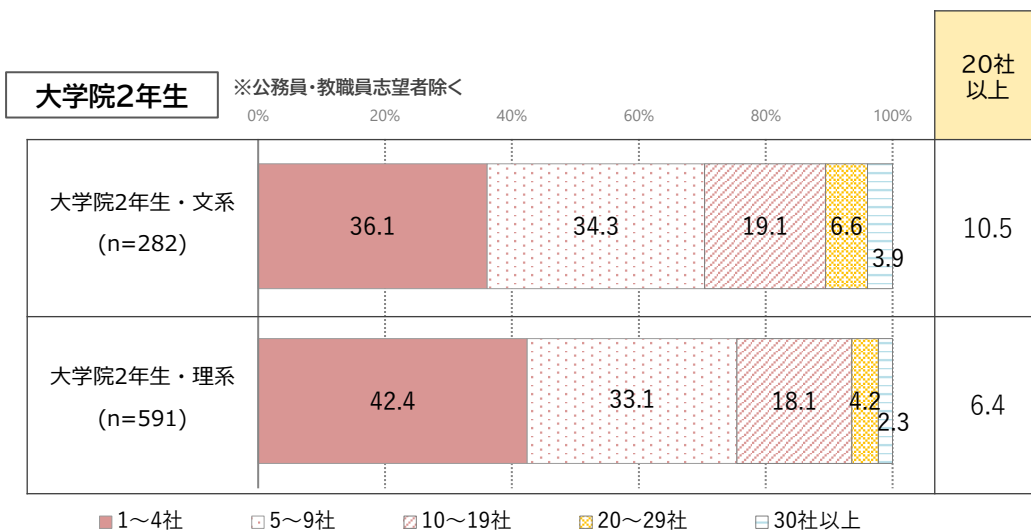
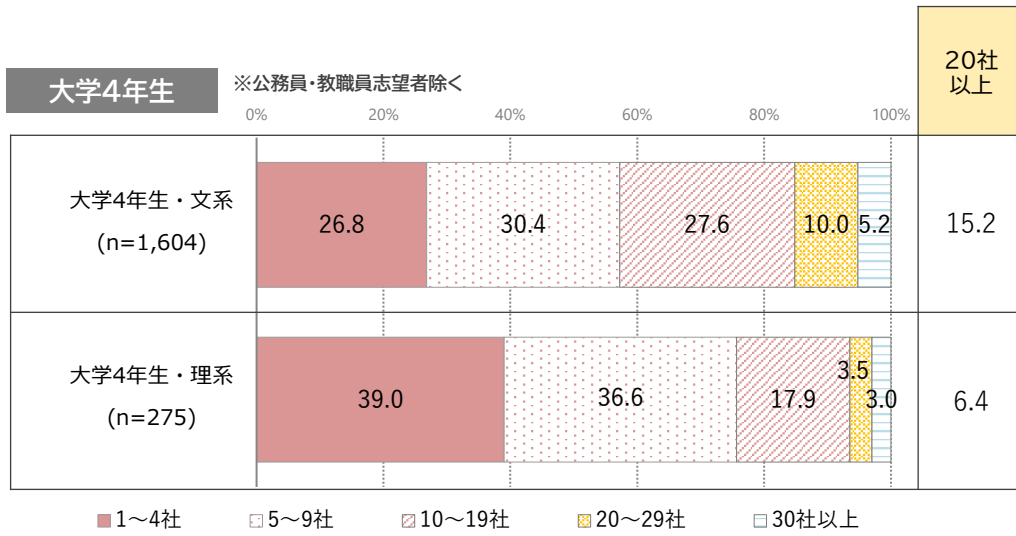
※公務員・教職員志望者除く



※1：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。
公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

⑥採用面接を受けた企業数

文系・理系別に、採用面接を受けた企業数について集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「1～4社」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学4年生に関して、その差は大きくなっている。20社以上の採用面接を受けた者の割合についても、大学4年生で文系・理系の差が大きい。

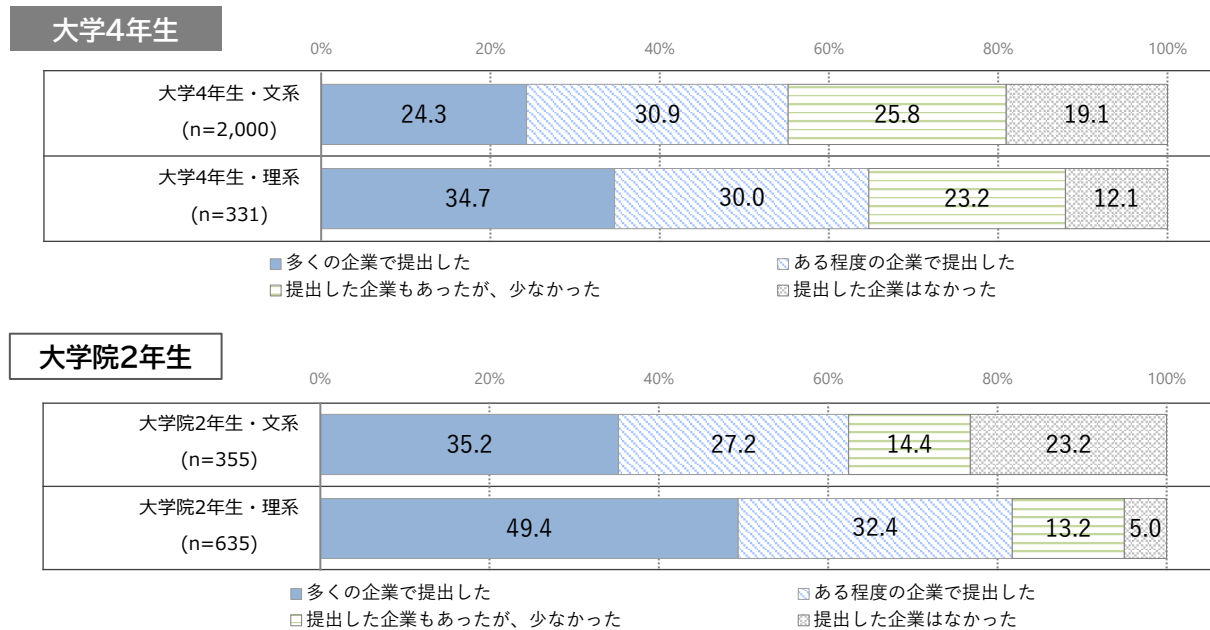


⑦文系・理系別の学業重視の選考

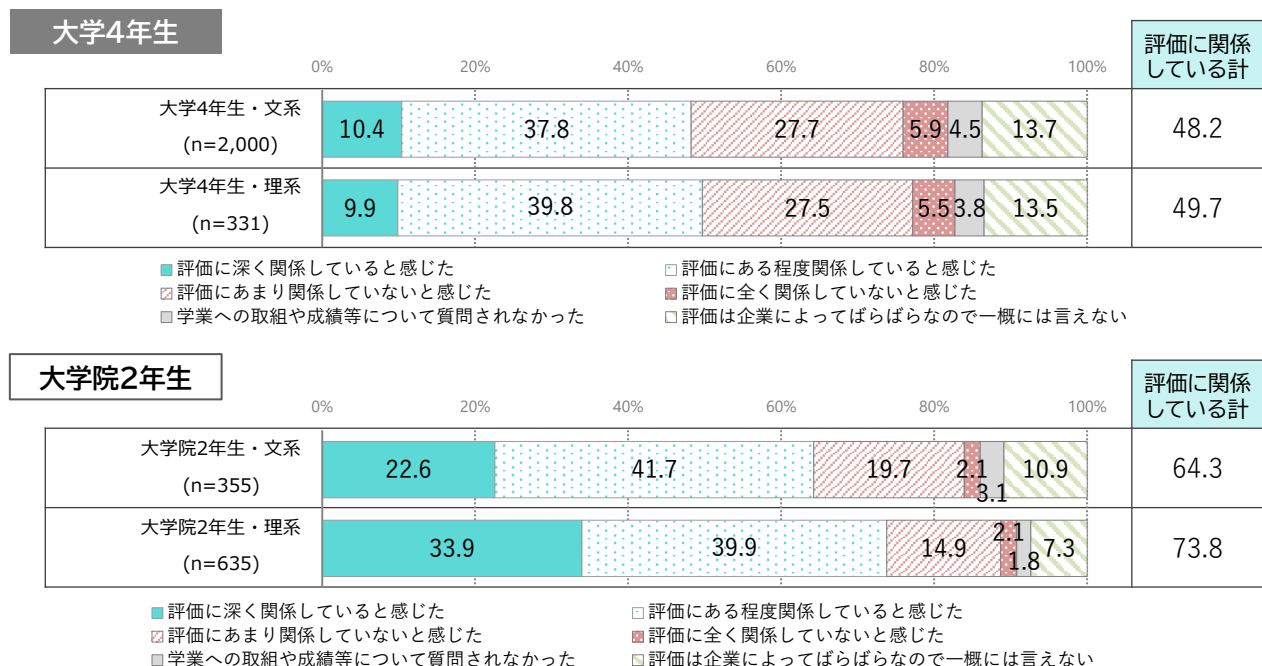
文系・理系別に、就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)の提出がどの程度求められたかについて集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「多くの企業で提出した」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」の回答割合は、大学4年生では文系・理系で概ね同様となっているが、大学院2年生では理系の学生の方が高くなっている。

【履修履歴(成績証明書など)の提出の状況】



【採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか】

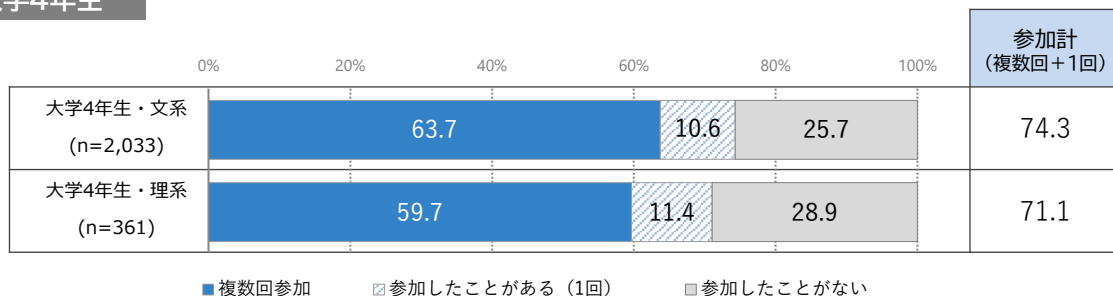


⑧文系・理系別のインターンシップと呼称されるものの参加状況

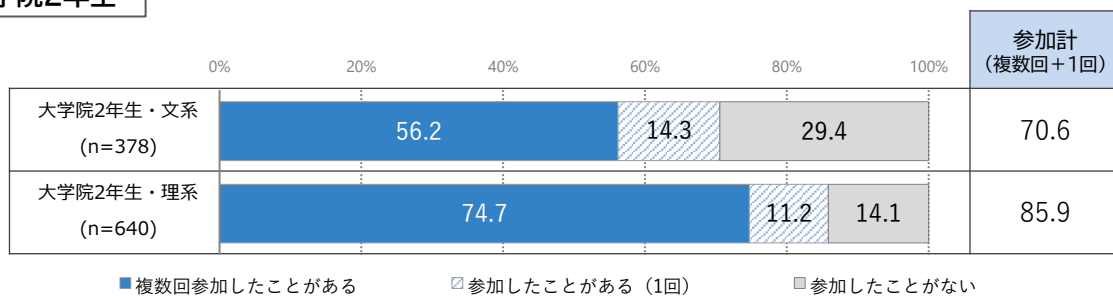
文系・理系別に、インターンシップと呼称されるもの※1の参加経験の有無について集計すると、「参加したことがある」の回答割合は、大学4年生では文系の学生の方がやや高く、大学院2年生では理系の学生の方が高くなっている。また、参加日数(参加したインターンシップと呼称されるものうち、最長の日数のもの)について、5日以上に参加したことがある者の割合は、大学4年生・大学院2年生ともに理系の学生の方が高い。

【インターンシップと呼称されるものの参加経験の有無】

大学4年生

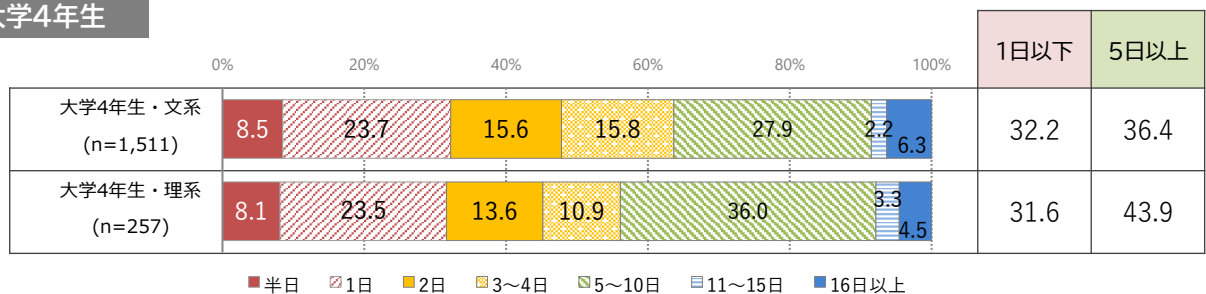


大学院2年生

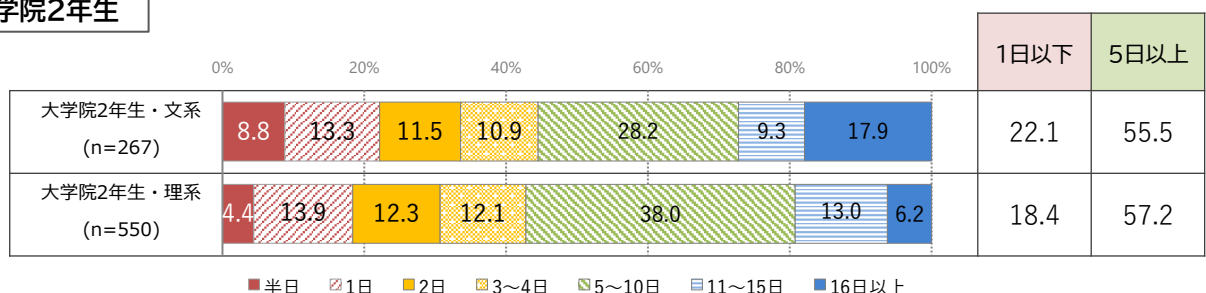


【インターンシップと呼称されるものの参加最長日数】

大学4年生



大学院2年生



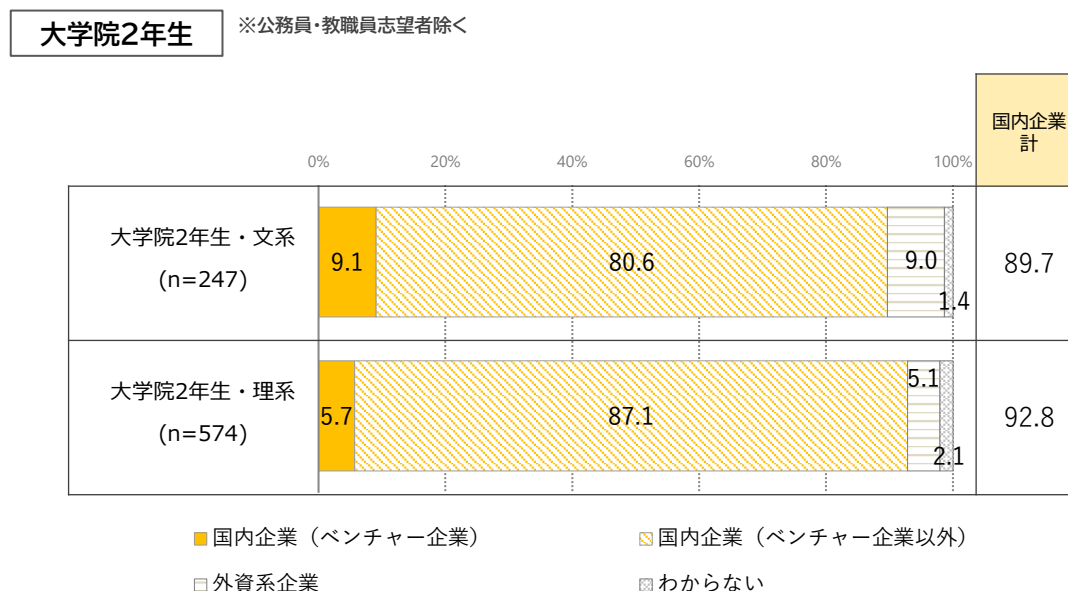
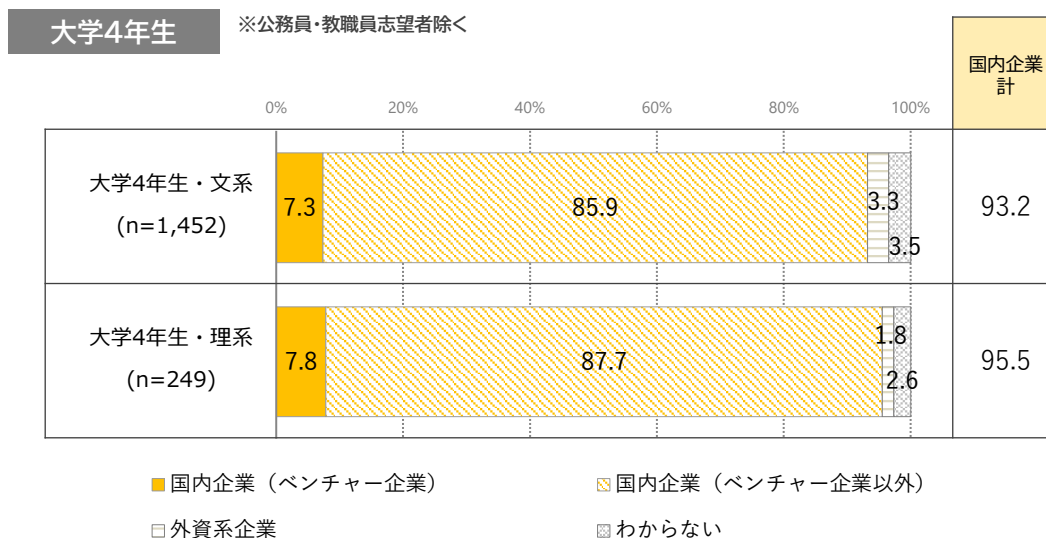
※1：2023年度調査より、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示している。

(2) 文系・理系別の就職予定企業について

①就職予定の企業の種類

文系・理系別に、就職予定の企業が国内企業かどうかについて集計すると、大学4年生では、「国内企業（ベンチャー企業※1）」の回答割合は約1割で、「国内企業（ベンチャー企業以外）」と合わせると国内企業は約9割と、文系・理系で概ね同様となっている。

大学院2年生では、理系の学生の方が「国内企業（ベンチャー企業）」「外資系企業」の回答割合が低くなっている。



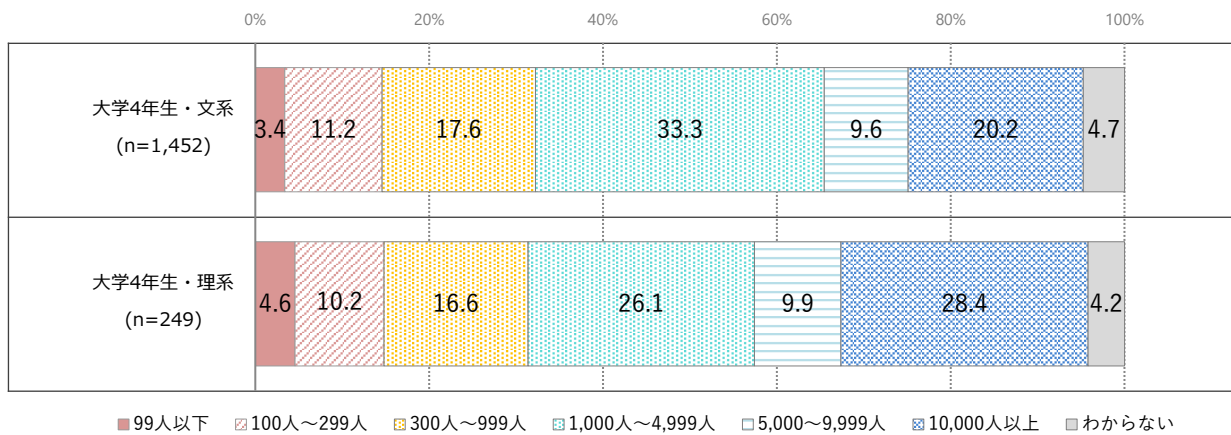
※1：ベンチャー企業については、2023年度調査より「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行っている。

②就職予定の企業の企業規模(従業員数)

文系・理系別に、就職予定の企業の企業規模(従業員数)について集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、理系の学生の方が規模(従業員数)の大きい企業である割合が高く、特に大学院2年生に関して、理系の学生の方が「10,000人以上」の回答が占める割合が高くなっている。

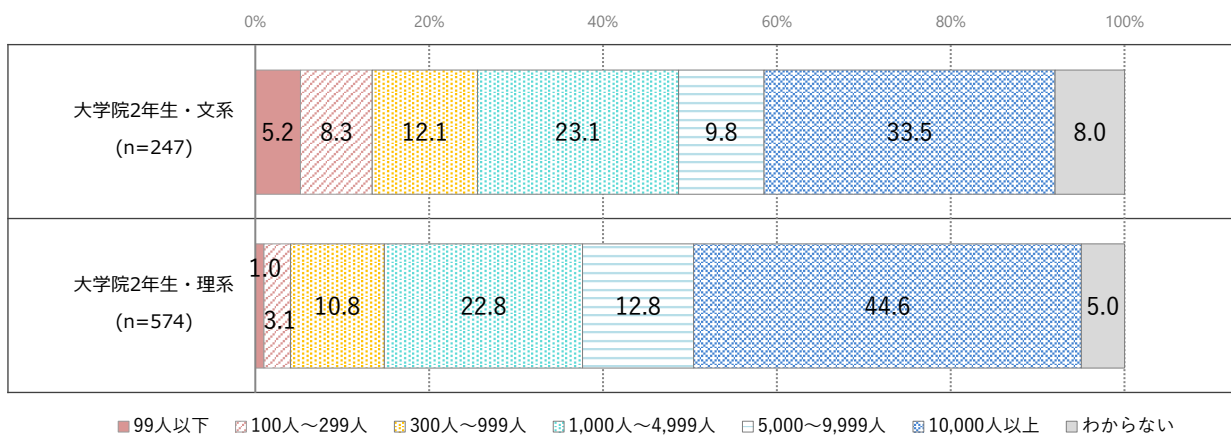
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く

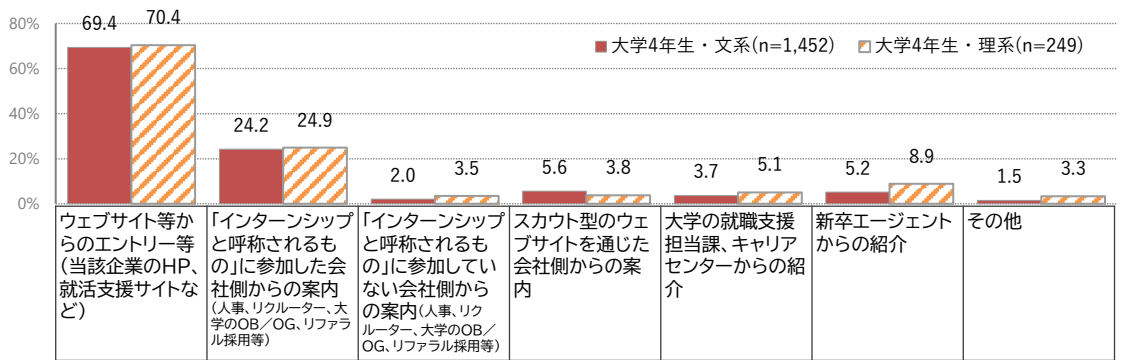


③就職予定の企業について採用試験・面接等を受けた経路

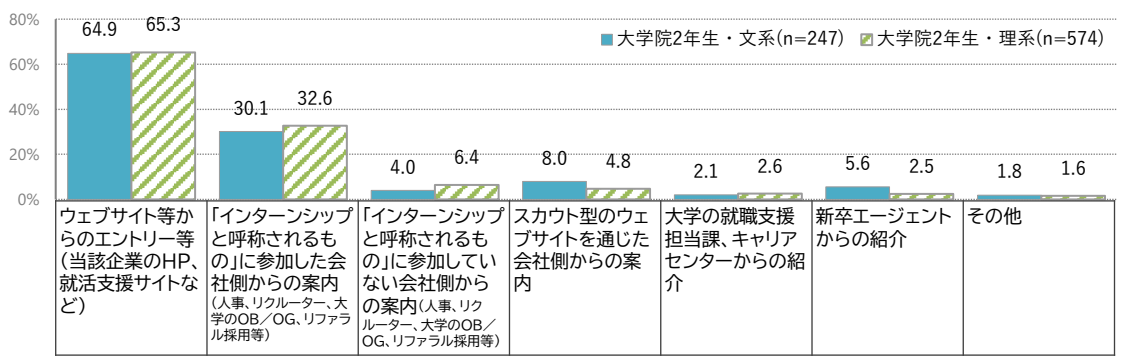
文系・理系別に、就職予定の企業に関してどのような経路で採用試験・面接等を受けたかについて集計すると、大学4年生では、文系・理系ともに「ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、就活支援サイトなど)」の割合が最も高いが、「新卒エージェントからの紹介」の割合は、理系の学生の方が高くなっている。

大学院2年生では、文系・理系ともに「ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、就活支援サイトなど)」の割合が最も高く、概ね同様の結果となっている。

大学4年生



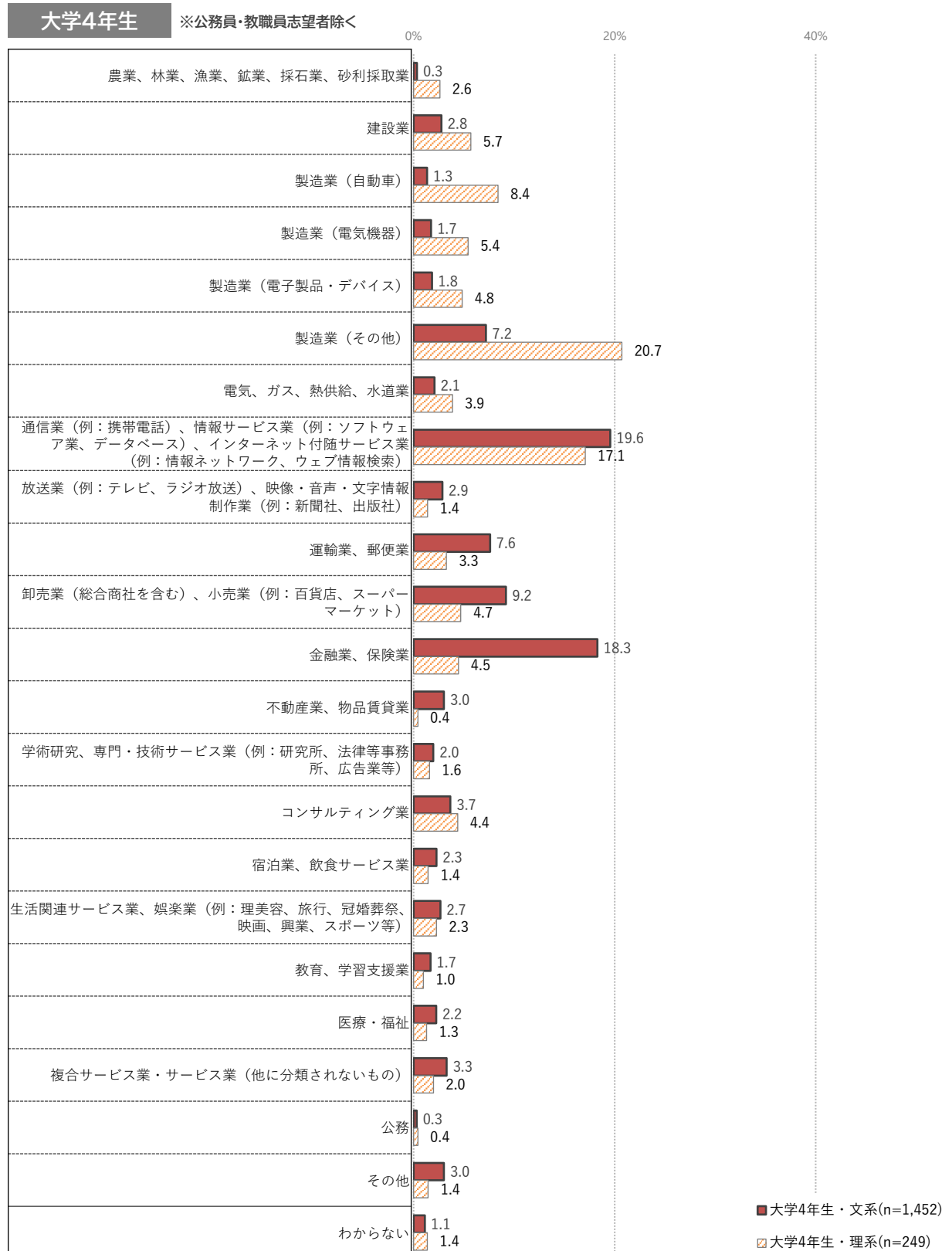
大学院2年生



④就職予定の企業の業界

文系・理系別に、就職予定の企業の業種について集計すると、大学4年生では、文系の学生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が約2割、理系の学生では「製造業(その他)」が約2割と最も高くなっている。

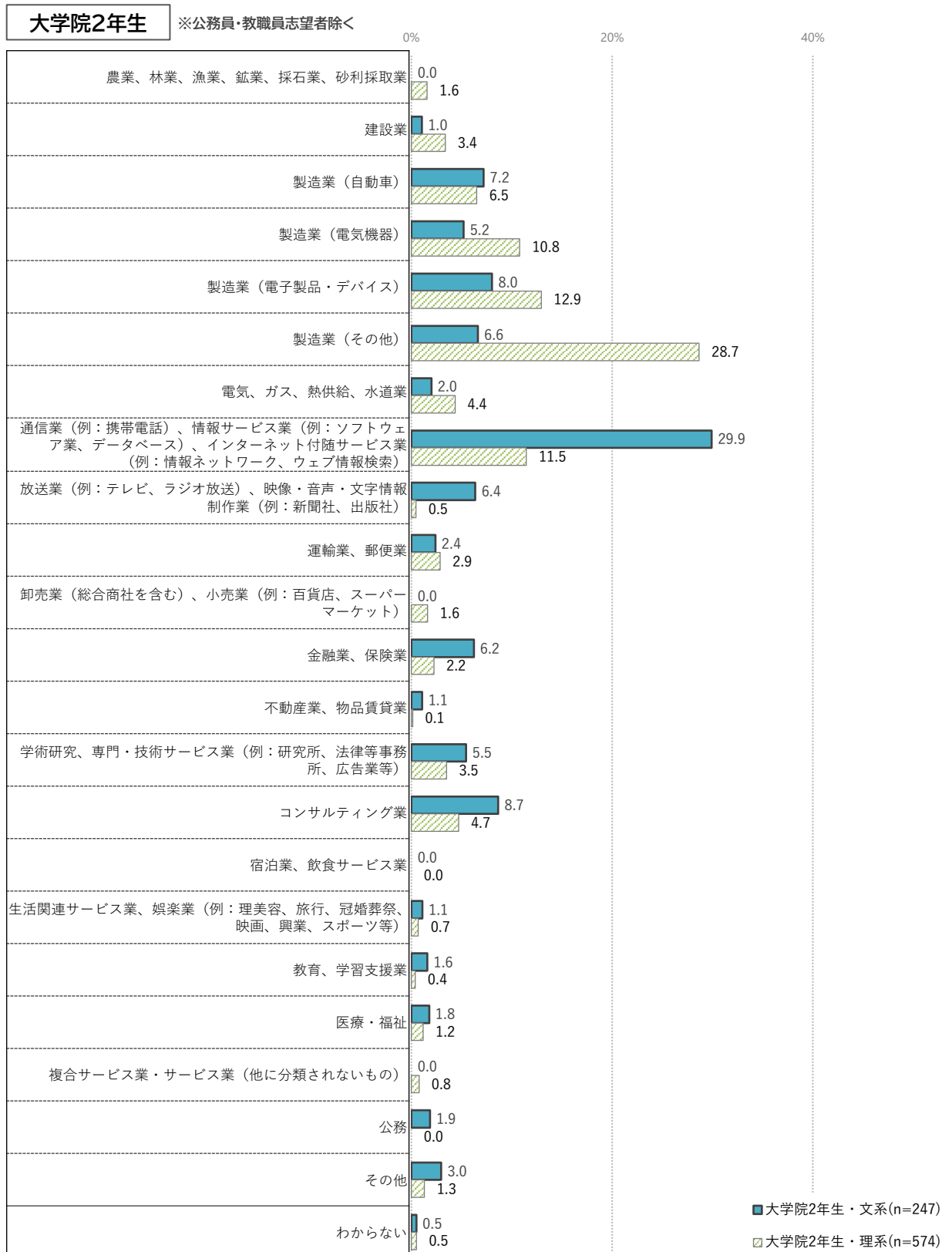
文系の方が高い業界について、差が大きい順に並べると、「金融業、保険業」「卸売業、小売業」「運輸業、郵便業」等。理系の方が高い業界は「製造業(その他)」「製造業(自動車)」「製造業(電気機器)」等。



④就職予定の企業の業界

文系・理系別に、就職予定の企業の業種について集計すると、大学院2年生では、文系の学生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が約3割、理系の学生では「製造業(その他)」が約3割と最も高くなっている。

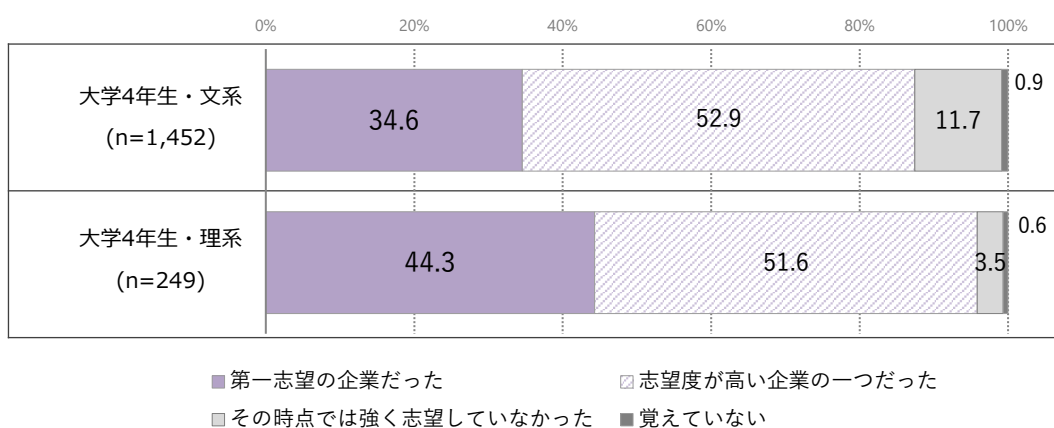
文系の方が高い業界について、差が大きい順に並べると、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「放送業、映像・音声・文字情報制作業」等。理系の方が高い業界は「製造業(その他)」「製造業(電気機器)」等。



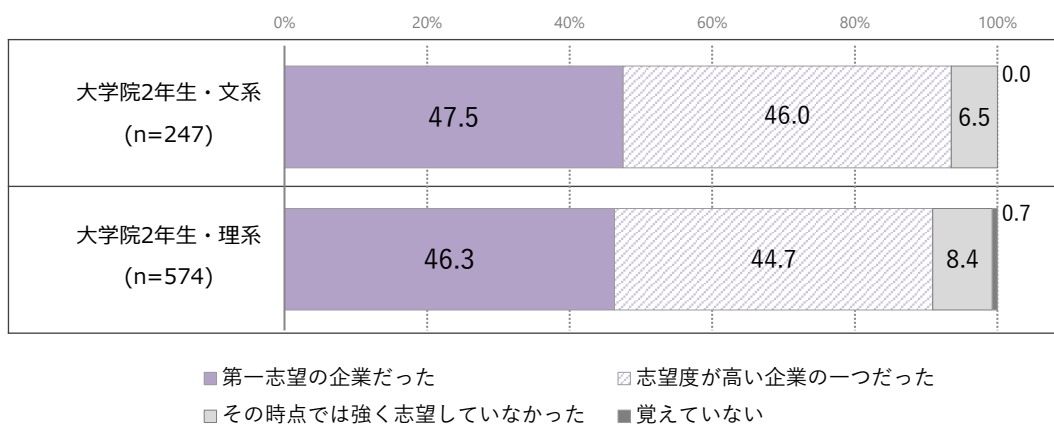
⑤就職予定の企業は第一志望だったか

文系・理系別に、就職予定の企業は第一志望だったかについて集計すると、「第一志望の企業だった」の回答割合は、大学4年生では、理系の学生の方が高く、大学院2年生では文系・理系で概ね同様となっている。

大学4年生



大学院2年生



第九章 就職予定の企業の業界別の集計

第九章 就職予定の企業の業界別の集計

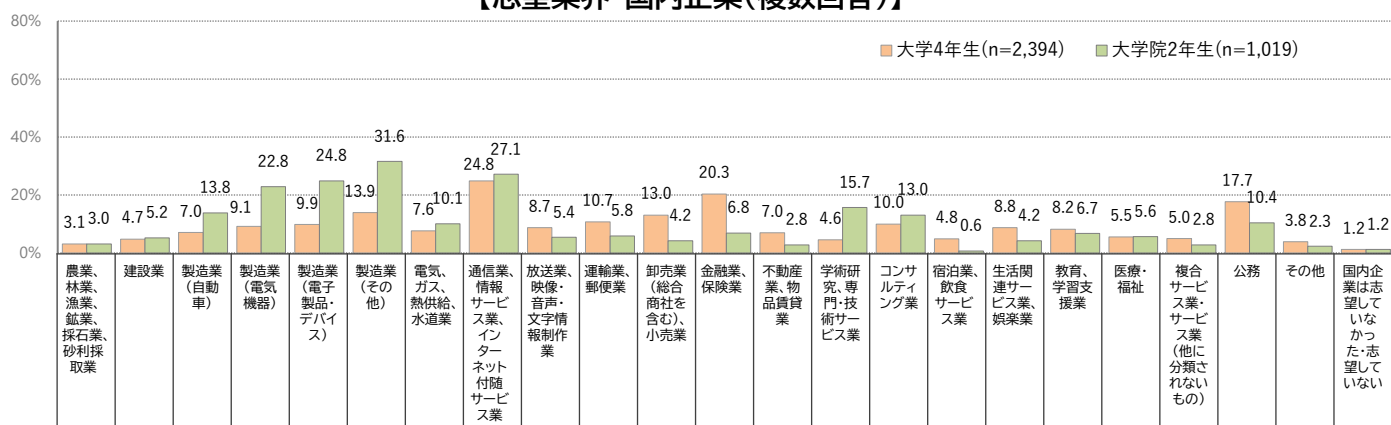
(1) 就職予定の企業の業界別の就職活動内容

①志望業界・就職予定の企業の業界に関する回答状況

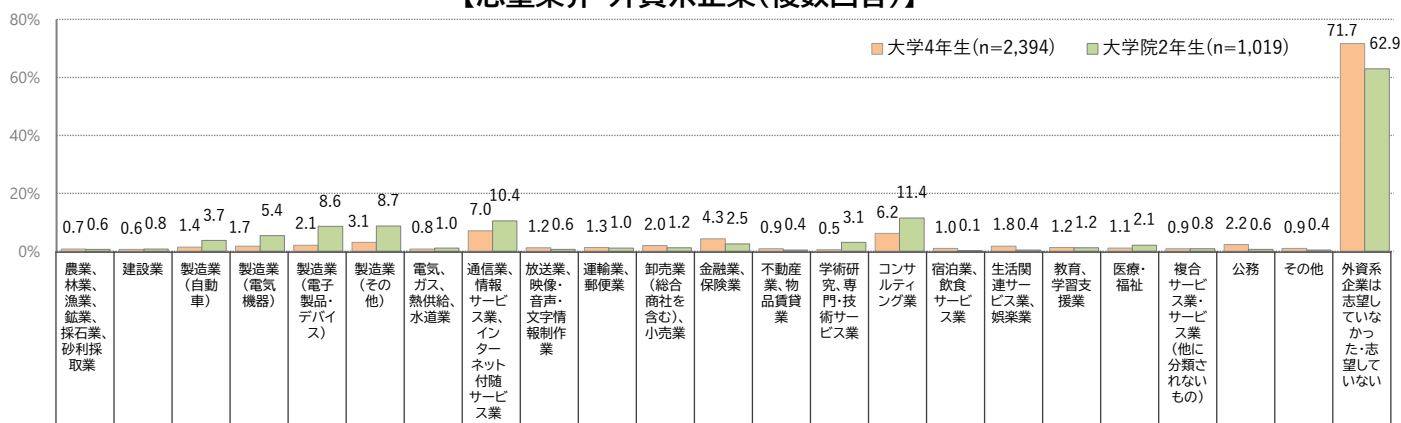
就職活動を行うにあたり、志望していた(志望している)国内企業の業界について集計すると、大学4年生は「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、大学院2年生は「製造業(その他)」の回答割合が最も高くなっている。外資系企業については、「外資系企業は志望していなかった・志望していない」を除いて、大学4年生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、大学院2年生では「コンサルティング業」の回答割合が最も高くなっている。

就職予定の企業の業界では※1、大学4年生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、「金融業、保険業」、「製造業(その他)」の順、大学院2年生では「製造業(その他)」、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、「製造業(電子製品・デバイス)」の順で回答割合が高くなっている。

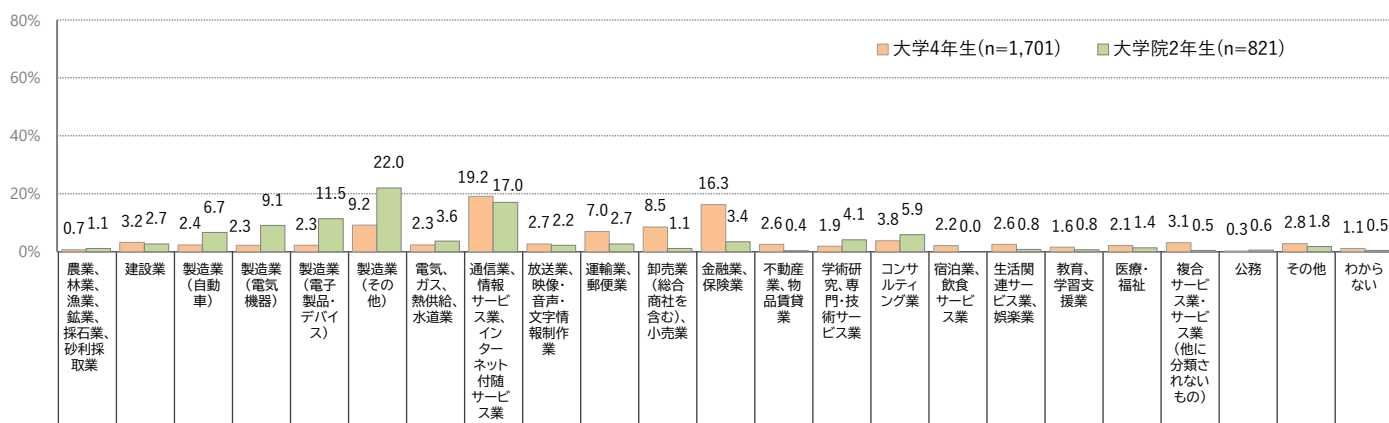
【志望業界・国内企業(複数回答)】



【志望業界・外資系企業(複数回答)】



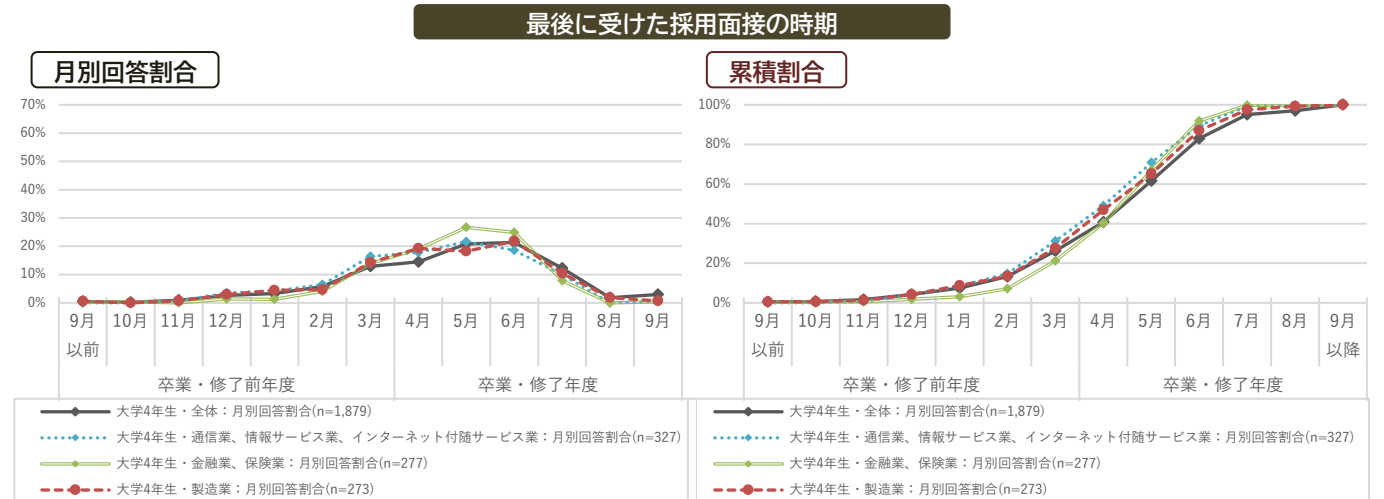
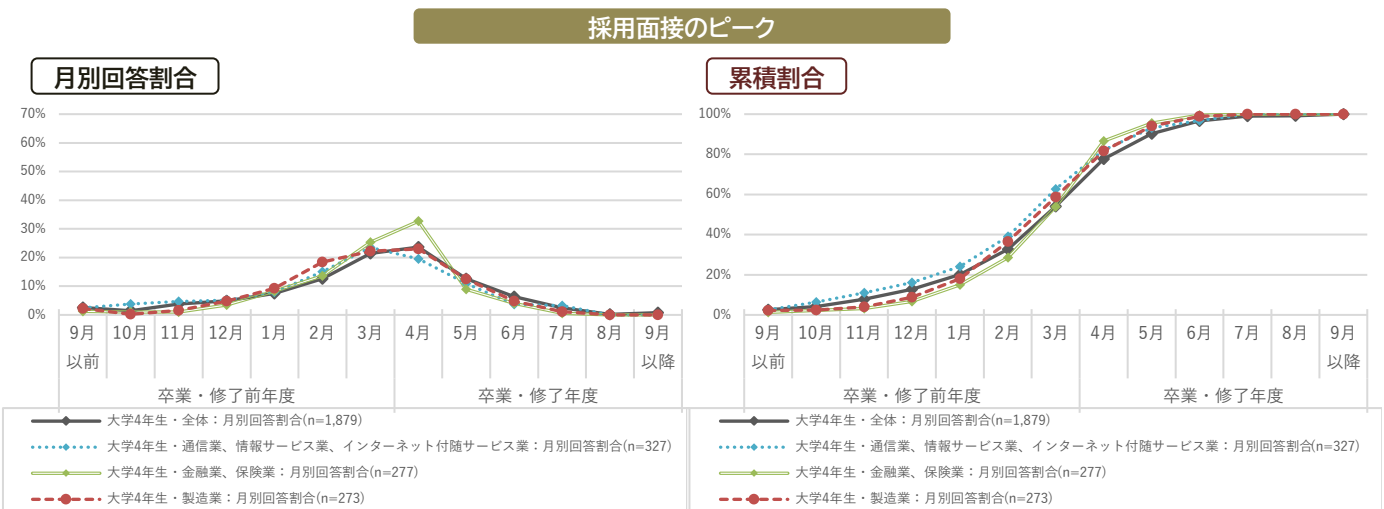
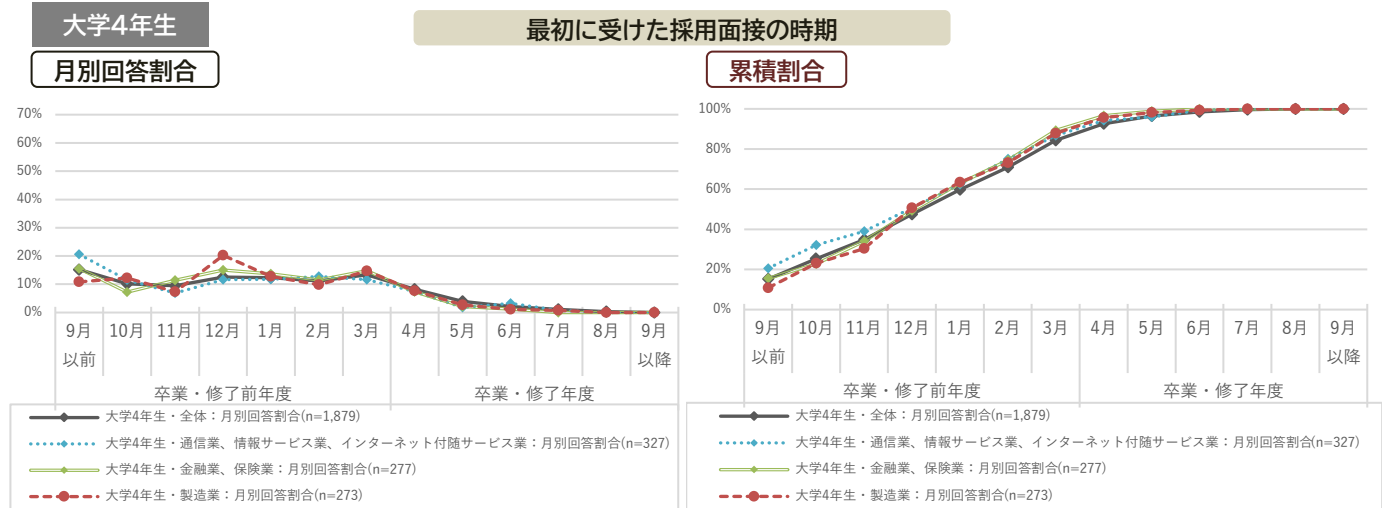
【内々定を受けた就職予定の企業の業界(単数回答)】 ※公務員・教職員志望者除く



※1：【志望業界(複数回答)】の図は志望していた就職先の業界について該当するものをすべて回答してもらったものであるのに対し、【内々定を受けた就職予定の企業の業界】は、就職予定の企業について選択肢よりひとつのみ回答する方式によるものである。

②就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

就職予定の企業の業界について該当する割合が高い3業種(大学4年生は「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「金融業、保険業」「製造業※1」、大学院2年生は「製造業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「コンサルティング業)」で、業界別の採用面接の実施状況を集計すると※2、大学4年生では、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者で、「最初」「ピーク」において、早期で回答割合がやや高い時期が見られる。大学院2年生では、「コンサルティング業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者について、「最初」「ピーク」「最後」のいずれについても、早期で回答割合が高い時期が見られる。特に「コンサルティング業」の者については、早期の回答割合が顕著に高い。



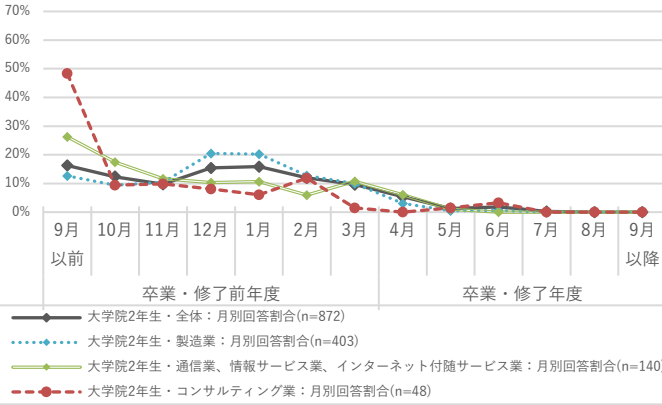
※1：製造業は「製造業（自動車）」「製造業（電気機器）」「製造業（電子製品・デバイス）」「製造業（その他）」を合算している。
 ※2：採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。また各学年における全体値は、就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計している。

②就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

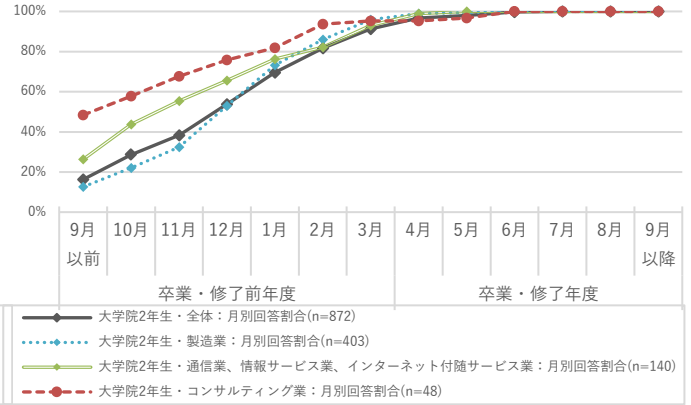
大学院2年生

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

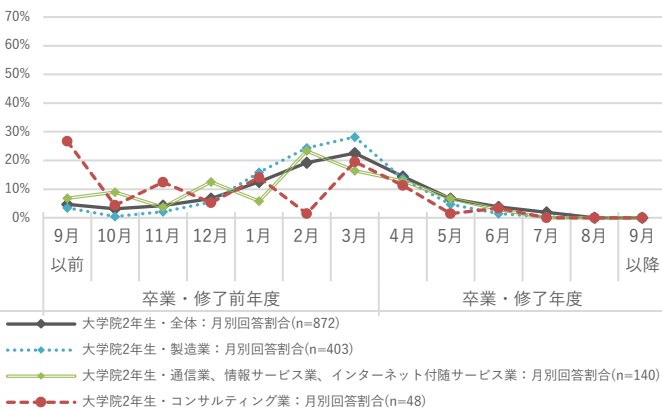


累積割合

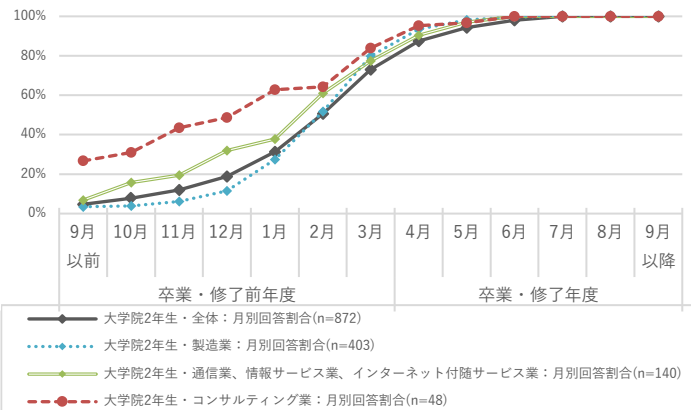


採用面接のピーク

月別回答割合

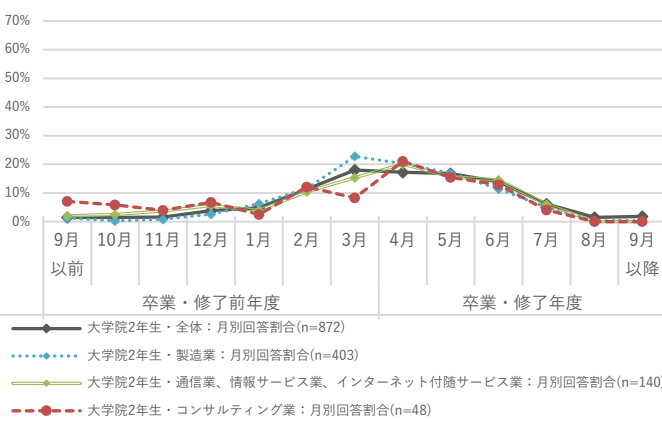


累積割合

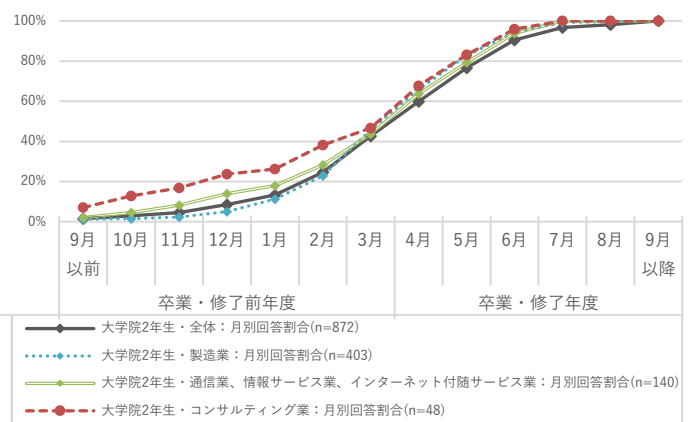


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累積割合

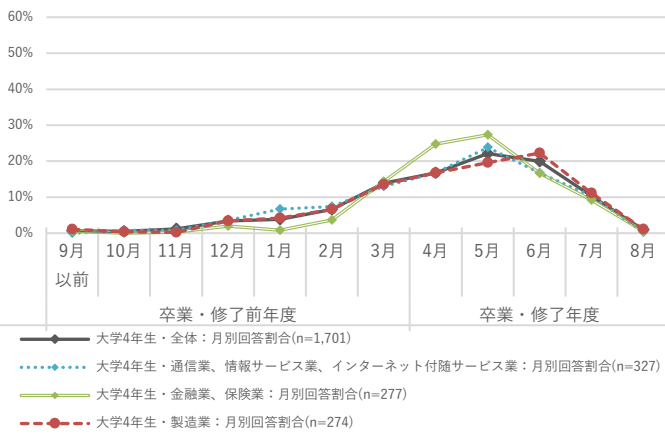


③就職予定の企業の業界別の内々定を受けた時期

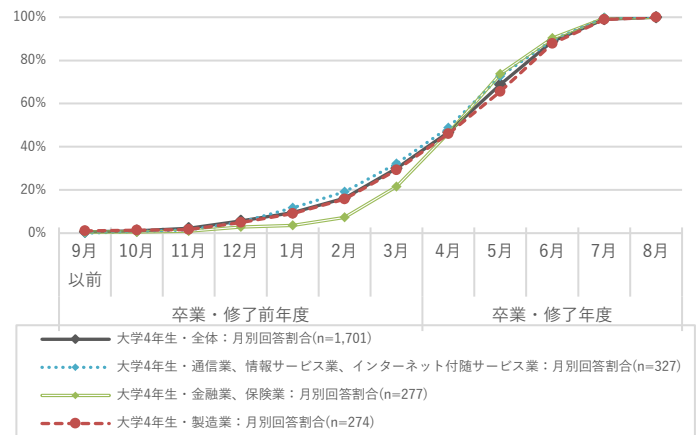
就職予定の企業の業界別に内々定を受けた時期について集計すると※1、大学4年生では、就職予定の企業の業界について該当する割合が高い3業種の中で、全体結果と比較し早い時期に内々定を受けた割合が高い業界はない。大学院2年生では、就職予定の企業の業界が「コンサルティング業」の者で、修了前年度に内々定を受けた割合が、他業界と比較して大幅に高くなっている。

大学4年生

月別回答割合

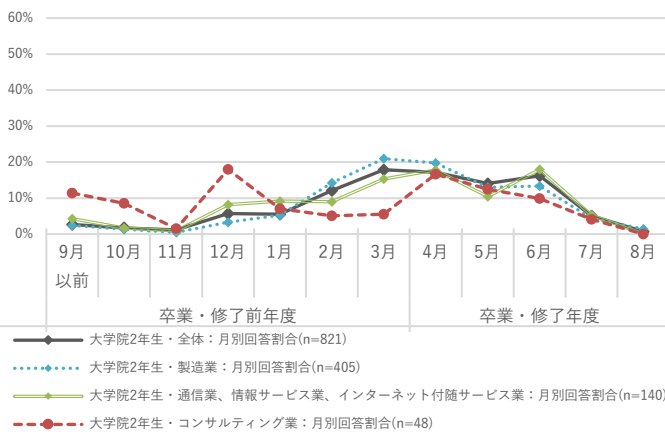


累積割合

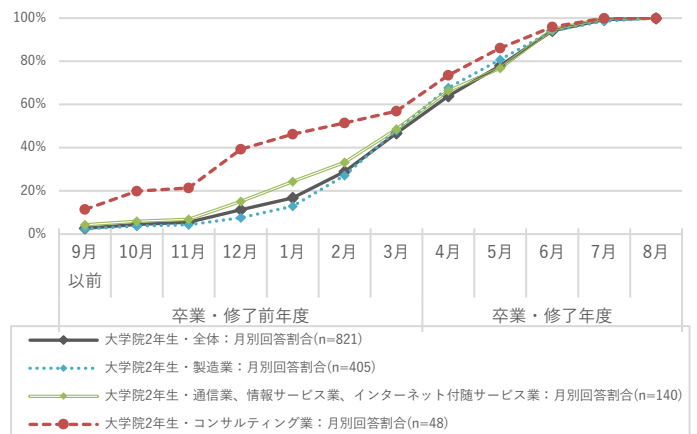


大学院2年生

月別回答割合



累積割合



※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの「内々定」は就職予定の企業のものに限らない。また各学年における全体値は、就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計している。

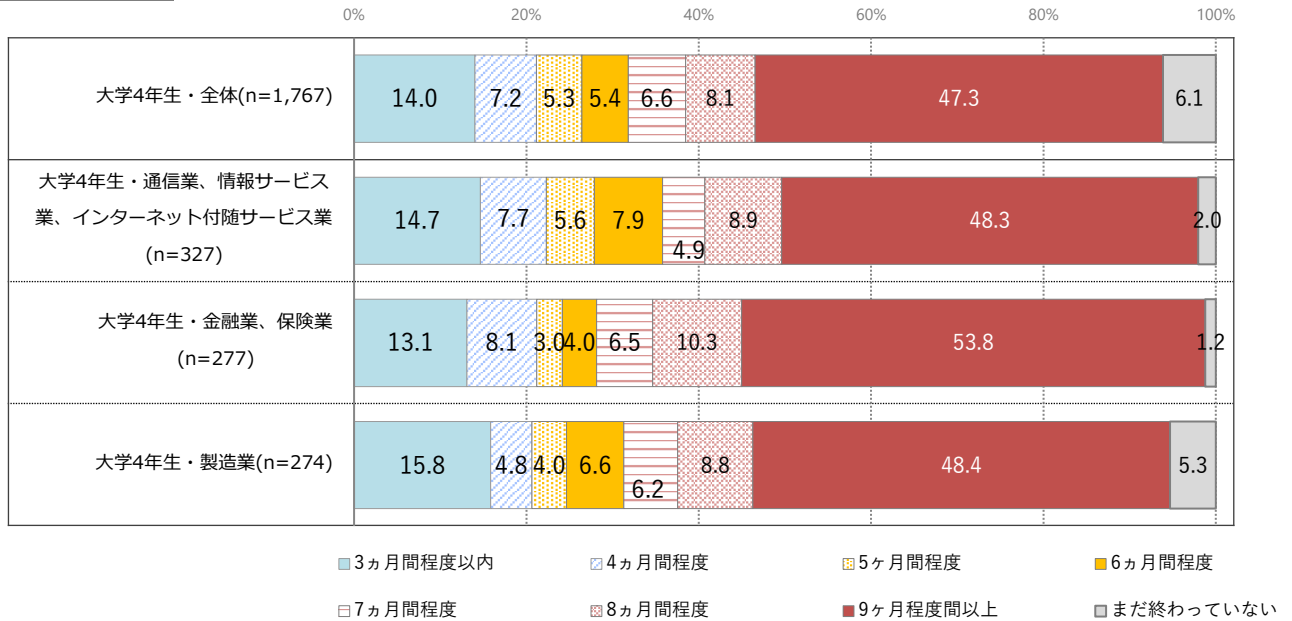
④就職予定の企業の業界別の、就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職予定の企業の業界別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間を集計すると※1※2※3、大学4年生では就職予定の企業の業界が「金融業、保険業」の者で「9ヶ月間程度以上」の割合が約5割超と、他業界と比べ高くなっている。

大学院2年生では、就職予定の企業の業界について該当する割合が高い3業種において、大きな差はない。

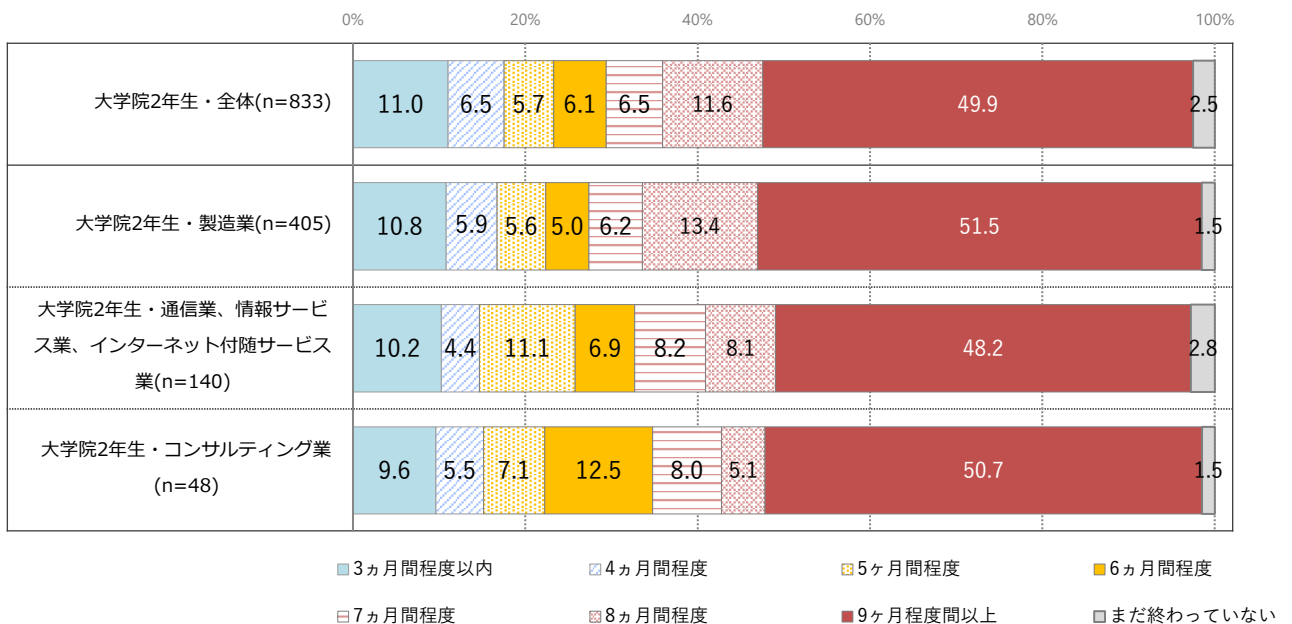
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



※1：「全体」の集計結果は就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。
 ※2：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。
 ※3：就職予定企業があることは就活活動が終わっているとは必ずしも言えないため、就職予定企業がある者でも「まだ終わっていない」は回答可能となっている。